



ヤナセクリニック

私のお産

- 2003 -

2003年に、ヤナセクリニックで
ご出産された方からのメッセージが
一冊にまとめられました。

たくさんの喜びの声は、わたし達を
あたたかく励ましてくれます。

ヤナセクリニックでは、当クリニックで出産された方から「私のお産」という名前のメッセージをいただいています。このメッセージは、書かれる人によって、生まれてきた我が子へのメッセージであったり、家族の方へのメッセージであったり、またこれから出産される方へのメッセージであったりと、その内容は様々です。

しかしそのどれもが、新しい命を生み出した感動と喜びに満ちあふれ、読むわたし達をしっかりと励ましてくれます。

そして「私のお産」メッセージを書いて頂く際に、「当クリニックのホームページでの公開」をご了解頂いた方のみ、ホームページに掲載させていただいています。

2003年も多くの「私のお産」をホームページに掲載させて頂くことが出来、多くの喜びと励ましを読むすべての人の心に刻みつけることが出来ました。

ホームページに掲載させて頂いた2003年の「私のお産」を一冊にまとめ、小冊子（そう呼ぶつもりでしたが皆様のご協力ですいぶん分厚いモノになってしまいました）にしました。

分厚さの分だけ、ずっしりと喜びが伝わってくるようで、とても幸せな気分です。

2004年1月

ヤナセクリニック「私のお産2003」編集スタッフ

2003年12月ご出産	172ページ
2003年11月ご出産	155ページ
2003年10月ご出産	148ページ
2003年9月ご出産	123ページ
2003年8月ご出産	99ページ
2003年7月ご出産	89ページ
2003年6月ご出産	75ページ
2003年5月ご出産	61ページ
2003年4月ご出産	49ページ
2003年3月ご出産	33ページ
2003年2月ご出産	13ページ
2003年1月ご出産	1ページ

目次

ヤナセクリニツク

私のお産

2003

2003年1月「出産

初めての出産で、経験者の人達からは色々な事は聞いても実際自分の出産なんてわからないし、産んでから思いましたが、不安に思いながらも結構軽く考えていたように思います。

旦那さんの仕事上、陣痛が来た時、出産に立ち会ってもらえるかどうか分からなかったのですが、たまたま元旦にきまして、休みですつとそばにいてもらえました。「一人でも大丈夫」なんて思いもありましたが、全然！！立ち会い出産出来てもものすごく良かったです。私のものすごいわがママを聞いてくれて、（ホントすいませんって感じですが）一生懸命マッサージしてくれたりとかして、でも一番は何よりものすごい安心感があつた事です。

そしてヤナセ先生、スタッフのみなさんの心良い指導、妊娠中寝てばかりで本を読んだりとか全然知識を頭に入れてなかったのですが、心強い指導・そして励ましの言葉でここにも安心感があり、そして両家族、友達、みんながずっといてくれた事。

もう皆さんのおかげでこんなに立派な子供を無事出産することが出来ました。もう本当に感謝、感激です。ありがとうございます。もう心の中はそれだけでいっぱいです。

もう絶対的にこの子は幸せに育つと思います。

私のオススメはやっぱりヨガです。私は初めての出産と言う事もあり、不安も大きかったのですが、毎週ヨガに通っていたので、婦長さんに妊娠中の悩みを解消してもらったり、陣痛の時の過ごし方のポーズを聞いていたため、

実際に陣痛が来た時は家で実行していました。

もし行っていないかったら、不安で家でパニックを起こしてたんじゃないかな？って思うほどです。呼吸の方法とネコのポーズが特に参考になると思います。

私は、家でこの2つを頼りに12時間くらい頑張りました。12時間ずっと10分間隔…5分間隔になったら行こうと思ってたけどなかなかならず、痛みのひどさに病院に来てみると、2時間後には出産していました。これもヨガのおかげかな〜と思います。

是非一度ヨガ教室に行ってみて下さいね。

PS LDDRでのアロママッサージ、痛みの中でも少し和らいだりホッとする時ありますよ。これから出産の皆さん、頑張り！

一度目の出産は何かも手探り状態だったので、母乳の事、赤ちゃんのペースにあわせた生活のことなどいろいろ悩み、自分の中で思うように行かない事にイライラした事もありました。

でもヤナセクリニックからの毎日の手紙や月々に行われるイベント・サークルなどに参加したりして、自分なりに楽しく子供とふれあう事が出来ました。

今回、2度目の出産でしたが、前回の時にお世話になった看護婦さん達や高野婦長さんの顔を見ると安心して出産することが出来ました。不安の中で、なんでも話を聞いてくれて相談に乗ってくれる人がいる事は本当にありがたい事だと思います。

子育ては、その子その子で個性があり、上の子がこうだったから次も……というようには行かない事が沢山出てくると思います。またいろいろ分からない事、聞いて欲しいこと等は、ここに来て親子共々いりびたりたいと考えています。

これからも、ぜひぜひヨロシクお願いします。

予定日より2週間早く、まだx2と思っていたけど、突然出血があり、もしかしてこれがおしるし？と思っていたらダラダラと水っぽいおりもの様な物が出続け、すぐに陣痛が5〜10分間隔で起こってきました。

深夜だったので、少し様子を見ようと思っていたけど、我慢出来ず、病院に連絡して見て頂いたら破水し、子宮口が5〜6cm開いていると言う事で、そのまま入院。

陣痛が痛くてx2あつという間に子宮口全開になり、LDR洋室へ。

初産だったので、時間がかかると思っていたけど、LDR洋室に入っすぐに産まれてくれました。

陣痛で痛くてx2仕方なかったけど、元気な産声を聞いたら、体の力がスーツと抜け、すごくホッとしました。

初めての出産で、分からない事だらけで不安でしたが、看護婦さんのマッサージ、家族の応援の声に励まされ、安心して出産することが出来ました。

先生、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

出産予定日は、平成15年1月1日でしたが、何事もなく過ぎ「まだかな」という思いでいっぱいでした。初めての妊娠の為、何もかもが想像の世界。お母さんに「陣痛って分かる?」「破水は、どんなの?」なんて聞いてばかり。そんな私に変化があったのは、1月3日になる頃。突然の破水、どうしたらいいかパニック状態!

病院に連絡し、入院することに。すぐに、診察を受け「心配いらぬ」と心強い言葉を助産婦さんから頂きました。病室に戻り、陣痛が来るのを待ちました。3日の14:00から5分間隔で陣痛。20:00、痛みに耐えきれず、看護婦さんと主人と共にLDR室へ。看護婦さんと主人に体をさすってもらいながら、いきみ。

赤ちゃんの頭が見えてきた時、陣痛が弱く、いきみのタイミングと合わず、なかなか出てこなくて、ついに言っではならぬ「もう嫌だー!」と口にしてしまいました。

先生、婦長さん、看護婦さん、ごめんなさい。

立ち会った主人が、へその緒を切ってくれ、感動の赤ちゃんが出てきた時、首にへその緒が巻き付いていたらしく、ビックリしたそうですが、大きく元気な産声を聞かせてくれて安心したと話していました(主人)

先生、婦長さん、看護婦の皆さん、本当にありがとうございました。

初めての出産なのに、のほほんとすごしていた私。

お風呂を出たあとすぐに陣痛が始まり、「予定日までまだ1Wもあるし、初めては遅れるっていつし。」と、いつもの不規則な張りとのんびりしてました。しかし、規則的に10分ごとにおそってくる痛みにも、「おしるしもまだなのに？まさか？」とときどき。1hもつ1hと様子をみているうちにおしるしがあり、結局4h後にteelしました。

入院後もゆっくりゆっくりくる陣痛に、「はやく産みたいなあ」と内心イライラ。アロマの入浴も結局3回入り、3回目の入浴後に強い痛みになり、「はやく出てきてー！」と疲れもピークでした。陣痛開始から30h46min 待望のわが子をみれたとたん、痛みもつらさもふぎとび、「かわいい！」の一言しか思いつかず。

胎脂にまみれていても、スリスリしたくなりました。出産後も興奮してて、丸1日不眠だったのに眠れず、「はやく一緒にいたい。」「おっぱいあげたい。」と、気分はかなりハイでした。結局翌日から母子同室スタートでしたが、わが子をみるたび、私もだんなもニヤニヤ！！2人とも前日までの疲れがたまってるのに、忘れさせてくれるわが子の寝顔は、ほんとに天使です。元気に育ったきてくれてありがとう、ちゃんと産まれてきてくれてありがとう！という気持ちでいっぱいです。

おっぱいトラブルもあったけど、日に日に母乳もでてくれて、吸うのも上手になってくれて、「母親になれたんだ」と、毎日自信がついてきています。

先生をはじめ、わが子を取りあげてくれた森中さん、毎日いろんなアドバイスをしてくれるスタッフの皆様、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これから初めての育児で不安もありますが、なんとかやっていけると自信があります。これかもたくさんのママ達が、同じようにがんばれる様願っています。

早かったのでビックリ！しました。

予定日より18日も早く出産してしまい、周囲も慌てていました。

あまけに分娩時間があつという間で、自分もビックリ！です。

でも痛いのは誰でも同じで、産まれる瞬間の痛みは・・・ギャー！！

でも、でもね。出産して赤ちゃんの顔を見ると、そんなこんな痛みなど、どこかに飛んでいってしまいました。かわいい手足、パパに似た顔、まだ小さい泣き声、すべて私の癒しになりました。

入院生活もゆつたりできて、良い環境にももらえました。

2人目をヤナセさんで産んだのですが、1人目の時もヤナセさんで出産したかったな！。本当にオツパイの指導などでは助かりました。本当に感謝です。

私は今回が始めてのお産でしたので、全てが初めての事だらけで、無事に出産できるかとても不安でした。

しかし、柳瀬先生、高野婦長を始めとする看護婦の皆様、主人、家族に支えられ、無事に3035gの女の子を出産することができました。この場をお借りしてお礼を言いたいと思います。ありがとございました。

さて、私は陣痛から21時間で無事出産したのですが、やはりお産は痛い！！よく『お産の痛みは鼻の穴からスイカを出す程の痛さ』なんて言いますが、まさにその通り！！あまりの痛さに我慢していても自然と『ウウウ』とつめき声が出るし、私の場合、陣痛がやつとあさまったと思っても猛烈な吐き気が襲ってくるし、あまりの痛さと吐き気に

私は『世の中の女性はよくこんな痛みには耐えられるなあ、私にはムリ！』母と何度この病院を抜け出そうと考えたか分かりません。(抜け出しても痛いのは痛いのに・・・)

その痛みと戦っていくのにとても良かったのが、アロマバスとマタニティーヨガの呼吸法、それと何よりずっと私に付き添って腰や骨盤、全身をマッサージしてくれる看護婦さん、主人、家族の献身的な看護でした。アロマバスは言葉に甘えて3回も入りました。アロマバスに入ることにより痛みと怖さで緊張した体がほぐれ気持ちいいし、子宮口も柔らかくなって開くし、まさに一石二鳥！！マタニティーヨガは、妊娠出産に対する不安や疑問を婦長さんに相談して解決できるし、なによりあの激しい痛みには耐えられたのはヨガで学んだ呼吸法に集中できたからでした。

それが一番良かった事は、看護婦さんがずっと私に付き添って、腰部等のマッサージをしてくれた事です。激しい陣痛には誰かがマッサージしてくれるのはとても気持ちよく、また、初めてのお産で怖さがありますので、ずっと付き添ってくれる事は精神的に安らぐのです。今回のお産で『お産は1人ではできない』(当たり前ですが・・・)と分かりました。

先生、看護婦さん、主人、家族に支えられて初めて無事にお産することができるといふ事がしみじみ分かりました。最後にヤナセクリニックを選んで本当に良かったです。第二子もヤナセクリニックにお願ひしたいと思います。

10分間隔の張りが続いたのと腰が痛くなってきたので、夕方病院に行きました。

予定日も過ぎていたので入院することになったのですが、朝になるとおなかの張りが弱くなってしまったので、次の日のAM9:00から1時間ごとに薬を飲んで陣痛を促進することになりました。

陣痛はあるもののなかなか子宮口が開かず、階段を上り下りしたりアロマバスに入れてもらったりして入院してから3日目の夜にやっと子宮口が7cmに!! やつとここまで来たーと安心もしたけれど、陣痛は想像以上に痛くなってきました。この痛さに耐えれば赤ちゃんに会えると思って耐え続けていたら、「もう頭はすぐそこやに」とか「髪の毛が見えてきたよ」という言葉が、、、でもなかなかすぐには生まれてきてくれません。そして婦長さんの「上見ても、もう赤ちゃんの頭出てきたよ」とつとゆう言葉で上を見てみると電気のところに赤ちゃんの頭が写っていました。最後の力をふりしぼって赤ちゃん誕生。入院した日から寝ないですうっとうつき添ってくれたパパや先生や婦長さんやスタッフのみなさんのおかげで元気な女の子が生まれました
ありがとうございます。

今回は2人目の出産で予定日より2週間ほど早い入院でした。

朝起きて、一時して何かおかしい?! 力を入れると何かでてる?? 感じて、様子をみながら生活してました。やっぱり破水? 病院にTELして病院に来ました。

すぐに入院になり、ちょっと心配。どうなるんだろう!! 10ヶ月に入って、いつ出産してもおかしくないからと前

日検診で言われてたので安心もあり、不安もありました。

LDRでゆっくりして、子宮口3cm、痛みもあんまりなくお昼からずっと夕方まで。だんだん痛みもでてきて、どんどん時間がたつていく感じだった。夜9時くらいになってちよつと腰に痛みを感じ、ベットの上に横になり、急に本格的の陣痛になり、1時間で出産した。

1人目に比べると、全然楽にできたのでよかったです。

1人目の時は産声を聞けなかったけど、今回は元気な産声を聞いて安心しました。予定日より早かったので、小さめの2157gだったけど、元気に生まれてきてくれてよかったです！！

お兄ちゃんと同じ顔してて、似てるな！って感じで、無事出産おえてよかったです。先生、スタッフのみなさまありがとうございました。家族4人でこれからがんばっていきます。

1/24午前1時前に2人目を無事出産しました。途中からお世話になったのに、ヤナセクリニックのスタッフの方に本当に良くして頂き、とても嬉しく思っています。

出産の際は、家族の者は誰もいず、私1人だけでとても心細かったのですが、スタッフの方々がそばについてくれて、はげまして頂いたり、私の体をさすってくれたりと、とても安心して出産する事ができました。

5年前に1人目を出産したのに、その時の出産のいたみなどすっかり忘れて2人目という事で少し軽く考えていましたが、改めて、こんなにすらく大変な事・・・と痛感しました。

今、これを書いている横でスヤスヤとねむっている赤ちゃんを見てみると、すらい思いをして産んだ分幸せがあるんだなと思いました。

本当にいい出産ができて嬉しかったです。スタッフの皆さま、それから、柳瀬先生、ホントウに有難うございました。もし三人目を産むならば必ずこのヤナセクリニックでお世話になりたいです。

今回は2回目の出産だったので、出産時、2歳になる長女を連れて入院したらどうなるんだろうかということが一番気がかりでした。陣痛らしき痛みが始まったのは夕方だったのですが、長女を寝かしたり色々家事をしたりしているうちに夜中になり、「そろそろかも・・・」と思い病院に電話しました。

ところが入院してみると、のんびり構えていた間に既に子宮口が8〜9cmに開いており、助産師さんから、「あと1〜2回良い陣痛が来たら生まれるよ。」と聞かされてびっくり。長女は病院（LDR室）の物が何でも珍しいらしく大興奮してしまいましたが、夫に面倒を見てもらい、私は出産に専念することに。

陣痛が強くなってきてからは一気に痛みや破水が押し寄せて来る感じで、長女を出産したときとはずいぶん勝手が違い、「耐えられるかな？」と不安になりました。ですが、助産師さんや先生に言われるままに、ハーツと呼吸をしたリ体の力を抜いたりしていると、次第に赤ちゃんの頭が見えてきました。頭が、それから肩が出てくるまでが辛かったです。真白なへその緒が付いたままの元気な赤ちゃんが飛び出して（？）きた時には、思わず涙が出ました。今回はすぐに赤ちゃんを抱っこでき、夫や長女に見てもらえたのもとてもいい経験でした。

どうもありがとうございます！

今回2度目のお産でしたが、こちらでお世話になるのは初めてでした。

出産当日の朝4:00くらいから陣痛?と思われる痛みがありAM8:00くらいに入院したもののだんだん痛みが無くって階段を降りたり上がったり、部屋の中を歩き回ったり・・・。

お昼を過ぎてPM2:30くらいの様子を見て来た上の娘を見送って間もなく、急に腰が痛み出し、内診してもらった所、もつ8~9cm開いているとの事。そうしているうちに、どんどん激しい痛みが来るようになって、その度に助産婦さんに腰を強くさすっていただいて、ずい分痛さがまぎれました。それから出産までの間も、院長先生、婦長さん、助産婦さんの適切な指示や、不安がる私への心強い励ましのおかげで、PM5:12無事女の子を出産することができました。

皆さんのおかげで本当に大満足のお産でした。

どうもありがとうございました。

これから出産される方、どうぞ安心してその日を迎えて下さい。

今回、2人目で前回同様ヤナセでお世話になりました。

1人目は予定日より8日早く出産したせい、今回も絶対に早まると思い、まだかまだかと待っていました。

予定日の5日前、ちょうど検診日で子宮口が3センチ開いていると言われ、この2・3日中かなと思、入院の準備の最終確認をし寝ました。

AM2:00にけっこう強い痛みが20分間隔でやってきて入院。最初は7〜8分おきのがずつと続き、やつと5分になったと思ったところで痛みが弱まってしまいました。あれ?!と思っていたら、いったあ〜っ!〜!という痛みにおそれスタッフの方を呼んだら、もう9cmも開いていて“あれよあれよ”と準備され、無事に出産。超安産2人目ということもあって、次はどうなるかっていうのが分かっているせいか、頭でいろいろ考える余裕があつたくらいです。

でも産むのは一緒。先生とスタッフの方のアドバイスを頼りに必至でした。余裕があつたせいもあって、痛みも1人目より感じられイヤだったけど赤ちゃんに会えた時はホッとしたし安心しました。

ママが頑張らないと赤ちゃんにも会えないし、スタッフの方に身をまかせ自分を信じ、お産にのぞんでほしいと思います。

最後に先生をはじめスタッフの皆さんありがとうございました。

2003年2月ご出産

2回目の出産でした。しかし、前回は帝王切開だったので今回が初産と同じでした。

妊娠中から、切迫の気配があり、普通分娩できるか不安でした。先生にも常に安静にと指導されましたが、なかなか上の子がいると……という感じでした。

しかし何とか36週までできた時、先生に「もう産まれてもいいヨ*」とおっしゃっていただき、やったーでした。38週に入り、ついにきました！お昼におしるしと少しの陣痛が。そして、お昼からの（3時からの）診察で、子宮口が6cm開いているという事で、すぐ入院でした。

だんだん陣痛が強くなり、深呼吸もつらく、おしゃべりすらできなくなって、ベットにもたれかかり、すわりこんでしまいました。夫や家族がはげましてくれて、腰をマッサージしてくれるのもお礼も言えず・・・車イスでLDR室へ。夫がずつと汗をふき、手をにぎってくれて。ここまでくると、あと少し！と自分に言い聞かせ、もつすぐ赤ちゃんに会えるぞと強く思いはじめました。

しかし、なかなか頭が出ず、そんな自分にイライラしはじめ、足はつつてくるし、痛みよりつかれてきたという思いが・・・先生に「まだ出ませんか？」ときくと、「あと数回いきもう！もう頭は見えてるヨ！」この言葉で、よし！と思い、最後の力をふりしぼって「ん~~~~！！出た~~~~！！」という感じで産まりました。

0:20になってました。先生はじめ、婦長さん、スタッフの皆さん、家族のみんな、深夜までありがとうとごさいます。お産はつらいけど怖いものじゃありません。幸せをはこんでくるもんだヨ。がんばろー！！

今回は三人目の出産でした。

上の二人の時は破水から始まり、微弱な陣痛の為、促進剤を使用したのちの出産でしたが、今回は一週間前くらいから夜になると15分間隔くらいの陣痛?!らしきものがあり、出産当日の前夜に病院に来て診てもらったもののまだ(子宮口は3~4cm)の様子だったので、一度家に帰りました。家に帰りお風呂に入ったのが良かったのか、その日の夜いつになく痛いお腹。これが本格的な陣痛?その時の私はまだよくわかってなかったみたいです。

早朝の5時まえにお腹がプチつと何かが破れた様な気がした私はトイレに行くと思いましたが破水でした。そしてすぐさま病院へ(着替える間もなく)。そしてら子宮口が7~8cmもあいてたそうで、それからあつという間に子宮口全開になり6時には出産となりました。

自分自身が一番びっくりでした。本当、先生ならびにスタッフの方にはお世話になりました。

これから出産を迎えられる方も、色々不安や疑問を持ったらスタッフの方々に何でも聞かれるといいですよ!
リラックスすることが大事だと思いますヨ

陣痛の間隔が10分になったので病院に連絡し、入院の用意をして午後8時ごろ病院に到着。

子宮口が1cm開いていたため、入院することになりました。そして陣痛が早く進むために階段の上り下りをして体を動かしたりしました。

が、しかし翌朝になると陣痛が弱くなってしまいました。

予定日が過ぎていたこともあり、薬を飲んで陣痛を促進することにしました。朝9時から午後2時まで合計6錠の薬

を飲み、筋肉痛になりながらも階段の上り下りをしました。

午後3時頃アロマバスに入り、リラククスしました。子宮口はこの時まだ3cmでした。午後6時すぎからものすごい陣痛が次から次へとやってきました。赤ちゃんが頑張ってるんだから私も頑張らなくちゃ！午後6時半頃破水し、7時20分に無事出産しました。

陣痛はキツかったけど、案外出産は楽だったかなあと思っていたのも束の間。子宮弛緩出血で、大量の出血をしてしまいました。子宮を圧迫される時の痛さは出産以上のものでした。でも、先生やスタッフの皆様のおかげで、今はすっかり元気になりました。お世話になりました。

案ずるよりも産むが易いです。

これから出産される方は、何かと不安に思うことがあるでしょうが、かわいいBabyに会うためにちよっぴり頑張ってください。

今回は私にとって2度目の出産でした。

私の入れて頂いた部屋は畳のLDRでした。内心『ここで産むの?!』と驚きました。

立ち合いだだったので、主人は私のそばで正座して、手をずっと握ってくれました。息子は先生の隣にチョココンと座り、出産の様子を初めから終わりまで、ジッと見ていました。

お産の進み具合が早くて、私は「まだ気持ちがついていけない」と先生と高野婦長さんにつたえました。その時、「大丈夫よー。大丈夫よー。頑張ってイキんでこらん」と言ってもらい、その言葉を信用して、お2人に身をまかせて上

手にイキむことができました。

赤ちゃんの頭が出る時、1番痛く、つらく、でも産まれたての赤ちゃんを胸に抱かせて頂いた時には、あのあたたかさを感じと喜びと感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

今回は畳の上で、家に居るような雰囲気の中、リラックスしてお産ができ、とてもよかったですと思います。

皆で力を合せ、産めたという満足のいくすばらしいお産でした。5才の息子に見せてよかったのが不安もありましたが、「怖くなかった?」と聞いてみると「キレイだった」と言ってくれたので安心しました。主人と息子も立ち合い出産ができてよかったと喜んでいきます。

先生、高野婦長さん、ありがとうございました。そして入院中、看護婦さん、病院のスタッフの皆様、親切にして頂きありがとうございました。(ベットが畳か迷った方、ぜひ畳の方ですごくよかったですヨ。)

2年前に長女、この1/27(月)に次女をヤナセクリニックで出産しました。

1人目は帝王切開だったので、今回は自然分娩したいと願っていました。妊娠中に心がけたことは、仕事をしていたので、ストレスをためないこと。気分よく過ごせるよう、産休に入ってから、マタニティ・ヨーガに参加しました。そして、経過も順調で、願いがなつて5時間30分という早さで自然分娩することができました。ヨーガで教えてもらった通り、お産の痛みの呼吸法での逃がし方、リラックス、姿勢をとることができ、冷静に早いお産に意識がついていくことができました。リラックスしている時は、一瞬眠くなる感覚を持つたりして、婦長さんの言葉「肩の力、腰の力、指の力を抜いて〜」と頭の中でこだましていました。痛みに苦しい、いきみたい時「スーハー・スーハー

で痛みを逃がして、赤ちゃんに酸素を送るような気持ちで」と言われ、必死にその通りすると、スーッと楽になるのでびっくり！もつと叫ぶかと思っただけ、自分と赤ちゃんに集中することができ、今思えば楽しかったなあと満足しています。

破水して入院、すぐ出産でアロマバスには入れなかったけど、ずっと背中をさすったり、手を握ってくれていた主人、スタッフの梅原さんの声かけ、奥村さんや院長先生、婦長さんと次々顔を見せてくれてすごく心強く安心して出産することができました。

また、これから育児が大変ですが、「肩の力」を抜きながらやっていきたいと思っています。楽しかったです。ありがとうございました！

今回が2度目の出産なんですけど、上の子と6年半はなれているせいか、初めてのよような気持ちになり、不安でした。でも、先生たちの気さくな言葉、すごく気持ちがリラックスできました。

妊娠中は、体重が増え、主人にもいろいろ言われ、自分も気になっていました。たくさん、気になることがあって、予定より少し早い日に陣痛がきて、すごく安産で、今はやっと安心した気持ちです。

主人とも、今度は男の子がほしいなと話あってます。

その時は、またよろしくお願いします！

1がつ31にち。ほんとの予定日は2がつ4かだったけど、お昼ごろからなんかおなか痛いな！ってカンジだった。ひんぱんに、けつこ痛くなるから、もしかして・・・ってカンジで、思いながら、そうじやせんたくをしていたら、だん×2痛くなる間かくも短くなってるし、トイレに行くとおしるしが出ていたので、家の用事をして、ヤナセさんに向いました。2人目の子供だったので、そんなにまだ痛くないし、まだ×2と思って、ヤナセさんに到着し、先生に見てもらうと、8cm近くもう開いていたのでビックリでした。

じんつうの間かくも短くなり、痛いとき先生がずっとこしをさすってくれていたし、いきむのものがまんしゃんくていよいよゆってくれたので、とても楽なお産でした。

念願のまちにまつた男の子だったので、出産したトキはとても×2うれしかったです。上の子が女の子なので・・・。上の子もこの子も同様、大切な命を授かり2人目も無事出産できて、女にうまれてよかったと思う。

女なら誰でも通る道なのだから、初めてのトキは不安だったけど産んでしまえば心配することなんてないし。先生を信じてれば大丈夫。ほんとに先生ありがとうございました。

私のお産はLDRを24時間も独占するという、本当に長いお産でした。

22日夜10時にLDRに入ってから、翌朝の6時過ぎまでは順調に子宮口9cmまでひらいたのに、その後それ以上に陣痛が強くなり、除々に不規則で弱いものになってしまいました。それまでは痛いながらも「赤ちゃんの為に頑張る」という気合いがあったけど、遠のいてゆく陣痛にまず気持ちが落ち込んでしまい、陣痛に耐える気力がなくなり、精神的にも肉体的にも本当につらかったです。それでもなんとかこらえることができたのは、子供のように泣

きペソをかく私を優しく励ましてくれた婦長さんやスタッフの皆さんのおかげです。

その後、陣痛促進剤の力を借りましたが、赤ちゃんの頭がなかなか出てこず、前日からの疲労も重って、またまた「もう頑張れません」と泣きペソをかけた私……。今度は幸子先生も加って、体育会ノリの力強い励ましのおかげで、なんとが男の子を出産。それまでの疲れが一気にふっ飛びました。

今思うと、長い長いお産で、安産とはいえないものだったけど、私にとっては本当にかげがえのない素晴らしい出産だったと思います。

特に先生やスタッフの方々の長きにわたる献身的なサポートを思うと、こんなに自分の為に誰かが一生懸命になってくれたことを一生忘れられません。だからこれから出産を迎える方の中にもし私の様に長い出産になってしまっても、先生やスタッフを信じて頑張れば絶対大丈夫と言ってあげたいです。本当に10人いれば10通りのお産があるんだな、と実感しています。

最後に幸子先生、婦長、スタッフの皆様、そしてママと一緒に頑張って頭が長〜〜くなくなっちゃった赤ちゃん、本当に本当にありがとうございます。。。。。

私は初めてのお産でした。1/29という予定日だったのですが、その日はなんともなくすぎてしまいました。でも、1/31に検診に来た際、おしるしらしきものが見られ「0.5cmひらいてきてるね」と先生に言われ、まだ入院するには早いということ、自宅に帰って様子を見ることに……。2/1の夜まで、なんともなくすごしてしまいました。陣痛の経験したことがない私は、痛いよつなまだのようなの？という微弱な陣痛からのスタートだったの

で、とても不安でした。

2 / 1の日が過ぎ2 / 2の朝がもうすぐ来るぞというころ、5分おきになってきた陣痛であったものの痛い時間が20秒〜30秒という感じであった為、6 : 00まで様子を見ることに。結局は不安だった為そのまま入院となりました。しかし朝の診察では、まだ子宮口は2cm、このままの状態であったならいつになるかわからんという状態でした。しかし効果的な陣痛が除々に表われはじめ、「いいお産になるよ」と助産婦さんに言われ、調子にのった私は、しばらくあまり声もあげずたえていました。でも、それが最終的に体力がのこりよかつたのでしよう・・・。

赤ちゃんの頭が大きさより平均より2cmも大きく、おまけに回旋異常ということで、子宮口が全開状態になってもお腹の中で赤ちゃんがさがつてこず、あばれている状態、それが続いてしまったのです。

しかし、そんなことは全然知らない私は、とにかくいきんで出さないかんとおもいつきり力をこめて何十回もいきみました。大声をあげてしまい、すぐくはずかかったです、「大丈夫、頑張れ、もう少し」という助産婦さん、先生、立ち会ってくれた夫のはげましで何とか無事出産。たいへんでした。立ち合い出産はとて素晴らしいものです。夫の力があつて私はこの子が産めたと思います。

ずっと痛い間さすってくれたり、手を握りしめてくれたり・・・。感謝です。

先生、助産婦さんありがとうございました。最後、痛くてわめきちらす私を支えて下さったこと、自然分娩でいられたこと、とても嬉しかったです。次回もヤナセクリニックにお世話になります。

今回2度目のお産でしたが、こちらでお世話になりのは初めてでした。

出産当日の朝4:00くらいから陣痛？と思われる痛みがありAM8:00くらいに入院したもののだんだん痛みが無くなって階段を降りたり上がったり、部屋の中を歩き回ったり・・・。

お昼を過ぎてPM2:30くらいに様子を見て来ていた上の娘を見送って間もなく、急に腰が痛み出し、内診してもらった所、もつ8〜9cm開いているとの事。そうしているうちに、どんどん激しい痛みが来るようになって、その度に助産婦さんに腰を強くさすっていただいて、ずい分痛さがまぎれました。

それから出産までの間も、院長先生、婦長さん、助産婦さんの適切な指示や、不安がる私への心強い励ましのおかげで、PM5:12無事女の子を出産する事が出来ました。

皆さんのおかげで本当に大満足のお産でした。どうもありがとうございました。
これから出産される方、どうぞ安心してその日を迎えて下さい。

私の出産予定日は3月1日。予定より20日程、早い出産でした。

2月10日午前7時頃、フツと力が入った瞬間尿をもらした様な感じで何かが流れ出たので、破水？と思いながらも少量だけだったので（午後から検診にゆくし、ちょっと様子を見ようと思い）特にあわてることはなかったです。

それでも何となく気になった私は、たまたま仕事が休みだったパパに連絡してスグに松阪から私の自宅に来てもらうことに。それから病院へ連絡。9時から診察を受けることになりパパの到着を待つ間、それまで何ともなかったのに、急に便がしたい感じが襲ってきました。トイレに行っても治まらず痛みは強くなるばかり・・・パパが到着して病院まで向かう間も痛みに耐えきれず、ずっと叫んでいました。病院に着いて診察を受けることもできずにそのままLD

R室へ。午前10:00入院することになりました。その時には子宮口はもう全開だと言われ、もうすぐに産まれるよ!!の助産婦さんの声に一瞬ホツとし、早くこの痛みから逃れたいと必至でパパの手や体を握りしめ1時間も経たずに無事女の子が誕生しました。

始めから最後まで、ずっと励ましながら汗をふいてくれたり、お茶を飲ませてくれたり一緒にがんばってくれたパパ、おなかの赤ちゃんの様子が見たいと毎回検診の度に付き合ってくれて本当に感謝しています。

そして、これまでに色々お世話になりました先生、看護婦さんやスタッフの方、本当にありがとうございました。

私のお産は、産まれる2日前の夜の陣痛から始まりました。

夜中に10分間隔の陣痛がきて、いよいよ出産だと思ったらなぜか朝にはピタリと治まり、次の夜も7分間隔の陣痛がきて今度こそ出産だと思ったら、なぜか朝にはピタリ……。

朝一番に陣痛はないものの診察を受けたら子宮口5cmということで、そのまま入院。しかし夕方まではあまり陣痛もなく、いったいいつになったら産まれてきてくれるのかと不安になっていたところ、夕方から夜にかけてどんどん陣痛が強まり、アロマバスに入った頃にはあまりの痛みに耐えきれず少しの時間しか入れませんでした。(実はアロマバスに入るのを楽しみにしていたのに……)。

でもアロマバスがすごく効いて、一気にお産が進み、その後はあつという間に出産することができました。元気な初声を聞いた時にはそれまでの長かった痛みも忘れ感動!!でした。

ふりかえればお産が順調に進んでくれたのは、スタッフの方々のあたたかい声援・アドバイス・立ち合ってくれたパパの存在、アロマバス・毎週のヨーガ・産休に入ってから1日2回の犬との散歩がすごく良かったのかなーって思っています。

幸子先生、高野婦長、梅原さん、そして立ち合ってくれたパパ、元気に産まれてきてくれたBaby、本当にみんなありがとうございます。

出産予定日よりも3週間ほどはやく産まれた。うちの子!!

初めてで破水やあゝなんて思ってたなくて、車運転してアパートに帰ったらお腹が“イタイ”もしゃって思ったけど、まだやるあゝって思ってたらどん×2イタくなってきた、やっとじんつつやあゝってきづきました。

私は夜中さけんだんに、ダンナはしらん顔してねとるしー

実家にt e e lしておかあさんにきてもらいました。ヤナセについて子宮口2 c m ひらいてました。それから5 c m ひらくのに半日もかかりました。じんつつのイタみにもあゝ死んできそうでした。こはんもぜん×2たべれなくて、このまま死んでくのかと思いまくってました。もーうきばりたくてしょうがなくL D R 室に入って子宮口全開だったのでふんばりました。でもなか×2頭でてくれないし・・・

時間だけが過ぎてゆくうゝ!! スタッフの人達がいっしょうけんめい背中とかさすってくれて、おかあさんも一緒になってきたばつてくれて、みんながいたから頑張れた***

何回もまだあゝ?! 産まれやんのあゝってきいてました。

何回もいきんで頑張ったらやっと頭がでて、かたがでて、ヌルって全部でて、大きいこえで泣いてくれて・・・
すっごくうれしかった*そしてよかった*
おかさんと、スタッフの皆さんにありがとうとっつて心から言いたいです。これから、ちょっと小さめのこの子をおっ
きく育てたいと思います。
若いママやけどくじけずがんばります？

私は今回初めての出産でした。

まだ、お腹の中に赤ちゃんがいる頃は自分が動きにくいのと、早く赤ちゃんの顔が見たいのとで、早く産まれて欲しい気持ちで一杯でした。

でも、いざ陣痛が始まった時、真夜中だったので不安でした。病院に来てからは陣痛が強くなるにつれて、スタッフのみなさんがマッサージをしてくれたり、痛みを和らげる呼吸法を一緒にしてくれたり・・・それはスタッフのみなさんにとって、当たり前前のことかもしれませんが、やっぱり出産のため入院してくれる私達にとっては何より心強いものだと思いました。

赤ちゃんが産まれたあとは出産より大変で、特に私は母乳について悪戦苦闘でした。まさかこの私から母乳が出るなんて・・・。その戸惑いと、うまく赤ちゃんにあげることができないことで焦りが強くなっていました。

でも、私に合った授乳方法を教えてもらえることで焦りも軽減し、今では落ち着いてすることができるようになりました。

我が子は目の中に入れても痛くない程かわいと言いますが、まさに私もパパさんも親バカぶりを発揮していて、おじいちゃん、おばあちゃんに笑われる始末です。

入院中、スタッフの方に育児観についていろいろ話を聞くこともでき、赤ちゃんの将来が楽しみになりました。赤ちゃんがずっと幸せでいられるように、私とパパさんと楽しく素敵な家庭を築きたいです。

初めての出産でした。本当はもう少し後で子供は欲しいなと思っていましたが、健診ごとに成長していくお腹の赤ちゃんはとても不思議で、感動的でした。

日増しに愛しく思えました。でも予定日の1・2か月前にもなると痛みに対する恐怖がピークに。

できることなら産むのをやめたい。とまで思ったけど、間際にはあきらめもついて、なる様になれという感じでした。

出産当日、朝目覚めてから10・15分おきにずっと痛みが来ていましたが、がまんできるし、時間もちぢまらなし、初めてなので入院するタイミングもいまいちわからず、結局夜中までがまんしていました。そのまま寝てしまおう思ったその時、今までとは違うただならぬ痛みにおそわれた私はすぐにTEL。病院にむかう車の中で急に3分おき位に陣痛が……。その後、入院してから4時間後、無事出産することができました。

本当に嬉しかった。でもその時はもう痛くないんだとか、自分が楽になるという喜びも入っていた気がします。

出産して1日1日、無事に生まれて来てくれてありがとうという、我が子への感謝の気持ち、喜びが強まります。本当に特別な存在です。こんないい出産ができたのも先生はじめ、スタッフの皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

H15・2・14バレンタインの夜に2775gの元気な男の子を出産しました。

私は初めてのお産だったんですが、予定日より1週間早い出産で何のあせりもなく出産をむかえる事ができました。その日の朝4時頃からおなかが痛くて、その内おさまってくだろうと思っても、その日だけは生理痛の強い痛みがきたりして、もしかして陣痛？か思いながらもおしるしもないし様子をみていたんですけど、10分間隔で痛みがきたりするので、午後3時に入院の準備もして診察してもらったら子宮口が5cm開いているという事で、それは痛いわと思いつつ即入院でした。

出産時には旦那さんに立ち合ってもらい、となりですつと手をにぎって、呼吸法やいっばい声をかけてくれたりしたので、安心して出産する事ができました。

旦那のお母さんにも陣痛の時にずっとマッサージしてもらったりして楽に陣痛を乗り切れたと思います。破水してから30分の出産で安産との事でした。ものすごい痛かったけど、産んだら痛みも忘れず。

26年間で一番の痛みと感動がありました。これからご出産を迎えるママさん達、頑張ってください。

2人目の時もヤナセクリニックで産むので、そのときはまたよろしくお願いします。幸子先生ありがとうございました。

バレンタインBabyの誕生!!

2月14日に今までズウィット腹の中にいた子を無事出産。オメデタイ!!パチパチパチ

てか、陣痛は想像以上に痛かった。泣きそうな痛さとかそんなもんじゃなくて、アノ痛さは涙を越えてた。涙が目から流れてこなかったもん。はんぱなく痛かった。

でも陣痛の間、ズウィット私の腰をマッサージしてくれた人がいたからこそ、その痛さをたえる事が出来たと思う。その人はもちろん(新)パパです。とても感謝です。ありがとうネツ。

『ありがとう』といえは……私がBabyを部屋に連れて来て、今までパパと一緒にいたんだけど、仕事で帰っちゃって、私1人でBabyの事をみる事になった時、1人で出来るかとても不安になりました。そんな時にかぎってBabyが泣きだして、私が何をしても泣きやまない時がありました。もうイライラしてきて、私も一緒に泣いちゃった。そんな私にいろいろお話をしてくれた先生、看護婦サン達、すごくやさしくて、励みになり、頑張ろうって気持ちになりました。本当にありがとうございました。

ママへ

出産お疲れ様でした。

最高のバレンタインプレゼントありがとう。

b y : パパ

来た！まちにまつた間隔のあるおなかのつっぱり感！

これだわーと思いました。予定日は2/5なので、2/12には産まれなかったら、促進しましょうとの事。

何ともなかったので2/12は産む気マンマンで病院へ。前日の夜は肉でも食べておりました。

しかし！2/11んっ！！こっこれは！来た！！実家にいた私は、とうちゃんに今夜泊まってもらう事にしました。

夜ごはん食べて、お風呂に入って、時計を見てたら7分、8分おき！そんなに痛みもなく、とりあえずte1。痛みが続くようになったら来て下さいとの事。もう一度、お風呂に入っておこうと思い、入ったら出血！出たらずっと痛いじゃありませんか！

それまで母にもとうちゃんにも信じてもらえない位ヘラヘラしてたのに、急にズーン痛かった！

すぐ病院へ！なんと子宮口が8cmも開いていた！でも少しまだよゆうのある私。LDRで記念写真なんか撮ったりしてたところが、そんなよゆうなんてぶっ飛んだわ！となりでとうちゃんも、うーとか言ってたし、まっ、朝までには産まれると思ってたから、頭の中は“出会いを求めて！”状態で楽しみとコーフィンでいっぱい！

しかし！でないじゃないか！友だちから聞いていた“産まれる時のズルリンはカイカンよ”は無理！私には体験できないー！朝にはおなかを開きました。

うぶ声きいたら本当何もかも忘れるね。その後スタッフの方のあたたかい事！

本当にありがとございました。2人目もまたお願いします。

私は今回4人目で9年ぶりのお産でした。

2月3日に実父が亡くなり、心身ともにまいってしまい、早産しかけて入院・・・

何とか37週目に入り、今度はもういつ産まれてもいいよ・・・と待ち続け、陣痛促進剤を使ったりして何度も陣痛は来たけれど・・・なかなか赤ちゃんもおりてくれなくて5日間、家族にも「まだ?!」とせつつかれて、少々あせり気味でした。

子宮にふうせんを入れ、子宮口を広げるのもしました。産むくらい痛い!でも、そのおかげかやっとう子宮口が開き、あとは陣痛促進剤の力をかりて7時間あまりのお産でした。4人目のこの子が一番大変で、一番きついお産になりましたが、家族全員がたまたまそろっている時に、タイミング良く産まれたし、みんなに支えられたお産でした。

長い入院生活の中、スタッフの方々にも良くしていただいて、「大丈夫よ」「あせらないで頑張ろうネ」と声をかけてもらい、待ちに待った赤ちゃんは、2月25日PM5:46 2980gで元気に産まれてきました。

スタッフのみなさん、先生、本当に長いお産と入院中ありがとうございました。

そして、今年7月には長男に子供が生まれ、またこちらで出産しますので、よろしく願います。

赤ちゃんの名前、友冨(ゆうじ)です。みなさんありがとうございました!!

2003年2月20日PM4:00に4040gのBigな女の子の赤ちゃんが誕生。

初めての出産で、こんなに大きくて元気な子が生まれるとは思ってもなかったです。

健診の時(予定日の3日前)すでに3500gを越えているみたいで、予定日になっても陣痛がなかったら、薬で陣痛を誘発してもらおう事に……。予定日が私の誕生日と同じ16日だったので、同じ誕生日だったらいいなあと思っていただけ、なかなか陣痛の気配すらない。

次の日、入院して朝から薬を飲んだ。早い人だと3〜4錠で陣痛がくるみたいだけど、私の場合はなかなかこない……。点滴と薬と、あとは体を動かしたほうが赤ちゃんが出やすいと教えてもらったので、階段を上り下り、スクワット、部屋の中で体を動かす事3日の夜、少し痛いかなあ……。と思い、LDR室に移動。

4日目のお昼に本格的な陣痛がきてからは、けっこう苦しかったけど、わりと時間的には短かったかなあ。お母さんと旦那が付きそってくれていたのは、すごく心強かったです。最初は立ち合っのが怖かったみたいだけど、生まれた瞬間、パシャパシャ、カメラで我が子を撮りまくってました。

「こんなかわいい子みたことないっ！嫁にはやらんっ。」って、親バカっぷり(笑)

先生や看護婦さん、みな様のおかげで無事産むことができました。本当に感謝してます。2人目はまだまだ考えられないけど、できればまたここでお世話になりたいです。

ありがとうございました。

私にとって2度目のお産でしたが、最初の出産の経験があるだけに不安と心配、そして今度のお産への思いがはつきりとしていました。

上の子は予定日も過ぎ、お腹の中でかなり大きくなってしまい、誘発入院をして、吸引分娩でやっとの思いで出してもらったという感じでした。大きかったので、赤ちゃんの体に少し異常がみられ、つらい出産となりました。

二人目妊娠がわかった時、今度はしっかり体重にも気を付けて、小さく産みたい、LDRで家族3人赤ちゃんをむかえたいと思いました。

8ヶ月、9ヶ月となると、やはり私のお腹では赤ちゃんが育ちやすいのか、大きい赤ちゃんとわかり、37週に入り誘発入院をすることにしました。

入院すれば2・3日で必ず赤ちゃんに会えると思っていたので、楽しみな気持ちで入院してきました。しかし赤ちゃんはどんなに薬や点滴、階段の上り下りをしても産まれてきてはくれませんでした。

シヨックを受けながら1度退院し、また1週間後にがんばってみることにしました。赤ちゃんがどんどん大きくなってしまつのではないかと心配な気持ちは赤ちゃんにはとどかず、2度目の入院も失敗に終わりました。

病院を行ったり来たりしていると気分は落ち込むばかりで、私の思いはわがままな勝手なものかなあと、どうしてよいかわからなくなっていました。赤ちゃんの思いもあるのだから、予定日までゆっくりまって、その後もう1度誘発入院することにしました。そして入院から3日目、やっと赤ちゃんが産まれてきてくれました。

つらく長い入院でしたが、先生、婦長さん、看護婦さん、みなさんやさしく支えてくださいました。

涙ばかりながしていましたが、元気な赤ちゃんに会えた時はとても感動しました。大変でしたが、充実したよいお産ができたと思っています。

いつも笑顔ではげまして下さった先生、お産の痛みも心の痛みもやさしくのがしてくれた婦長さん、看護婦さん、本

当にありがとございました。お世話になりました。がんばって子育てしていきたいと思ひます。
こちらの病院で出産できてよかったです。

2003年3月「出産」

私は2人目の出産で、こちらにお世話になりました。

初めて“私のお産”のファイルを手にとって開いたとき、「どのタイミングで入院するといいのかな?」「陣痛の始まる兆候とか書いてないかな?」と、まるで初産の様に参考書を見る感覚でした。が、本当に十人十色のお産のスタイルで、ビックリしてしまいました。(1人目の出産が長くて痛かった印象の強い私は、「楽に産みたい」気持ちで一杯だったので。)

予定日の4日前に おしるし がきました。1人目の時には無かったので、逆に焦りましたが受診してNSTを取ってもらったと“ぼちぼち”赤ちゃんも準備ははじめているとのことでした。入院したらあれも食べれなくなる これも と夕飯のあとも沢山食べてしまい、その日は寝ました。が、翌日(予定日3日前)の明け方、下腹部の軽い鈍痛で目が覚めました。「食べすぎちゃったせいだな」とトイレに行ってもお通じなし。「まさか?!」と時間を計ってもメチャクチャ。もつと腰の方が痛かったのが陣痛だよな...と、眠ろうとしても、やっぱり痛みが強く(でも我慢できる範囲で)なる感じだったので、もし 陣痛じゃなかったら帰ってくればいいかと、クリニックに着いたのがAM 6:00。LDR洋室で診て頂くと“5cmくらい開いています”とのことでした。

それからはジェットコースターのお産が進みました。理性では先生や婦長さんはじめスタッフの方々の指示はわかるのに、体は全然コントロールがきかず、指示とは逆のことはかりしている私。それでも一生懸命励まし続けて下さったおかげで、AM 8:03無事男の子を産むことができました。

(痛みに耐えられなくて先生や婦長さん、看護婦さんの腕や服をすごい力で握ったり、引っぱったりしてしまっ

すいませんでした。(あまりに早くて、私自身ビックリしてしまいましたけど…)。

短い＝安産(楽産?)ではなくて、やっぱりあの痛みが無ければ子供は産まれないんですね。

でも、今、横で寝ているわが子を見ると、頑張ってたよかったですと心から思えます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

結婚7年目、待望の赤ちゃん。妊娠かな?と喜びもつかの間、5週目からつわり。

もうすぐ、もうすぐと思いつつ結局20週まで続き、その後は体重計とにらめっこ。初めてのことで、不安も多かったけど、検診のたび先生の「順調ですよ」という言葉に安心し励まされ、なるべく楽しくマタニティライフを送るようにはしていました。

3月14日が予定日でしたが、9日の夕方から何かおかしいなあ・・・足のつけ根が痛く、腰もいつもより重い。10日のAM3:00頃、おなかの痛みを規則的に感じ、はかってみると10分間隔。AM6:00までずーっと同じなので、病院にTEL。とりあえず、外来で診察を受けて下さいとの事。念のため入院の準備を持って病院へ。多分、夕方くらいになると思いつけど、もっと痛みが強くなったら連絡して下さいと指示をいただき、一時帰宅。PM7:30、腰の方まで痛みを感じるようになったくらいで、あまり変わらず。再び病院へTEL。夕食をすませてから、入院準備を持って来て下さいとの事。PM8:40LDR室へ。最初の1時間はテレビを見る余裕もあり、アロマバ

スへ(とつても気持ち良い!)その後から陣痛が強くなり、11日のAM1:00~2:00は「もうダメ…」と少し弱気。

少し落ち着いて再びアロマバスへ。すーっとさっきまでの苦しみがうそのよう。話には聞いていたが、こんなにも気分がリラックスできるなんて思っていませんでした。またCDを聞いている余裕なんてないと思っていました。これがまた効果バツグン!!「さあ、頑張るぞーっ!」と気合いを入れ、AM11:36破水。PM2:06誕生。当初、立合いを考えていませんでしたが、主人も仕事以外の時間帯はずっといてくれて、(仕事場が近かったので)ちよつどお昼休みにしつかりと2人で産声を聞くことができました。

陣痛と陣痛の間がどうも長かったようで、先生やSTAFFの方々には長い間お世話になり、ありがとうございます。顔をふく冷たいタオル。腰にあててもらった暖かいタオル。オイルマッサージ。どれもこれもやっていただいた事、気持ちよかったです。本当にありがとうございます。

初めての出産で、不安でした。

まず、陣痛が来たら分かるのかとか、いつ陣痛が始まるのかとか…。

約1週間前に「陣痛が来た!」と思い、病院に来たものの、前駆陣痛で、そのまま帰宅。毎日、毎日「いつくるんだろっ?」とそれはっかり考えていました。

いよいよホンモノの陣痛が始まり入院。はじめは、このくらいなら痛いけど大丈夫と思っていましたが、徐々に痛みは強くなり、「もうダメ、助けて〜!〜!」と苦しんでいました。

LDRに入ってから、うなったり、叫んだり、とにかく痛くて痛くて大変でした。

しかし、LDRに入ってから5時間くらいたった頃、「赤ちゃんの頭が見えてきたよ。」という言葉聞いて、『よし、頑張るぞ!!早く赤ちゃんに会いたい。』と気が合いが入りました。

そして、無事に生まれ、産声を聞いた時、痛くて苦しかった陣痛のことなどすっかり忘れ、達成感と喜びでいっぱいでした。

スタッフの皆さんと家族に見守られて、無事出産できたことが嬉しくてたまりません。

本当に本当にありがとうございました。

4回目のA I Hで運良く妊娠、猛暑のつわりに苦しみ、安定期に入るなり切迫早産気味で自宅安静の日々。8ヶ月に入る頃、ヤナセクリニックに転院して来た頃には切迫早産で32週から35週まで入院でした。初めての点滴&入院。こわがりて泣き虫な私は何度泣いた事か…。

と、いうワケで去年から今年の2月までは旅行にも行けず、ひたすらベットの上でゴロ2してた記憶だけでした。それでも10ヶ月大事に大事にお腹の中で育ててきました。

周りの人がすぐくうらやましい時もありました。何も出来ない自分にイライラして泣いてしまったり、きつとあんまり私が泣くから早く産まれてくれたのかも…？！

予定日より1週間程早く陣痛が来た！“何かオナカがイタイかも？！”と思い時計を見ていると5分間隔！5分にしでは、まだ2がまんできる痛さだし陣痛じゃないかも…と思い、病院に連絡するか迷っていました。でも、立ち上がった時、破水みたいに水っぱいのがモレたので病院にTELしました。(旦那が出勤する10分前でよかった)

病院に着いてもまだ…まさか当日中に産まれるとは思ってなかったし、そのままLDRなんてビックリしました。そんな事とは反対に体の方はすでにイキみたくて2。“こんなに早くからイキみたくなるって本にも書いてなかったのに！”とか思いつつ、痛みも増して来る中私は必死に戦ってるのに、うちの旦那ときたら居眠りしてるの！。“一生忘れるもんか！！”本ト男はたよりにならない…だけど運が良かったのか、沢山の看護婦さんに囲まれて先生が居てくれて、とにかく最後にはこわがりて泣き虫な私もパニックながら出産を無事に終える事ができました。そうできたのもみんなに囲まれて一緒になって『がんばれ2』と、声をかけてくれたり、マッサージをして下さったり最後のほうでは私自身もわけがわからなくなり、ワガママ言いたい放だいしてもイヤな顔せずみなさん優しくしてくれました。

本当に入院中から先生や看護婦さんにはお世話になりました。

本当にありがとうございました。
がんばってもう1人くらいは産みたいです。その時は又お願いします。

予定日が、3/21と言われていて3/7の検診で赤ちゃんの体重が3260gと言われ、先生に『予定日までいくと大きくなりすぎるから入院して促進剤で出そうか？』といわれ、3/13に入院し子宮を広げただけで5〜6cmしか開かなく3/14の8:30から飲み薬で陣痛を起こすことになりました。看護婦さんに『1時間ごとに飲んで6回飲んで効果なかったら次の日、点滴をするね』といわれ、5回目の12:30に薬をのんでも何も痛みもなかった。部屋で少しうとうととして横になりました。あまりの痛さで目が覚めて時計を見ると1:20。起き上がって2分くらいで痛みがおさまり、トイレ行って戻ってみると、またこれが何とも言えない痛さになり看護婦さんに言うとすぐにLDR室へ。1分間隔の陣痛ですぐに出産の準備となりました。赤ちゃんの頭が見えてからは、痛さも慣れはじめ、看護師さんの言うとおりの呼吸でいきんで頭がでてからにゆるにゆると赤ちゃんが産まれました。陣痛から3時間半で元気な女の子を無事に出産し、私の感想は“やっと産まれてくれたー”です。陣痛は、想像以上の痛さでしたけど赤ちゃんの顔と、かけつけてくれただんなさんの顔を見た時には、痛さを忘れてうれしさでいっぱいでした。そして先生や看護師さんのやさしさやほめましますごくうれしかったです。
本当にありがとうございました。

予定日直前に、あれほど気をつけていた上の子の風邪の為小児科へ。そして風邪が夫と実母にうつり、2人共重症。実の父の入院…と私が出産の時、上の子の世話をしてもらうはずの人が次々とダメになり最悪状態で、今もし産まれてらどつしよう…と置いていました。

そんな中、10日間待つて産まれてきてくれました。おかげで10日間の間に夫と実母の風邪も治り、実父も退院。前回と同様、夫には陣痛がきてから出産までずっとそばで立ちあってもらう事が出来ました。「2人目はらくだよ」とまわりの人に言われたけど、初産の時と同じくらい時間もかかり、夜中ず〜っと5分間隔でやってくる微弱陣痛に体力がつきはてて、つらくて大変でした。出産は毎回毎回違うんだな、2度と同じものではなく、軽い気持ちで望んだらダメだなと思いました。

前回は幸子先生、高野婦長さん、看護士さんに献身的にしてくださいいただき満足のいくお産が出来たので、今回も何の不安もなくすべてをまかさせてもらって望みました。気の遠くなるような中、ずっと声をかけて励ましてくれたり、マッサージしてくれたり、とても幸せな出産でした。本当にありがとございました。

2人目の出産でした。1人目が33週で早産。その上1892gと超未熟児で、産後半年後に妊娠していた子も6ヶ月で他界。そんな中での妊娠でしたので、4ヶ月に子宮をしぼり、とても気にしながらの生活でした。でも、予想に反し、予定日をすぎても全く陣痛もなく、40週と3日目入院。昼から陣痛誘発剤を飲み、夕方には5分おきぐらいに陣痛。LDRに入り、主人と子供とリラックスしながらもまだまだ軽い陣痛にたえてましたが、7時すぎ頃から、

かなり本格的になりました。でも、上の子の時のことを思うと、まだまだだと思って思っていました。が、婦長さんや先生が少しずついきんでいいよって言うてくださり、「えっ！もついいの」なんて思いながらもそのままいきんで8時10分にはもう出産してました。1人目の時は、小さいながらも10時間もかかったのに、なんだか本当に大変だったのは約1時間くらいだったので、あっけにとられたよつな気分でした。2人目はお産も早くすすむとは知っていたけど、本当に早く驚きました。不安で毎日、今回は10ヶ月間おなかについてねって祈っていた毎日が、あまりの早さの出産に、不安ばかりしても、きちんと祈れば必ず大丈夫だったことを証明してくれたようでした。

3月3日の予定日だったのですが、3日おくれの3月6日AM2:51に2855グラムで男の子を出産しました。最初、予定日が近づくと、ドキドキや不安で…涙

それが1日おくれ、2日おくれとなるうち、まわりの人から「まだあ〜？」ときかれる、あせりが…。いつの間にか、ドキドキ 不安がたくましくも、どんな陣痛も耐えるゾッ！早くこいつ！と、かわっていききました。そんな風に思ってた夜20時、何か痛いっ” 21時まで時間を計ると10分間隔。すぐヤナセさんにTELをし入院しました。お母さん、妹、友達とそばにいてくれて、リラックスした気持ちで、(だんなさなは仕事で朝5時になるといわれ、いち番心強い人がいないのが…) 3分間隔もフックフックとのがし、Butt1時30分ごろプच्छという音がして、破水。急激な痛みとスピードでパニック”この時、5〜6cmといわれ、『えっまだそんなん』と1言!!とりあえずLDR室に、強い痛みとスピードの早さで『もー無理』って言うたり、『いきみたいっ』そこからは、分きざみで全開に。看護婦さんにも『すごいNe〜早かったNe〜』と言われる中、先生、婦長さんと呼んでもらって『すごい

「早いね」てまた言われ、すごく気分がリラックスへと... そしたらフーツフーツと頭がでてスルツとBabyたん生*

ほんとうになんともいえない痛さだったけど、産声はかなりの褒美。なんともいえない幸せな気持ちへと。残念ながらだんなさまは間に合わなかったけど、am5:00に病院について『くくろう様』といってくれました。それからはニヤツニヤツとBabyちゃんばかり見てたようなの。。

PS:先生、婦長さん、看護婦さん、お母さん、妹ありがとうございました。背中をさすってくれたり優しく言葉をかけてくれて安心して出産できました。

予定日を4日過ぎた3月5日、朝起きると軽い張り痛みがあり、時間をはかってみるとなんと10分間隔! Butそれほど痛くはないし、普通に歩けるし、ダンナさまと「これって陣痛?どうしよう、わからん???」などと言いながら、とりあえずダンナさまと病院へ。

入院したものの、まだまだ余裕で旅行気分の私達2人。しかし、お昼をすぎたあたりから、次第に痛みが強まってきて、LDRへ。子宮口全開までは痛いながらもスタッフの方に助けられ、ダンナさまの励ましもあり、スムーズに進んでいました。が、「子宮口全開」も「もうすぐ産まれる」と思っていた私にとって、それからの道のりが長かった! Babyちゃんがなかなか降りて来ず、お腹の痛みと腰の痛みは増すばかり。「もうすぐ終える?」と何度もスタッフの方に聞きまくり、「イタイ」とわめき...。

そして「もうだめだー」「しんどい」「つらい」と思ったり、その一方でそんな事を思ってしまう自分を情けなく思ったり…。

でもついに23時40分、男の子誕生！！しばらくして、初めて泣くのを聞いた時の感動、うでにBabyちゃんの重さを感じた時の感動は一生忘れられないものとなりました。この感動を味わえたのも、最後まで励まし助けて頂いた先生、スタッフの皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

最初は立ち合いに乗り気でなかったケド、今や立ち合い推進派のパパ。ずっと一緒に居てくれて嬉しかったヨ。ありがとネ。

初めてのお産で予定日を1週間ほど過ぎてしまいました。私に陣痛はちゃんと来てくれるのだろうか、散歩したり階段の昇り降りをしたり、スクワットしたり…と、痛みを待ちこがれました。3月16日の朝、おしるしと少し破水していることが分かり、いよいよ入院することになりました。とてもうれしい気持ちで入院でした。もうすぐ待望の赤ちゃんに会えるのだと。ところが、なかなか強い陣痛がやってきてくれなくて、誘発剤を飲みながらつき添ってくれた主人や母と階段の昇り降りをしたり、スクワットをしながら、どんどん増してきた痛みを必死で乗り越えていました。それなのに子宮口はなかなか開いてくれず、23cmのまま。こらえていた痛みも限界に達した頃、パン！！というすごい音といきおいで破水。婦長さん、看護婦さんたちが見事なチームワークでお産の準備をととのえて下さ

いました。「もう9cmも子宮口開いているよ」の婦長さんの一言で、よし、頑張れる!!赤ちゃんを少しでも早く産んで助けてあげたいと、みるみる力が湧きあがってきました。LDRの和室でした。畳のうえで主人、母、先生、婦長さん、看護婦さんみんなに励まされ、支えられて驚くほどただひたすらに産むことに集中できました。どんなに立ち会ってくれた方々の一言一言、支えマッサージしてくれた手のあたたかさが、ありがたかったか知れません。心ひとつになって一緒になってお産をして下さいました。異様なほどの集中力のせいでしょうか、LDRに入ってから2時間はあつという間を感じられませんでした。誕生!!!産まれたばかりの赤ちゃんをすぐに抱かせてくれ、一生懸命私を見ようとしている健気さに、私のところに産まれてきてくれて本当にありがとう...と、心底思えました。日々成長し、可愛さが増してくる赤ちゃん、日々母親になっていく自分。明日はいよいよ退院です。

最後に、いつも優しく適切なケア、アドバイスを下さった先生、婦長さん、スタッフのみなさん、本当にありがとうございました。和室のLDR、とってもよかったです。家庭的な雰囲気の中、優しい先生、婦長さん、スタッフの方に囲まれてお産ができて本当に幸せでした。

そして、私の痛み、苦しみを泣きながら共に感じてくれた母、苦しい時、悲しい時、どんな時でもいつも変わらない優しさで強さを私をしっかりと励まし支えてくれた主人に心からありがとう!!そしてこれからもよろしくね!!

3/30 朝6:00頃、お腹の下の方が痛くて目が覚めました。

初めは30分くらいの間隔で痛かったのが、10:00頃から15〜20分になり、すぐにおさまる痛みだったのでガマンしていました。3人目とゆう事もあって破水してすぐ出てしまったら困るので、2時半頃病院に連絡して入院しました。でも、なかなか強い陣痛もこず、子宮口もまだ高い位置にあつて、まだまだとゆう時に、アロマバスに入

れてもらいました。とても気持ちがよくてリラックスしていると急に強い痛みがきて、子宮口が半分も開いていて、それからとても痛くて辛かったけど、先生やスタッフのみなさんのおかげで無事にかわいい女の子を産む事ができました。3回目の出産を経験してそれぞれ違った出産でしたが、一番リラックスして、感動して、大仕事をしたなと思った出産は今回でした。

どうもありがとうございました。

私のお産のはじまりは夜中のおしるしでした。夜おフロに入った時「もしかしたら明日産まれるかも？」っていう予感がありました。その後、2時間おきによわい生理痛のような痛みがありますが、夜中だったのでウトウトしながら横になってました。不安だったけども主人がずっとそばについてくれてたのでよかったです。腰が冷えてつらかったけど、主人があつたためてくれてたので、だいぶ楽になりました。人の温もりってこんなにもホッとさせるパワーがあるんですね。明け方、ヤナセさんに電話して病院にむかいました。その時すでに子宮口が8cmもひらいてました。入院してすぐLDR室に入りました。ラベンダーのやさしい香につつまれて、TVをみたり、好きな音楽きいたり、歩いたり、すわったりしてすごしました。10分間隔にきていた陣痛が1時間おきになった時もありましたが、先生が「弱い陣痛だけど、このまま促進剤はしないでおきましょう」と言われ「リラックスのためにアロマバスに入った方がいい」と進められたので、オレンジの香りがただよおフロに入りました。主人に呼ばれて立ち上がった時に「ホコッ」という音がして破水しました。それがよかつたのか、その後本格的な陣痛がきて、ベットに横になりお産の準備を助産婦さんにしていただきました。いきみ方や、赤ちゃんに酸素をおくる方法を教えてもらいながら汗

だくだくになりながらふんばってました。途中、助産婦さんにアロママッサージしていただきとつても気持ちよかったです、安心できました。おへやおフロもそうだけど、アロマのパワーもホントすごいですね。すごく大変な時にリラックスする時間空間いただけで、お恥ずかしい話だけど、いきみといきみの間ウトウトしてしまうこともありました。途中、婦長さんにも来ていただいて、沢山のスタッフの方々にはげまされ、声をかけられ（最後は体育会系のノリだったけど）無事男の子を出産することができました。本当にありがとうございました。これから出産をひかえてみえる未来のお母さん、大変なことだけど、生まれてきた赤ちゃんの顔をみたら今までの痛みなんてふつとびますよ！！

今回、私は初めてのお産でした。初めてという事と心配症の性格もあって、陣痛ってどれ位痛い？陣痛に耐えられるかな？うまくいきんで赤ちゃんを産めるかな？…などなど、たくさんの疑問や不安がありました。でも私は実際、お産を試してみて思いました。“案ずるより産むが易し！！” いざお産！！となったら次々やって来る陣痛の痛さに耐えるのに必死で恐いと思う事などありませんでした。途中、辛くてへこたれそうにもなったけど、「赤ちゃんも頑張ってるんだから私も頑張らなければ！！」「もう少し頑張ったら赤ちゃんに会える！！」と思って頑張りました。もちろん最後まで頑張れたのは、ずっと付き添って励ましてくれたダンナさまとお義母さん、そしてお産も頼もしくリードしてくださったスタッフの方と先生のおかげでもあります。私は産院でやっているマタニティ・ヨガにも1度も出席したことがなかったし、呼吸法も妊娠中に勉強したりもしなかったもので、うまく陣痛を乗り切れるか、いきんだりできるかが心配でした。でも全然大丈夫。スタッフや先生にリードしてもらったようにすればちゃんと出来ます。

予定日より1週間早く、いきなり5〜6分間隔の陣痛で始まった突然のお産でしたが、無我夢中ながらも“自分の力で産めた！”と満足できるお産ができました。初産でしたが、比較的安産だったし、何より赤ちゃんが元気に産まれてくれて本当に良かったです。

これから出産を控えて不安に思っている方。大丈夫ですよ。本当にいざとなったら人間頑張れるもんです。一緒に居てくれる家族や頼もしいスタッフの方々、先生も付いているから安心して出産にのぞんで下さい。赤ちゃんに会うのを楽しみに、赤ちゃんと2人3脚で頑張ってください。

予定外でし。陣痛 入院 出産*のはずが…突然の破水！！AM5:30寝ぼけながらストロベリーダイアリーをめくり、破水したらどうしたらいいか調べ、P a P aを起こし…入院。初めての出産で不安だらけの私に追い討ちをかけるかの勢いで不安が！陣痛誘発剤を飲みながら、生理痛くらいの痛みに余裕が！これからジゴクの様の痛みを経験するなんて想像もしてなかった。赤ちゃんの産声を聞くまで、P a P aと一緒にがんばりました！！だから今めっちゃくちゃ幸せ* 天使の寝顔とは、まさに我がB A B Yの寝顔だと、親バカぶりを発揮しております。

陣痛と闘い 涙*涙のご対面(出産) 幸せ*

ヤナセクリニツクの皆様、P a P a、ありがとうございました。

今回、2人目の出産ということで、そんなに心配はしていなかったが、やっぱりお産が近づいてくると緊張しました。軽い陣痛で始まり、入院してアロマバスに入浴させてもらいました。自分の好きな香りが選べ、入浴中は痛みも和らぎ、とてもリラックスできました。その後、陣痛が強くなり、もうそろそろかな…と黙っていたら、間隔が遠のき、結果的に12時間と1人目の時よりも長びいてしまい、ダラダラとつづく痛みに耐えられない時もありましたが、その間、婦長さんがずっと付き添ってくれ、腰などアロマオイルでマッサージしてくれました。マッサージしてもらつと、少し痛みが和らぎもちよかったです。主人も立合いはしていませんが、そばにいてくれて、安心しました。お産は大変でしたが、子供も無事に産まれてきてくれて、薬もつかうことなく自然な形で分娩できて良かったです。先生やスタッフの皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

今回、三人目の出産でした。(妹がスタッフとしてお世話になることになり)初めて検診に来た時、まず驚いたのは、先生の人柄でした。

上の子の時とは全く違って、緊張する事なく話できました。

幸子先生は医者独特の雰囲気がなく、いつもニコニコ笑顔で、言葉の一つ一つに優しさがあり、上の子も先生の所で産めばよかったーっ!!って感じてました。

(私は医者の前では聞きたい事も聞けない小心者(?!)なので…)

予定日一週間前、突然破水して入院したものの、陣痛は弱く、進む気配はなく、また(上の子の時みたいに)促進剤の注射かな…なんて思いながら、時間はたちましたが、先生は無理に注射するのではなく、薬を飲んでなるべく自然に…と(私の希望通り)言ってくれて、婦長さん、スタッフの皆さん、楽なポーズを教えてくれたり、全身マッサー

ジしてくれて、長い時間、温かい言葉をかけてもらい、痛み集中する事なく、落ちついてイザという時を迎えまして。

そして、今まで痛みに苦しみ目を開けた事のなかった私は、この目でしっかりと産まれてくる瞬間を見て、本当に感動しました。三人目にして初めて満足のいくお産ができ、感謝しています。

出産＝痛くて怖いと思っているこれから出産されるママ達に伝える事は『先生やスタッフの皆さんを信じていれば、全然恐くなんかありませんよ*』です。

2003年4月「出産

16日15時前の出産の前ぶれは、12日夜中のおしるしに始まりました。しかし、その後3日ほどはさほど痛みがなく、入院のタイミングを迷っていました。15日夜中よりやっと規則的な陣痛となり、16日9:00にLDR室へ。すでに子宮口は8cmの開きでした。痛みと戦っていると、おとなりの和室に新たな妊婦さんが。ものすごく痛がっている声が聞こえ、もうお産が早くも始まっているようです。私はその声につられないよう耳をふさいで気をそらせて陣痛をやりすごしていましたが、おとなりから元気な産声がひびいた途端、いきみたいのが我慢できなくなり、ナースコール。ベットに横になり、助産婦さんらの指導にしたがいながら力を入れますが、なか2上手にできないものなんです。横ではダンナさんが顔を扇いでくれ、汗ばみながら言われたとおりいきんでいると、「あ、出てきた」「あ、止まった」など実況してくれるので、やっと進行状況がわかるといった次第。なんとか無事出てきてくれた赤ちゃんは思っていたよりもスツキリとしていて可愛い*と思いました。その後、点滴を受けながら後産をしましたが、この時まだ私は痛い思いをしているのに、パパもあばも関心は赤ちゃんへ。仕方ないけど、ちょっと寂しいぞ。とにかく安産だったとの事で本当に良かったです。先生、看護士さん、助産士さん、その他スタッフの皆様、いろいろと有り難うございました。

私は、初産婦だったので、予定日より2週間早く出産しました。ヤナセさんで出産出来て本当に良かったと思います。私がリラックス出来たのは、マザーズクラスの先生からの分娩の話などを聞いて、不安事の解消にもなり安心出来たのと、出産時の助産婦さんのマッサージ…。精神的不安には、かなり心強く安心出来ました。陣痛も無事のリこえ出産出来たのは、お産時がかわってくれた皆さんのお陰です。本当にありがとうございます。出産でとりあげて頂いた、先生、高野さんお世話になりました。本当にありがとうございます。

初産という事もあって予定日が近づくにつれ緊張と不安の毎日でした。予定日の明け方ついに『おしるし』がありました。夕方頃には、生理痛のようなものがあり、これが陣痛なんだと嬉しくなりました。夜中2時頃には痛みの間隔が5分になり入院したものの段々痛みと間隔が遠のいてしまいました。お昼になっても変わらず病室をウロウロしたり、階段の上り下りを繰り返し何度もしました。20時頃には10分間隔になり子宮口もだいぶ開いてきたみたい。まだ破水をしていないから汗をかいているのと体を温めリラックスできるようにとアロマバスへ。出てくる頃には痛みも強くなり、腰も抜けるような感覚で立っているのも辛くなりました。ベッドで横になり、腰をあたためながら母と看護士さんがマッサージしてくれました。時々、意識がなくなりながらもやってくる痛みをCDに耳をかたむけたり、呼吸法で逃しながら子宮口が全開になるのを待ちました。全開になってから約1時間後に無事に出産する事ができました。LDR室に入ってから約8時間と長かったにもかかわらず、ずっとマッサージしてくれた母と看護士さん。何度も弱音を吐いてわがままばかり言ってしまったけど最後まで力強く励ましてくれたおかげで辛く感じていた出産がすばらしいものだと感じる事ができました。ヤナセクリニックで出産できて本当に良かったです。色々とお世話になりました。

1人目は赤ちゃんが大きくて陣痛とかの経験も無いまま帝王切開の出産でした。「大きく」なければ2人目は自然分娩もできると言われていたので1人目の時よりは、体重増加を気にしたりしていたのですが、やっぱり8ヶ月頃から少し大きくなり始め、10ヶ月には1人目より小さいとは言えお腹も大きくて苦しい毎日でした。先生には、1人目の事もあったので、妊娠初期から色々相談に乗っていただいていた最終的に帝王切開の予定をたて、その間に陣痛が来て自然分娩できそうなら自然分娩でと決めていました。今回はおしるしがあったり、前駆陣痛があったり、手術予定日の2日前に結局破水をしてしまい私の自然分娩をしたいという希望をギリギリまで優先していただき半日自然に陣痛を進むのを待ったのですが、なかなか上手く進まず急きよ夜に帝王切開で1人目よりは少し小さめの男の子を出産しました。実は1人目の手術の時に腰からの麻酔が辛かったり、手術中も麻酔が利き過ぎて呼吸が苦しくて術後の痛みよりしんどかったため、今回も不安があつて怖かったのですが、柳瀬先生から手術内容の説明は親切でわかりやすく、手術中も柳瀬先生はもちろんスタッフの方もコミュニケーションをしっかりと取ってくれて、とても落ち着いた気持ちでお産ができた事がとてもうれしかったです。術後の回復も順調で次の朝には歩く事もできました。1人目の時も他の病院ですが母子同室で私はとてもその状態が良かったので「母子同室」でヤナセクリニックを決めたのもあったのですが、授乳の時間もあえて決めていないので個々のリズムをつくっていける体制やスタッフの方が1人1人の母子にあわせて親切に対応してくるので、リラックスして入院生活を送れました。帝王切開は3人目まで出産できるそうなので、主人の転勤があつたりでわかりませんが、できればもう1度ヤナセクリニックで出産したいです。柳瀬先生、スタッフの方々、お産はもちろんその後のケアも親切、丁寧に対応していただき本当にどうもありがとうございました。今後も健診でお世話になりますので、よろしくお願い致します。

今回は、2度目のお産でした。「2人目は進行が早いよ」と言われていた通り!!

朝、いつもとは違う体には気付いていたものの、10時まで自宅に。病院に着いてからもそれほど陣痛を強く感じる事もなく子宮口は8cm開いていると言われていてびっくり!!

破水してからは、30分程度の早さでした。

でも2最後の痛みはやっぱり同じ…

先生をはじめ、スタッフの方々を完全に信頼し、まかせていたので安心してお産ができました。何よりうれしかったのは、上の子が弟の誕生に立ち合い、産まれた瞬間、本当に素敵な表情をした事です。立ち合やす事は、直前まで迷っていたのですが、「大丈夫!!大丈夫!!嫌なら自分で出ていくよっ」との言葉に思いきってよかったです。

私を『安心』させて、お産に挑ませてくれてヤナセクリニックの皆様には感謝しています!!

私は、予定日より一週間遅れて産まれてきました。

全然、陣痛が来なくて、予定日過ぎてから毎日ウォーキングをして運動しました。5日目の夜、破水しました。すぐに病院に行って、入院しました。次の日、薬で陣痛を起こしてくれましたが、全然陣痛とは言えないようで、その日はあきらめて寝る事になった。

また次の日に、今度は点滴で陣痛を起こしてもらおうと、3分間かくで急にやってきた。突然1分間かくで来てとても辛かった。

子宮も6cmに開いた頃、痛みが耐えられず看護婦さんにわがままばかり言ってしまった。アロママッサージを腰にしてもらいとても感謝しています。先生も助産婦さんもすごく優しく接してくれて、みんなが天使のように思えました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

予定日前日の午前3時にはじまった陣痛から私たちの記念すべき1日はスタートしました。午前5時すぎに入院。スタッフの皆さんのアドバイスやアロマバスですっかりリラックスすることができ、これは余裕かも？と思っていたのもお昼すぎまで。その後の3時間ほどは、これまで経験したことのない痛みと、その痛みがどこまで増すのか、という恐怖で何も考えられなくなっていました。ただし、その間のつらい記憶は産まれてきた子どもの姿をみた瞬間に魔法にかげられたかのようにきれいに飛んでいきましたが…。

文字にするとたったこれだけのことですが、生まれてはじめての神秘的な体験でした。そして信頼する人々に支えられ、この経験ができたことに心から満足しています。

はじめての妊娠生活で感じた多くの不安を検診のたびに消し去ってくださった柳瀬先生。

ヨーガでお世話になり、出産当日も安心感を与えてくださった高野婦長さん（あのパニック状態でも呼吸法をリードしてくださいました）
最後まで私の耳に届いていました、スタッフの皆さん。

かた時もそばをはなれることなく立ちあい、不安と恐怖心を半分ひきうけてくれた夫。

あの日、私以上に苦しく大変な思いをして、私たちにこれまで味わったことのない喜びと感動をくれた最愛の息子。本当にありがとうございました。

私のお産は、予定日より10日早い25日の朝、陣痛から始まりました。病院へ行くと、まだ時間がかかりそうというので一度帰宅しました。そして、その日の夜中、ついに痛みが5分間隔になり、入院したものの、陣痛が強くならず子宮口も2cmのまま。本当に生まれるの〜って半べそ状態のまま、お昼すぎようやく子宮口は8cmに開きまし

た。お産の間中、痛い痛いと言わさずまわってしまっただけで、入院から約20時間後、無事元気な男の子を生むことができました。後から言いたんですが、少し微弱陣痛だったとか。でも、赤ちゃんの泣き声を聞いた時の感動で、それまでの痛みは消えています。痛みが弱虫な私がお産に耐えられたのは、先生やスタッフのみなさん、そしてDR室ですつと手を握ってくれていた夫と母のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

私のお産は予定日より18日も早く、朝方破水から始まりました。病院へ着いてしばらくして、軽い陣痛があるくらいでした。破水していたので残念ながらアロマバスには入れなかつたけれど、代わりにアロマ入りの足浴をもらって、もの凄く気持ち良くて、陣痛の痛みも忘れるほどリラックス出来て良かったです。夕方から本格的な陣痛が始まりました。旦那にも立ち合ってもらい分娩へ。看護士さんや助産士さんに腰を押してもらったり声をかけてもらったり、医院長先生に支えてもらって、無事に23時31分出産できました。

ヤナセクリニクで出産出来て本当に良かったと思います。そして、最初は嫌がっていた旦那の立ち合い出産でしたが、終わってみると感動できて、立ち合いが出来て良かったみたいです。横に居て声をかけてもらうだけでも、励まされて頑張れたと思います。立ち合い出産っていいものですヨ！！

初めてのお産です。予定日前から「陣痛が破水か、何からくるのかな」と毎日ドキドキしていたのに、予定日を過ぎても何の兆候もなく、予定日を過ぎた3日頃から周りからの「まだか」コールや、急に大きくなったお腹のせいのできた妊娠線を発見する等、ストレスがでてきて、長いマタニティライフの中で初めてブルーな気持ちになっていました。そして5日目の朝にやっと陣痛がきました。その時は痛さよりも陣痛がきてくれた喜びでルンルン気分でした。来ていました。朝の8:30ですが、その余裕も午前11時を過ぎた頃からなくなり、陣痛は3分間隔でとても痛かったです。が、初めての私はどの痛さまで我慢していいか分からず病室で耐えていたのですが、午後1時半頃にはもう我慢できないと思いつつの方に告げ、LDR室へ。が、その時には既に子宮口は9cmの事で、「少しずつイキんでもいいよ」と言われました。それからはずっとイキんで、午後4時51分に出産しました。せつかくのLDRの設備やアロマバス等、満喫する事なく終わってしまったのが残念なような、あつという間で良かったような…。3715gのBigな赤ちゃんでしたが、初めての私は比べるものがないので、大きくて大変だったという思いはありませんでした。何より赤ちゃんが産声をあげた瞬間の光景は一生忘れないと思います。赤ちゃん誕生の10分前に到着したパパにも少しの時間ですが立ち合ってもらって良かったと思っています。これから出産される皆さん“案ずるより産むが易し”ですよ。頑張ってください!!

私のお産は、早朝の破水から始まりました。朝起きると動くたびにチヨロチヨロと何やら水っぽいものが下着をぬらしました。“もしや破水?!”朝一番で受診すると高位破水との事でそのまま入院。破水すると陣痛がついてくる事が多いとの事で、陣痛が来るのを待ちましたが、何の変化もなく、お昼過ぎから陣痛を誘発する錠剤を飲むことに…。

それからずっと主人と2人で階段の上り下りをくり返し陣痛が来るのを待ちました。夕方頃になって“これが陣痛?!”という痛みがやってきました。とうとうお産が始まる!と期待と不安が混じった気持ちで一晩中一睡もせず痛みと戦ったのに、朝方になってナント陣痛はどこかへ行ってしまいました。またやり直し?!昨日と同じように薬を飲み、階段を往復し一晩中がんばりぬいたのに、またまた朝には陣痛はどこへやら…。なんだかとても悲しくなりました。いつになったら私はお腹の子に会えるんだろう…。不安で不安で仕方なくなりました。そして3日目は点滴で陣痛を誘発してもう一度トライ!今度は強い陣痛が来てやっと私のお産は始まりました。ここまで長かったこと!でも実はここからもとっても長い時間となっていました。いきむこと6時間30分、やっとの思いで私は我が子をこの手に抱くことができました。正直言つといきみながら“もうダメ”なんて弱音を心の中ではいってしまいうような時もありました。がんばり通せたのは、先生はじめスタッフの皆様が励まし支えてくれたお陰です。そして一緒にがんばってくれた主人と私の赤ちゃんももちろん!!お産は自分1人ではありませぬ。たくさんの方に支えられているんだなあと実感しました。これからご出産の皆さん、先生とスタッフの皆さんの言う事を信じていればぜったいに大丈夫!!ですよ。どれだけ心強かったことか!!そのうち皆さんも実感すると思います。最後に先生、スタッフの皆様、本当にありがとうございます。皆様のお陰でかわいい我が子に会えました。ヤナセクリニックさんで出産できたこと、とても幸せに感じています。

私のお産は安産でした。

弱くてこしがイタイとゆう陣痛は朝の4:00ごろ。

本格的な陣痛は夜の9:00ごろ〜11:00ごろまでで、そのあとお産に入ってから45分ほどで生まれました。

産婆さんがリードしてくれて、とても上手な教え方で色々たよって安心して産むことが出来ました。

やっぱり産婆さんが上手だとお産がラクに進むのカナ?と思いました。

3・4年はまだ少しコワイケド、2人目もまた産みたいとゆう気持ちになれるお産でした。

また次も同じ産婆さんだと良いなと思いました。

私の出産は妊娠中毒症との戦いの中での幕開けだった。そのため、陣痛開始前より入院していた。入院2日目の4/20より微弱陣痛が続き、そのせいで食事ほとんどを通らず、眠るのも眠れないでいた。4/21の午後、先生に子宮の入口に風せんを入れる処置をしていただいた。これがものすごく痛く、「もう私、妊婦やめる〜!もう嫌や!」と旦那に泣きつく程だった。その夜、陣痛が5分間隔となり、LDRへ。そこからもさらに陣痛が続き、4/22夕方陣痛をおこす点滴を開始し、ようやく子宮口が全開となった。そこからいきんでもいきんでも破水はしないし、しかも2日間食べれず眠れずだった後なので、陣痛の間は眠いし、赤ちゃんの頭が見えたと言ってもらってもまたひっこんでいくしで、「もうずっと一進一退で、このまま出てこないのでは...」と思い、すごく苦しかった。そしてさいごにおもいつき大きな痛みがあり、「痛アーイー!!」とさげび声をあげ、19:33ようやく、本当に本当に、やーっとなが子の産声を聞くことができた。

はじめて我が子を見た時、「ああ、ようやく産まれたんだ」という安堵感とともに、「本当に自分が人間を産んだんだなあ」という不思議な気分だった。そして「小っちゃ〜い」と思うと同時に「私の一生の宝もの」という思いが自然にわいてきた。それは他人の赤ちゃんを見て思ったことのないもので、やっぱり自分の子はちがうものなんだなあ、と産んではじめてわかった気もちだった。しばらくはもうあんなに痛く苦しい思いはしたくないけれど、赤ちゃんの顔を見ているとそんなことは忘れてしまっている。

陣痛の時からずっと付きそい、立ち合って励ましてくれ、さらにへその緒まで切ってくれた旦那にはすごく感謝の気もちがあり、これから2人で育てていこうという気もちが深まった。

そして、私をこんなに幸せな気もちに導いてくださった先生、婦長さんをはじめスタッフの方々、本当に本当にありがとうございました。

16日15時前の出産の前ぶれは、12日夜中のおしるしに始まりました。しかし、その後3日ほどはさほど痛みがなく、入院のタイミングを迷っていましたが、15日夜中よりやっと規則的な陣痛となり、16日9:00にLDR室へ。すでに子宮口は8cmの開きでした。痛みと戦っているとおとなりの和室に新たな妊婦さんが。ものすごく痛がっている声が聞こえ、もうお産が早くも始まっているようです。私はその声につられないよう耳をふさいで気をそらせて陣痛をやりすごしていましたが、おとなりから元気な産声がひびいた途端、いきみたいのが我慢できなくなり、ナースコール。ベットに横になり、助産婦さんらの指導にしたがいながら力を入れますが、なか2上手にできないものなんです。横ではダンナさんが顔を扇いでくれ、汗ばみながら言われたとおりいきんでいると、「あ、

出てきた」「あ、止まった」など実況してくれるので、やっと進行状況がわかるといった次第。なんとか無事出てきてくれた赤ちゃんは思っていたよりもスツキリとして可愛い*と思いました。その後、点滴を受けながら後産をしましたが、この時まだ私は痛い思いをしているのに、パパもあばも関心は赤ちゃんへ。仕方ないけど、ちょっと寂しいぞ。とにかく安産だったとの事で本当に良かったです。先生、看護士さん、助産士さん、その他スタッフの皆様、いろいろと有り難うございました。

私は、初産婦だったので、予定日より2週間早く出産しました。ヤナセさんで出産出来て本当に良かったと思います。私がリラックス出来たのは、マザーズクラスの先生からの分娩の話などを聞いて、不安事の解消にもなり安心出来たのと、出産時の助産婦さんのマッサージ…。精神的不安には、かなり心強く安心出来ました。陣痛も無事のリこえ出産出来たのは、お産時かかわってくれた皆さんのお陰です。本当にありがとうございます。出産でとりあげて頂いた、先生、高野さんお世話になりました。本当にありがとうございます。

初産という事もあって予定日が近づくにつれ緊張と不安の毎日でした。予定日の明け方ついに『おしるし』がありました。夕方頃には、生理痛のようなものがあり、これが陣痛なんだと嬉しくなりました。夜中2時頃には痛みの間隔が5分になり入院したものの段々痛みと間隔が遠のいてしまいました。お昼になっても変わらず病室をウロウロしたり、階段の上り下りを繰り返し何度もしました。20時頃には10分間隔になり子宮口もだいぶ開いてきたみたい。まだ破水をしていないから汗をかいているのと体を温めリラックスできるようにとアロマバスへ。出てくる頃には痛

みも強くなり、腰も抜けるような感覚で立っているのも、座っているのも辛くなりました。ベッドで横になり、腰をあたためながら母と看護師さんがマッサージしてくれました。時々、意識がなくなりながらもやってくる痛みをCDに耳をかたむけたり、呼吸法で逃しながら子宮口が全開になるのを待ちました。全開になってから約1時間後に無事に出産する事ができました。LDR室に入ってから約8時間と長かったにもかかわらず、ずっとマッサージしてくれた母と看護師さん。何度も弱音を吐いてわがままばかり言ってしまったけど最後まで力強く励ましてくれたおかげで辛いと感じていた出産がすばらしいものだと感じる事ができました。ヤナセクリニックで出産できて本当に良かったです。色々とお世話になりました。

2003年5月ご出産

予定日を過ぎていたので、入院の日も決まっていたのですが、AM4:20破水があり突然入院する事になりました。LDRに入り10分間隔くらいで陣痛がきていたのですが、いつの間になくなっていき、お部屋に戻されてしまいました。お昼ごはんもしっかり食べ本当に生まれるのかなあと笑っていたらお腹が痛くなりだし、PM2:00すぎにLDRへ移動。その時は途中で動けなくなるほどで、内診してもらおうと7cmも開いていました。

2才の娘も一緒に立ち合ってくれて痛がる私に「ママお茶飲んで」と持ってきてくれたり、「頑張って!!」と声を掛けてくれ、PM3:37 4030gの女の子が誕生しました。

二人目は陣痛がきたら早いと聞いていたのですが、本当あつという間のラクラク(4030gで?!)出産でした。後陣痛の方が痛く、かなり悩まされました。

staffの方々の暖かい支え、主人や母、そして何よりも娘のはげますが、一番のPOWERになり、今回の出産も無事終える事ができました。

本当にありがとうございました。

里帰り出産のため、通い慣れない病院での出産に不安だらけでしたが、看護婦さん、先生、皆いつも笑顔でむかえてくれて、今では本当にここで出産ができて良かったと思っています。

なかなか強まらない陣痛に、どんどんあせる私を看護婦さん達が優しく励まし、リラックスさせてくれ、お産の最中も「もうダメ」と弱音をはきそうな私をしかることなく応援してくれ、産み終わってからの入院生活でも、おっぱ

いがはって痛がる私にアロマ湿布を作ってくれたり、マッサージしてくれたりと本当に一生けん命になってくれて、感謝の気持ちでいっぱいです。

退院後もいろいろと大変なこと、不安なこと、出てくると思っけど、出産時のあの痛み、そして赤ちゃんとの初めてのご対面の時の感動、なんとも言えない愛おしい気持ちを忘れずにいたいと思います。苦しみの後には、いままでに味わったことのない喜び、感動が待っています。

H9年に結婚し、当時24才の私はまだ一人の方が楽しいと思っていたし、子供はいつでも出来ると思っていました。約1年が経ち、そろそろ一人目が欲しいね、と主人と話した頃から29才になるまで、一向に妊娠の兆しが無く、初めて不妊治療とゆうものに目を向け、ヤナセさんに来しました。不妊治療を初めて半年以上が過ぎた頃、体の異変に気づき妊娠している事が判明。しかし、まだ周期が早すぎる為、尿検査だけの反応でした。それから2週後、きちんと子宮の中に袋の確認が出来たので正常妊娠である事が解り主人と二人ともて喜んだ事を覚えていきます。

つわりもそれほどひどくなかったので、体調のいい日は津駅から三重会館までを歩いたりして体重増加をなるべくしない様努力しました。食べ物についても1日30品目を心がけたり、白米に半分玄米を加えたりしました。家ではヤナセさんで教えていただいたヨーガもほとんど毎日して安産に挑んだつもりだったので、お産に結局22時間近くかかってしまいました。ちょっと赤ちゃんが大きかったみたいです。いつになったら産まれるのか先の見えないお産中に泣き事も出てしまいましたが、先生をはじめ婦長さん、看護婦さん、そして主人に励まされなんとか元気な赤

ちゃんを産むことができました。今日は産後2日目で、となりで赤ちゃんがスヤスヤ眠っています。この光景をずっと夢見てました。今とても幸せな気持ちでいっぱいです。これからは、この子が健やかに育つよう夫婦二人仲良く子育てがんばります。先生、婦長さん、スタッフのみなさん本当にありがとうございます。これからもそのやさしい笑顔でたくさんのお婦さんや不妊治療にはげまれているご夫婦を勇気づけて下さい。本当にありがとうございます。

今回の出産は4人目の出産で、予定日を一週間過ぎていましたが、おしるし陣痛が来てスムーズに出産になりました。4人目なので気持ちはゆつたりとかまえていましたが、いざ出産となるといつも出産の時はそうなんです。陣痛が弱いのでなかなか頭が出るまでが時間かかりました。自分の中でまだまだ長引きそうだなと力の限界を感じていた頃、強い陣痛がきた時にいきんだら後はすぐ出産でした。出産の時間は4時間近くでしたが、出産は何人でも体力がいるなと思いました。赤ちゃんも予定していた体重より3215gと標準だったので良かったです。スタッフの方々も私と赤ちゃんの事を考えて頂いて、細かく言葉をかけて頂いた事が何より励みになり、出産もスムーズに行っただなと心から感謝しありがたく思いました。

最後に先生のやさしい顔を見て、出産はたいへんだったけど無事生まれてよかったねと痛みも忘れていました。4人目でも感動感動でしたヨ。今からたいへんですが、がんばって育てていきたいと思えます。先生、スタッフのみなさん本当にありがとうございます。

待ちに待った第2子の誕生。

1人目の出産は逆子だったので、帝王切開での出産でした。

だから生まれる前から、何月何日の何時に誕生するというのが分かっていました。それはそれで刻一刻と近づくのドキドキしていました。しかしできる事なら普通分娩をして出産したかったです。第2子は、位置もよく順調であれば普通分娩できるという事で、ドキドキしながらいつその時が来るのかと心待ちにしていました。

そして、いよいよ陣痛が始まり、間隔も短くなつて病院に来てみると、ロビーで一足速く同じ状況の妊婦さんと出会い2人同時に入院、状況的にもう1人のママさんの方が進んでいて、私は病室で待機。。その時がくるまでベットの^上(分娩台)でお産すると思っていた私を和室に…

タタミの上で出産するなんて想像もしていませんでした。

分娩台での出産も私は未経験ですが、貴重な体験(タタミの上で出産)をさせて頂きました。先生方に「安産」でしたヨと言われホツとしました。第3子を出産する時があれば、ヤナセクリニツクの和室でまた出産したいナあとと思いました。

皆様、本当にありがとうございました。

私は赤ちゃんが逆子だった為、帝王切開での出産でした。36週に入院して、1度幸子先生に外回転で治してもらったのですが、38週にはまた逆子になってしまいました。どうしても自然分娩がしたかったので、もう1度外回転をお願いしたのですが、今度は赤ちゃんが大きくなりすぎていた為にもう戻らず、幸子先生の「赤ちゃんはよっぽどこ

の位置が居心地がいいんやなあ、あんまり無理せんとか」の言葉に帝王切開を決めました。手術の説明は先生から丁寧にして頂いたので、緊張はしましたが、不安はありませんでした。

手術中も意識はあるので、高野婦長さんが話しかけてくれて、ずっと顔を支えてくれて、そばについてくれた事が嬉しかったです。

看護婦さんも手をにぎってくれたり、さすってくれたので安心しました。スタッフの方々がみんなとても親切に接してくれたのが、とても嬉しかったです。手術開始から間もなく赤ちゃんが取り出され、産声を聞いた時は、とても感動しました。生みの苦しみは無かったけれど、赤ちゃんを見て、「この子がお腹に入ってたのかあ」となんとも言えない気持ちになりました。術後の回復も順調で、2日目には歩くことも出来るようになり、終わってみればあんなに緊張していたのがムダだったと思いました。あたたかい雰囲気やナセクリニックさんで出産出来て本当に良かったです。

どうもありがとうございます。

今回は2人目の出産。こちらの病院でのお産も2回目となりました。今回は1人目と違い、早い時期からお腹の張りがあり、妊娠25週で子宮口を縛る手術を行う為入院し、その後も36週を迎えるまで安静を強いられました。

早産の危険があると言われ、ただ自宅で寝ていなければなりませんでした。上の子の世話がある為、早くから実家に世話になり、「10ヶ月までなんとかもたせたい」と、我慢の日々。実際の10ヶ月間よりも長く感じられました。そのおかげか、予定日の前日までおなかの中にあることが出来、思っていた以上に大きな赤ちゃんが無事産まれました。

上の子も先生と婦長さんにとりあげていただいた為、何の不安もなく、突然の夜中の破水から始まるお産でしたが、安心して臨む事が出来ました。

お産にかかったのは約4時間と、上の子の3分の1の時間でしたが、今回は1人のお産。そんな中、看護師さんがアロマの足浴をしてくれ、つらい時にうちわであおいでくれ、額の汗を拭いてくれました。それが心強く、痛みに耐える事が出来ました。なかなか赤ちゃんが下におりてきてくれず、最後は大変でしたが、産声を聞いた時、長かった10ヶ月がやっと終わり、無事産まれたんだとホッとしました。温かい看護をして頂き、やはりこちらでお産をして良かったと思いました。

初めての出産で、予定日より9日早い出産でした。

5/11の朝6時頃から不規則なお腹の痛みが、もしかして陣痛？と思っていたら、2時間程度で痛みが転滅。なあーんだ陣痛じゃなかったのか…

いつ陣痛がくるのかドキドキしながらいると翌5/12朝5時頃から再び痛みが、おしるしのような出血もあり、痛みもだんだん10分おきに規則的になってきたので、今度こそ陣痛だと思い、病院へ。子宮口も5cm開口。そのまま入院となりました。入院後さっそくラベンダーのアロマバスに入らせてもらいました。しかし、それから子宮口がなかなか全開にならず、頭もおりてきていかなかったため、10時間以上強い痛みとの戦いになりました。トイレに座ったりベットでいきんだりしてようやく全開になり、先生、助産士さん、看護師さんの声掛けに合わせて痛みをこらえていきみました。5/12 19:58 3230^g女の子誕生* *

主人は立ち合い出産を嫌がっていましたが、入院時からずっとそばについてくれて、腰をマッサージしてくれたら、手を握って「がんばってな」と声を掛けてくれそのまま出産も立ち合ってくれました。とてもうれしかったです。初めての出産でとても不安でしたが、先生を始め助産士さん、看護師さん、主人、お母さん、たくさんの方々に支えられて出産でき、とても感謝しています。

ヤナセクリニックで出産できて本当によかったです。ありがとございました。陣痛時のアロママッサージもとっても気持ちよかったです。

初めてのお産で予定日が近づくとつれて、すごくお産に対する不安がありました。

お産の2週間程前から朝方のお腹の強い張り、吐き気、シクシクと痛むお腹。「これかな？」と何度もお産の開始を疑いました。不安がつのり、少しでもお産が楽になればと毎日出来るだけ昼と夜散歩をし、出来るだけ体を動かして気をまぎらわしました。

しかし、予定日前日は朝からずっと夜まで眠くて眠くて仕方なく、「どっして？」と思っていたら、予定日になったとたんにお腹の痛いのと張りが続き、そのまま陣痛が始まりました。結局、朝方陣痛5・10分程となり入院し、昼過ぎに無事3285gの元気な男の子を出産しました。出産時の痛みは本当に想像以上でしたが、無事産まれたわが子を見た瞬間に忘れる位喜びが込み上げてきて、涙で一杯になりました。そしてその夜も無事本当に出産を乗りこえる事が出来た事、又妊娠生活の辛かった事(つわりの中の仕事の大変さ、出産前の前駆陣痛の苦しみ)などが頭に浮かび、涙が止まりませんでした。毎日毎日わが子を見て、「夜の中にこんな幸せがあったのか…」と感激しています。

これから出産するみなさん、不安はあると思いますが、本当にスタッフの方々の手厚い看護（声掛け、励まし、マッサージなど）さまざまサポートにより乗り越えられます。安心してお産が出来るのがんばって下さい。あと、ごく食事がおいしくそれもお楽しみに…*
本当に弱虫な私がすごく満足のいくお産が出来たのも婦長さん、スタッフの皆さんのお陰であり大変感謝しています。今後ともよろしくお願ひします。

5/20、13:00ぐらいから、ごく少量チヨロチヨロと水が流れてくる。6/1が予定日だった為、出産が近づくと尿がもれだすと何かの本で読んでいた為、それほど気にせずしていた。でも尿の量が多くなってきて、プールのにおいのような感じがしたので、夕方ヤナセさんにTEL!!「一度見てみますので来て下さい。」と言われ病院へ行くと破水とわかり入院することになった。突然の破水とまだ出産まだには日があると気持ちの準備ができていなかったのも、一瞬で緊張へ。破水した為、次の日から薬を飲んで陣痛を誘発するが強い陣痛が来なくて、次の日、点滴で再度誘発。それまでに子宮口がすでに7cmは開いていたからか、点滴を打って少しすると強い陣痛。痛さで体が硬直してしまっている私に、スタッフの方がアロママッサージでほぐしてくれました。そしてすぐに出産へ。みてもらうともう頭はおりてきてると言われ、すぐいきんでいいよ〜と言われました。まわりのスタッフ、先生の声。「ここを見てー」「おしりあげないでー」「大きく呼吸してーはいっりきんでー」などなど、驚くほどパニックっている私の耳にはつきり聞こえてきました。何もわからない私は、その聞こえてくる声のとおりにする事に集中すると、「オギャー」と言う声が。立ち合っていた夫が「でたで!!でたで!!」という声が。私は無事に生まれてくれてよ

かつた」という気持ちでいっぱいになりました。初めての出産でしたが、周りのスタッフの方、先生、天にがっちり守られとても心強かったです。出産後も、母乳、沐浴指導など、とても親切に教えてもらったので、退院後の不安もなくなりました。2度目の出産も夫がゆるせばまた里帰りしてこちらにお世話になりたいと思います。いろいろな不安をとりのぞいてくれて、育児への自信をもたせてもらい、本当にありがとうございました。

予定日を1週間過ぎても、全く何のしるしも陣痛もなく誘発してもらった為、入院となりました。入院1日目は子宮口を広げる為、バルンを入れてもらいました。入院2日目、3日目は陣痛を起こす為、点滴をしてもらったけれど、点滴の終わり頃からやっと効き始め、点滴が終わると陣痛もなくなり、夜はよく眠れる状態。

「どうしてBabyちゃん下りてこないんだろう、本当に産まれてきてくれるの？」と気分も落ち込みぎみでした。入院4日目、点滴の効果もいつもより早く効き始め、昼頃より陣痛が始まりました。陣痛の間隔は気付けば2〜3分程度だけ1回の陣痛が短く、なかなかBabyちゃん下りて来てくれず…陣痛の始まった昼すぎより夜中までどうやって時間が過ぎていったのか、過ごしたのか覚えがたいです。

途中でもう苦しくて、痛くて帝王切開にしてみたらおつかと思つた事もあつたけれど、周りで一生懸命励ましてくれだんな、先生、婦長さん、スタッフそして頑張ってる赤ちゃんの心音に励まされ、何とか自然分娩する事ができました。

産まれて来た時は、感動というより、本当にやっと出た、ホツとしたというのと、先生、婦長さん、スタッフの方への感謝の方が強かったです。でも、今はあの痛み、苦しみを乗り越えて産んだ我が子は世界一可愛い！！しっかりと親バカです。

私は2人目の出産でした。予定日の朝、少量の出血と10分間隔の陣痛で入院しました。経産婦なのですぐ産めると思っていたら、それから20時頃まで変わらず、階段を登ったり、下りたり、シャワーを浴びたりと、いろいろしましたが全く進みませんでした。22時前にやっと5分間隔になり、23時にアロマバスで入浴させて頂きました。気持ちよくて30分程入っていたら、その間に7〜8回陣痛があつて部屋に戻ったとたん、2〜3分間隔になりました。(和) LDRに24時すぎに主人と入り、10分後には破水、27分に次男を出産しました。マタニティヨーガの呼吸を意識しながらスムーズに出産できたと思います。私は8か月頃から腰痛に苦しみました。家族の協力や、マタニティヨーガ、補助復帯などのおかげで、びっくりするくらい出産前にはよくなっていました。2人目で腰痛の方にヨーガはおすすめです。(和) LDRは昔の出産というか、自宅出産っぽくて、意外に新鮮な体験でした。主人も。(和) LDRで赤ちゃんとそのまま朝まで一緒に寝ました。こんなに早く産めたのは、リラックスとヨーガの呼吸、アロマバス、主人の立ち合いのおかげかな。

今回は、2人目の出産でしたが、1人目同様、妊娠初期から6ヶ月頃までつわりがひどく、今回は入院もし点滴生活を送っていました。その後も食べれないもの(受けつけない)は、産むまでダメで、ほとんどの物が食べられませんでした。ぐすん。

でも赤ちゃんはそんな事おかまいなく、すくx2育ち、なんと1人目よりも大きい3560gのBigな女の子でした。予定日がすぎてもなかなか産まれず、赤ちゃんも大きいと言う事で、入院して産む事になり、19日の朝から入院し、お昼の1時〜誘発剤の薬を1時間おきに6錠飲み、5錠目の薬を飲んだ頃から、15〜20分間隔の陣痛がきだし、夜8時頃には5分間隔に。先生も早ければ今日中には産まれるかも...?と言われ、とりあえず和室のLDR室

へ（本当はアロマバスに入りたいだったので洋室希望だったけどあいてなかった。残念。）でも、アロマバスのかわりに足浴をさせてもらい、すごく気持ちよかったです* LDR室に入ってから、TVを見たり音楽やマッサージしてもらいリラックスしまくり状態で、陣痛もまだ×2余裕で、こんなので本当に今日中に産まれるの？って、半信半疑でした。それに私はどうせ産まれるなら19日より20日生まれの子が良いナ〜って思ってたら、赤ちゃんに私の気持ち伝わったのか、20日になったとたん破水。陣痛もいつきにきつくなり、20日AM0:47無事出産しました。（産む時の痛みは1人目と同じく痛かった。）19日までは笑って過ぎてたのに、びっくりするぐらい早かったです。でも今回アロマオイルで、腰や足をマッサージしてもらい不思議とリラックスでき、和室での出産に少し不安もあつたけど思ってたより、タタミの上の方がいきみやすく産みやすかったです。これから産む妊婦さん、ぜひ和室でのお産をおすすめします。良いですよ〜*

P・S

幸子先生、助産師さんの森中さんには、無事に子供をとりあげてもらい大変お世話になり、本当に有難うございました。

予定日までに推定体重はいつうまれてきてもいい大きさまで育っていたのですが、全く出産のきざしがなかったために、誘発入院になりました。

くすりをのみ、陣痛を待っていたのですが、本格的な陣痛がくる前に破水してしまいました。しかも羊水がよい状態でなく、胎児の頭も完全に下がっていないので場合によっては帝王切開の場合もあると、先生から説明をうけました。私としては何とか自然に生みたかったので、願いつつ出産にのぞみました。初めはきちんと陣痛がきていたのですが、

徐徐に弱まりお産が長引きました。先生、婦長さん他スタッフのみなさんが入れかわりはげましてくれました。アロマオイルで腰をマツサージしてくれたり、とにかくつきつきりで痛がる私をはばまし、しかし…。

子どもの頭がひっかかってなかなか出てこない時が一番つらくて、何度もくじけそうになりましたが、夫、母、そしてクリニックのみなさんが一緒に私を支えてくれたおかげで、無事出産することができました。

ずっと会いたかった子どもと会えた喜びはもてるんのこと、支えてくれた皆さんにまず感謝の気持ちで一杯になりました。

妊娠中期から続けていたマタニティヨガのおかげで、ふだん口呼吸の私でも鼻からゆっくり呼吸することができたのもよかったのではないかと思います。出産した日の気持ちを忘れずにやっていきたいと思っています。本当にクリニックの皆さん、ありがとうございました！

今回のお産は2人目だったので、予定日を5日過ぎていたので、しばらくイライラしていました。家にいても退屈で夜も眠れずテレビばかり見ていました。当日は朝から気分を変えて掃除機をかけたりふだんしない所を掃除しまくったりして、やっと一息ついていた所になんだかお腹が痛くなってきて多分朝から動きすぎたのだろっと思っただけのため時間を計ってみたらなんと！10分間隔になっていました。でも、そんなに痛くなかったのです、ドラマでも見よう！と夢中になって見ていたら、やっぱりどんどん痛くなってきました。4時過ぎに入院したのですが、その時も6時にごはんを子供と一緒に食べてアロマバスにも入らせてもらって、ヨシ、夜はまだまだこれからです！と思っただけいたら陣痛が来るたびに急激に痛くなってきて、子宮口もどんどん開いてきて婦長さんがもつそろそろで出てくるよと言われたので、えっ！！そんなに早く産んでいいのかな？と思いました。あまり長い間陣痛に耐える事はなく、

あれよあれよと言う間に頭がでてくれて、それからはとても早かったように思います。本当にこの子どもがんばってできてくれたんだなあと思い感謝しています。その後、おまけで胎盤がなかなかできてくれなかったのは、とても辛かったけど、今思えばそれもまた思い出として残していけるように思います。先生、婦長さん、スタッフの皆さん本当にありがとうございます。

5月28日(水)私にとって、私達夫婦にとって忘れることのできない素晴らしい日となりました。

初めての出産でしたが、不安よりも楽しみの方が大きかった私も予定日が近づくとつれ、どんなものが陣痛が分からず毎日ドキドキしていました。24日夜中おしるしがあり、予定日前日27日夜。待ちに待った10分間隔での陣痛がきました。入院することになりましたが子宮口はまだ1cm。そこから長いお産の始まりでした。28日、夜中、朝アロマバスに2回入らせてもらって、夕方にはフットバス。19:00頃、やっと9cmに。もう少しのところでも全開にならず、先生におしひるげてもらい、いきみはじめたものの陣痛が少し弱かったので、点滴に促進剤を入れてもらいました。それから先生、森中さんの励ましと指示、主人とは母の励ましの中、赤ちゃんに早く会いたい!!の気持ちだけでした。入院より丸1日以上経った22:46 2865gの元気な男の子が誕生しました。陣痛の苦しさを一瞬にして忘れてしまったくらい感動し涙がとまりませんでした。26時間59分という長いお産になってしまい、本当に辛かったけど落ちついて頑張れたのも、先生、婦長さん、森中さん、スタッフのみなさまのあたたかいお言葉やマッサージ、そして入院時からずっとそばにいて支えてくれた主人、朝からかけてくれた母、応援してくれた家族、友人のおかげだと思います。これからも良きお母さんになれるよう頑張ります。本当にありがとうございます。これからもよろしく願います。

今回の出産は、なんといつても助産婦さんの的確なご指導と、優しく、力強い励ましで、何とか出産することができました。

B a b y が大きめだったので、早めの入院で誘発していったのですが、ひとり目が超安産だったので、陣痛さえはじまればスグかな？なんて思っていたのですが×××

赤ちゃんはなかなか顔をみせてくれず、途中何回も もう力が残ってない…もうムリ…”という気持ちになりました。それでも、先生、助産婦さんのおかげで、“オギャ〜”と元気な産声を聞くことができました。産まれたB a b y はなんと4260g!! ホツとして涙。ができました。

途中、アロマの足浴をしていたいたのですが、足浴中は、陣痛もやわらぎ気分も落ち着き、その後、お産もぐつと進みもとと大好きだったアロマセラピーがもつと好きになりました。

今、赤ちゃんの寝顔を見ながらとても幸せで優しい気持ちです。こんなh a p p y を与えて下さった、先生、助産婦さん、ヤナセクリニツクの皆さん、そして元氣に生まれくれた赤ちゃんも感謝！* 本当にありがとうございまして*

2003年6月「出産」

予定日より10日はやい6月4日、夜の12時頃からちよつとおなかที่痛いような感じがした後、30分ぐらいしてから少し血がついたものがありました。いわゆる“おしるし”なのか？と思い、横になって寝ていると、だんだんと痛みが強くなってきた感じになり、主人におなかの痛みの時間を計ってもらつと10分、5分くらいだと言つので、病院へTELしました。病院へ来た時はAM2:50分でした。LDRでベッドの上で寝ているとだんだん痛みが強くなつてきて、もういきみたい感じになり、あつと言つ間に元気な赤ちゃんが生まれたような気がします。AM6:02分に元気な男の子の赤ちゃんが産まれました。初めてだったので、なにがなんだかよく分からないままで必至だったように思います。

これから出産を迎えるママ達はいろいろと不安な事や心配な事も多いと思いますが、幸子先生、婦長、スタッフの皆さんを信じてがんばつてほしいと思います。

私でもちゃんと産んでママになれるから大丈夫ですよ。産まれてきた赤ちゃんには幸せになってほしいと思います。名前は航希（こうき）です。

予定日を1週間過ぎてもなくんの前兆もなし。「どうしてなんやろっ。」と不安で気がめいる毎日。親戚や友人からは「まだか。」「もう産まれた？」の電話がかかってくるし……。とにかく憂うつな日々でした。そしていよいよ誘発での出産の為入院。1日目は風船の様なものを入れて子宮口を広げ、陣痛がつくの待ちましたが、痛みもおさまり……。2日目は、誘発の薬を飲んで陣痛を待ちました。が、最後の1錠（6錠め）を飲むまでは何の変化もなく……。今日

もダメだなく。」とあきらめかけていたら突然5分の間隔の強い陣痛が！。「何これ？何なんこれ？」有効陣痛とのことで夕方5:00にLDR室へ。どこが痛いってお腹なんだか腰なんだかとかく痛い陣痛にびっくり！！それからスムーズ(?)にすすみ無事に夜の8時8分に赤ちゃんが誕生しました！不思議な事に赤ちゃんが産まれた瞬間に今までの痛みなどぜんぶぶつとび、満足感と幸福に変わりました。無事出産を終える事ができたのも、ずつと励まして背中をマッサージしてくれた主人や、母、スタッフの皆様のやさしい言葉かけや、あたたかく適切なアドバイスのおかげです。本当にありがとうございました。

出産時のアロマテラピーの芳香や、マッサージ等、他にはない個性的な出産が出来た事を大変嬉しく思っています。リラックスというか、精神的に安心した出産を行うことができました。ありがとうございました。

初産で予定日より10日おくれで出産。待ちに待った子供が産まれた時(瞬間)は、陣痛やその時の痛いのなんて、ふつとぶよと色んな人から聞いていましたが、本当のその通りでした。痛さの感じかたは人によって違うけど、その瞬間の嬉しさや感動はみんな同じでしょう。さっきまでふんばっていたのに、出た瞬間からなんかにやにやしてしまいました。陣痛でお腹が痛かったけれど、アロマのお風呂に入れてもらったので腰痛も和らいで、お産も順調に進んだと思います。初産の人でも看護師さん、助産師さん、先生が丁寧にアドバイスして、手助けしてくださるので安心して産めました。初めては不安と緊張でいっぱいですが、赤ちゃんのために自分も自分がリラックスしておけばいいと思います。子供の顔を見ると、時間がすぐたたっていってしまいます。やっぱり自分の子かわいい。親になって、親の気持ちがわかります。これから出産をする方(初めて)リラックスしてどーんとかまえていれば大丈夫。でしょう。

今回2人目の出産でした。

1人目は予定日より1週間早く産まれたので、今回も早いかなーと思っていましたが、結局陣痛が始まったのは、予定日の前日の夜10:30頃でした。そしてすぐに5〜10分おきぐらいに陣痛が起るようになり、ヤナセに連絡後、上の子を主人の実家へ預けてから入院しました。入院した時間は予定日の0:30頃で、すでに子宮口は6〜7cm開いているということでした。看護婦さんには、朝までには産まれるよと言われたものの、上の子の時が丸1日かかっただけだったので、2人目といってもまた平均的な時間より長くなるだろうなーと覚悟していました。が、しかし、あつとゆうまにお産は進み、1:40に待望の女の子が誕生しました！自分で陣痛だと気がついてから、約3時間のスピード出産で、妊娠中は楽しみに聞かずにいた性別も“できれば…”と願っていた女の子で本当に大満足のお産でした。

幸子先生、婦長さん、そしてスタッフの皆さん、無事2人目の子を出産できるまで色々ありがとうございました。今後も乳児検診etcでお世話になる予定ですので、よろしく願います。

予定日を1週間過ぎて、誘発分娩のため入院をする日の6時、にぶい痛みを目をさしました。すぐに10分間隔の陣痛が始まり、9時に入院した時には3分間隔になっていました。2人目のお産は早いと聞いていましたが、11時40分にLDRに入って、すぐに強い陣痛がきて楽しみにしていたアロマバスにも入る余裕がありませんでした。でも、腰にアロママツサージをしてもらつと痛みもやわらいでも気持ち良かったです。その後、すぐに破水してあつという間に進んで12時59分に2940gの元気なわが子に会うことができました。呼吸法もろくにできずにパニックになる私を助産婦さんが上手にリードしてくれてとてもスムーズに出産することができました。幸子先生、

スタッフの方々、本当にありがとうございました。もしまた出産する機会があったら絶対にこちらでお世話になりたいと思います。

2人目のお産をヤナセでした。2人目でも痛いのは痛い。

でも、1人目のお産の痛みを忘れてた私は、こんなに痛いのか？なんて、先生に聞きながらお産しました。子宮が8cm開くまではがまんできたのですが、分娩に泣きました。

1人目は陣痛が弱くて、薬をつかって陣痛をおこしたのですが、今回はまったくなにもなしで産むので、とても不安でした。

あたしの力だけで産めるかなあ。なんて思っていましたから。でも、母は強いですね。だってお産が始まるともつどこにもにげれないし、産むしかないって感じ。でも、ちょっと陣痛がおさまるとこのまま痛くならなかったらいいのに、なんて思ったりもするとまた陣痛がやってくる。早く出てよって思いながら何回も何回もがんばって、やっと出てきてくれました。3180gの男の子とってもうれしかったです。

先生と婦長さんがずっとそばにいてくれたので、心強かったです。

女性という事もあって安心できました。

本当にありがとうございました。

今回は2回目の出産になります。

出産予定日より2週間早い、朝4時、トイレに行くとおしるしが！

それと同時に腰に少し痛みが…

その後、少しづつ腰が痛くなるも、こんな痛みではまだまだ生まれないうと余裕でした。

しかし、何だかドロドロしたものが出てくるのを感じ、破水かわからないまま入院。

病院に着いてからは、どんどんお産も進み、約1時間後のAM8:10 女の子出産。

やっぱりお産は大変で、かなり痛かったけど、先生やスタッフの方に助けていただいて、1人目の時とはまた違った思い出に残るいいお産ができ、本当によかったです。

久しぶりに生まれたての赤ちゃんを抱いて思ったのは、「赤ちゃんて独特のいいにおい」がするんです。それも一つの楽しみに、妊娠生活をがんばって下さい！

予定日より5日おくれで初出産。 女児誕生*

どんどん予定日からおくれて、不安・陣痛のいたさなど自分の中で出産へのこわさのイメージをつくってしまいました。

が、LDR室に入り念願*のアロマバスに入って（かなり入浴は楽しんでました）リラックスできたおかげで陣痛へのこわさもきれいさっぱり洗い流してくれました。

5分間隔の陣痛が始まった時は、

“ まだまだ…こんな痛みはまだまだ…（もつと痛いハズ！）”

と思いつながらのりきり、気がつけば子宮全開！！

その後は、何ヶ月も楽しみに待っていた我が子に会えるうれしさで痛みも全く感じませんでした。

初産の方、不安や緊張でいっぱいだと思いますが、先生、助産士、スタッフのみなさんがついていてくれるから大丈夫です！周りからはげましてくれて呼吸も一緒に合わせてくれるので、最後までリラックスして出産ができました。ありがとうございました！！

先生・助産士・スタッフの皆様、お世話になりました。

初産で心配・不安がたくさんありましたが、皆様のお陰で楽にお産させていただきました。

私は5/26の朝7:00に軽いお腹の痛みを感じ目を覚ましトイレへ行きました。大便がしたいような痛みが何回がおき「これが陣痛？」と思いつながら時間を計ってみると、だいたい8分おきぐらいに痛みがありました。1時間ほど様子を見ると痛みがヒンパンにきたため、病院へ連絡して向かい外来診療していただきと、先生は「子宮口全開でもう生まれるよ」とのこと。あまりのスピードに驚く私は車いすでLDR室へ運ばれました。和室の部屋での分娩でしたが、とてもよかったです。

好きな体位がとれ、側で助産士さんが声をかけリードしていただいていたことは、とても苦しい中で安心できたのを覚えています。分娩室に入り、およそ1時間後に3460gの元気な赤ちゃんを産むことができました。産まれたばかりの赤ちゃんを抱かせてもらった瞬間はとても感動です。

これからご出産を迎える方へ、こちらの先生・助産士・スタッフの方がついていてくださるので、安心して満足した出産ができます。お産に痛みはつきものですが、それ以上の感動が待っています。

32時間4分という長い長い道のり。でも終わってみればあつという間。自分や赤ちゃんのペースで出産させていただったことへの感謝の気持ちでいっぱいです。

夫は私以上に疲れフラフラでしたが、私たちのBABYを私たちで出産したという気持ちにさせてくださったスタッフの皆さん。最後は1人のたん生を4人もスタッフの皆さんと夫の力で迎えることができました。人間の力ってほんとうにすごい！という思いでいっぱいです。正直言って不安なことがいっぱいあったけど、皆さんのおかげで、何と云えばよいか分からない、神秘的というか、神様に与えていただいた力というか、お産っていうものは本当にすばらしいことだと感じました。感動しました！！そのひとことです。

7/1(火) 予定日ピッタリの出産でした。体重2430g 身長45.8cmと少し小さめだったけど、元氣な男の子です。今回初産で、周囲から臨月のわりに「お腹小さいね」とか言われ、予定日が近づいて来てるのに、それ程私自身に変化が無い為、予定日過ぎての出産になるだろうとはかり思っていました。7/1出産当日も、まだ2だるうなんて思い、普段通りの生活を送っていました。ところが夜9時頃から少しづつお腹が痛くなってきた、時間を

計ったら、15分間隔で、でもすぐ痛みが引いてくから前駆陣痛カナ!?って。

段々お腹の痛みが激しくなってきた、間隔も7〜8分になったのは夜中12時頃で、それからヤナセさんに来ました。AM1時頃の子宮口はまだ2cm。どれくらいの時間この痛いのがつづくの?と不安でした。AM5時、痛みが激しい為、子宮口検診8cmまで開いていました。助産婦さんに「8cmまで開いてきてるよ。あともう少し」と言われ、少し安心。AM6:10全開 AM6:42に無事に出産する事ができました。初めての出産で不安の中、先生、助産婦の森中さん、看護助手の山田さん、お母さんのお陰で安心して産む事ができました。ありがとうございました。そして新米お父さん、2時間以上のアロママッサージ。一緒にいきんだり、呼吸したり、時には自分が息切らせたり(笑)本当、居てくれてよかったです。アリガトウ。これからも一緒に力合わせて頑張って、小さなこの子を大切に育てていこうね。今回の出産、私にとってこの病院で産めた事、その他、すべて大満足です。

6月29日、朝5時半頃に陣痛で目が覚めました。最初から10分間隔だったけど初産で予定日より19日も早かった。なのでこれが陣痛とは思わず、ズット耐えてました。

「そのうち治るやろー」って軽い気持ちでパパにも「陣痛つばい」ってゆーことを言わずに、仕事に行くパパを見送りました。でも、だんだん「なんか変」って思えてきて、日曜日だったけど病院に電話して行くことになりました。パパも居なかったし、自分で運転して病院へ来たけど、内診した結果、「アラっ!?!もう子宮口が9cm開いてワ。もう産まれるわ」って言われました。こんなに開いているからアロマバスは入らんとく?って聞かれたけど、これ

をずっと楽しみにしてたんで「絶対入つかない!!」と思って、即「入るっ!!」って答えて入浴しました*期待通り、ムッチャ良くて陣痛の痛みもスゴクやわらぎました。出てからが大変!!赤ちゃんが下がってきている時の腰の痛さは半パじゃないっ!痛すぎて勝手に涙は出てくるし暑いし!早く出てきてほしくて頑張っってイキみました。周りに居る看護婦さんたちみんなが「ガンバレ!」って、声かけてくれて呼吸も一緒にしてくれました。ムッチャおちついて嬉しくてなんとも言えやん気分でした*

頭がハマった感触があつて出たのが分かった瞬間、「あーやっと思つたらスポつて体も出てきました*何てゆーか…産まれたのへその緒ついた赤ちゃん見た時、何とも言えやんような嬉しい気持ちと感激とかあつてさっきまで痛かった陣痛なんかどっかへふっ飛んでいきました*先生とたくさん看護婦さんが居てくれてみんなに支えられて産めて本当に良かったです。結局パパは立ち合いです、赤ちゃんが産まれて5〜10分後にLDRに到着しました。間に合わなかつたけど、名古屋から急いで帰ってきてくれてありがとね*

赤ちゃんを取りあげてくれたみなさんにとても感謝しています。ありがとございました!私は幸子先生の検診が大好きで、先生はいつも笑顔で対応してくれるし、悩みは真剣に聞いて答えてくれるし、いつもナゴミました*だから陣痛で病院に来た時に、「あーあと1回ぐらい検診したかったな!」って真剣に何回も思いました*

先生、看護婦のみなさん、本当にありがとございました!

今回、2人目の出産でした。

出産を終えて、まず立ち合ってくださいった看護婦さんに感謝の気持ちで一杯です。

予定日が1日1日とすぎ… 明日入院という前日の夕方からいつもとはちがう痛み?!を感じました。2人目であっても“こんなだっけ”とか、“もつ病院に行ってもいいのかなあ”とか、色々な思いをめぐらせながらとりあえずTELしました。

TELの対応もとっても優しく、安心しながら病院に行き、内診の結果はやくて朝方かな…ということ。でも、みるみるうちに強い痛みがきて…かなりパニックになっていった私。そんな時でも看護婦さんがずっと一緒にいてくれて、アドバイスしてくれて、マッサージしてくれて、とっても安心でした。産んで、あーやっぱり2人目でも痛いんだと思います。看護婦さん、先生、そして主人、母のおかげで安心感があつた出産になったと思います。

これから出産する方々もきつと安心して出産できると思います。がんばって下さい。本当にお世話になりました。

早朝からお腹が痛み出し、間隔も15〜10分おきになってきたので、2人目だし早いのかナと思い入院させてもらいました。しかし、それからなかなか陣痛が進まず逆に間隔があいてきたり、痛みが弱くなってきたりと少々あせってきました。誘発剤を希望してLDR室に入ってから時々陣痛の間隔が狭まったりと本調子にならず、「なんでかな」とますますあせったりしました。でも、そんな時、高野さんが「あせらなくいいよ。赤ちゃんが出てくるのをゆっくり待っていいよ。」と言ってくださって、とても気分が楽になりました。どうにかお産は進んでいき、痛

みのがす時は腰をもんでもらったり、主人の手を力いっぱいにぎらせてもらったり。腰骨の横を押ししてもらうのはすごく効きました。いざ分娩の時は、いきむのに必至で何もかもかまっていられない状態でしたが、先生方が一緒に呼吸のリズムをとってくださっていたのを覚えています。元気に泣いてくれた時にはとても嬉しく、ホッとしました。1人目、2人目とこちらのクリニックでお世話になりましたが、本当に親切で温かいサポートをいただき、心に残る充実したお産をさせていただき、とても良かったです。どうもありがとうございました。

6月18日が予定日でしたが、6日遅れの6月24日、ようやく誕生してくれました！3270gの男の子！おっぱいを吸った後、今となりでスヤスヤ眠ってます。幸せ、実感してます***私には初産だったのでイザ出産にあたっては分からないことだらけ。。。遅れてる間は不安な毎日を送ってました。6月23日の朝、おしるしが来たので、本などの知識から「あと2、3日後に陣痛が来るのかな？」と想っていたら昼頃からチヨロチヨロとおしっこのように出るものが…

「もしか破水？」と思い、病院へ行くと案の定。。。即入院となりました。スタッフの方に「破水があると24時間以内には陣痛がくると思うからネ…」と言われ、待ち構えること4時間…夜10時すぎから30分間隔の陣痛が…。それからあれよあれよという間に5分間隔になり、夜中3時半にLDR室へ。子宮口は「9cm程開いているよ」と言われ、「案外早い陣痛だから私…ラクなのかも?！」なんて考えてたら甘かった。。。イキみ始めてから約1時間半…・踏ん張り続け「もうダメ…」と思った時に、赤ちゃんが出てきてくれました。本人は大変なつもりだったけど、特別難産というわけでもないように…改めて女の人はこんなスゴイ思いをして赤ちゃんを産んでるんだなあと感心

してしまいました。私にとって始めてのお産体験はツラかったけど、とっても感動的なものになりました。
先生、婦長さん、そしてスタッフの皆さん、苦しむ私を支え、はげまし続けてくれて本当に有難うございました。

This is the first time for me to delivery a baby. The expected date for parturition is 30th, June. However when it was getting closes to the date, the baby seemed still comfortable and not willing to come out . I almost could not wait to see it .

At 5am an 29th, June, I could feel to firth pangs within every 10 minutes or so. Then I was went to yanase clinic where I have routine checkup for pregnant period.

At about 10am, the womb orifice had been 8cm wide. however the pangs stopped altos lunch ever though the womb orifice was 10cm. this situation lasted till 4pm.

I only heft pain in my waist but no pain in womb. Therefore doctor yanase requested my idea and decided to use dropping therapy to stimulate the womb extraction. At 4:05pm the medial effect taking place, my womb began to functions forcefully to delivers the baby. At 4:53pm, the baby finally was born safe and sound with 3395g- weight and 50.6cm length. I was deeply moved by the loud cry of the baby. I would like to express my sincere gratitude to doctor yanase, midwife takano, yito-san, and the all staff who have made great efforts in relieving me pain to the minimum extent and taking good care of me.

It is really an unforgettable experience in my life.

今回は、私にとって初めての出産でした。予定日は6月30日でしたが、その時が近づいてきても子宮の居心地がよかったのか、いつこうに出てくる気配がありませんでした。6月29日 5:00に10分以内の陣痛を感じるようになりました。それで私は妊娠中、ずっと検診を受けていたヤナセクリニックに向かいました。10:00になつて子宮の入口は8cm開いていました。しかし、子宮口が10cm開いたところで陣痛が止まってしまいました。この状況が16:00まで続き、あまり痛みを感じることがありませんでした。それゆえ、幸子先生が私の意見を聞いてくれ、それで点滴をつかい陣痛を強めることにしました。16:05に人工的な力を加えて、子宮は再度赤ちゃんを生み出すための力を発揮しはじめました。そして16:53について、3395g、50.6cmの赤ちゃん安全にそして元気にうまれました。私は子供の大きな産声に深く感動しました。

私は、私の痛みを極力取り除こうとくださり、大事にかかわって下さった幸子先生、高野助産婦さん、そして多くの全てのスタッフに感謝の気持ちを伝えたいです。

この出産は私の人生の中で本当に忘れられない経験となりました。

6月29日 ちょうど予定日の1か月前の明け方。トイレをすまし、パンツとスポンをはくとべつちよりとぬれているのにびっくり!!えっ、おしっこがついてしまったのかと、新しいものにはきかえ、寝ていると、なんだかすぐにまたぬれてくる。トイレに行くと、トイレの床に水がびしゃ!!えっえっ!!驚き、寝ているだんなを起こし、病院

にかけつける。そしたら「今日か明日には生まれる」と言われ、大パニック！まだ1か月もあるからとのんびりしていた私。パパママクラスもヨーガも今後行く予定でお産についての知識もなかったし、わりと小さい赤ちゃんだったので、何とかおなかに長いことしてほしかったので、心の準備が全くできていないし、とても心配。

とりあえず、部屋に入り陣痛が来るまで待機することになる。9時頃すぎっ！！急に今まで感じたことのない痛みを感じる。でもすぐやみ、その後1時間くらい後にまた、すぎっ！！その後同じように続く。夜、どんどん痛みと痛みの間がせばまっついていき、2時頃8分間隔になり、ナースコールをする。おなかのはり具合を調べる機械をつけるが、まだ不規則。しばらくして4時頃からズキズキ。あまりの痛さに時間をはかる余裕もなくなる。だんなが腰をさすってくれたり、看護婦さんが腰をあたたためてくれたので痛みがやわらぐが、自分は大パニックで、あまりの痛さに涙が出てくる。朝、LDR室に移動。そこで呼吸法を教えてもらおうと、今までの苦しさはうそのよう。陣痛と陣痛の間がぐんと楽になる。しかも、たくさんの人に腰を押してもらったり、体をほぐしてもらったり、手をにぎってもらったり、汗をふいてもらったり、本当にありがたかった。アロママッサージも気持ちよかった。ついに子宮が開き、お産態勢。苦しさ、痛さピーク！わかりやすくいきむポイントを教えてもらうが、なかなかうまくできない。お産ってなんて苦しいんだと思いつながらふんばる。

「おぎゃあ、おぎゃあ〜」元気に泣いて男の子誕生。顔のそばにおいてもらったらあたたかい。生きているんだ。かわい。い。(すでに親バカ)自分ではんかんなので、出産中発作が起きないかとても心配していたけれど、発作もなく無事、出産を終えることができた。いろいろ重なって、小さくてちよつと弱い赤ちゃんだったけど、とにかく赤ちゃんが無事生まれてくれて、本当によかった。これも全部ヤナセさんのおかげです。ありがとございました。

2003年7月ご出産

出産予定日前日のお昼に、おしるしを発見しました。まさか、すぐには産まれないだろうと思いつつ、陣痛の間隔を測ってみると、夜には10分くらいの間隔になっていました。しかし、まさかこれが陣痛？と疑いながら、まだ出産じゃないと思って痛みをガマンしていましたが、PM11:00には激痛になっていて、やっと病院に行く気になりました。(でも、内心は病院に行ってもまだお産じゃないからすぐに家に帰れると、その時はまだ思っていました) 11:30すぎに病院に行ってみると、子宮口が5~6cm開いていて、生まれるのは深夜から早朝と言われて、やっと陣痛なんだと気がきました。お産とは長時間かかると思っていたが、アロマバスに入浴したおかげで、一気に進み、スタッフの皆様のサポートのおかげで、2:43無事元気な女の子を出産できました。初めてのお産で、ちゃんと産めるか不安だったけど、ぶつつけ本番なのにスタッフのかけ声に合わせていきんでいたらあまり苦まず、スムーズに赤ちゃんが出ることができ、えっ？もうでたの？という感じだったので、本当に感謝します。ありがとうございました。

H15.7.5。PM1:00すぎまで寝ていた私は、ピミヨーにトイレに行きたくなるような腹痛で起きました。だん 痛くなってくるものの、陣痛じゃなくてただの腹痛かも...と、様子を見ていました。でも、やっぱり痛い!!!

夜勤明けで寝ているパパを起こして、PM2:45に病院に着きました。内診を受けようと服をぬぎはじめたら、かなりの激痛！必死でぬいで診てもらうと、「もう産まれるねえー」と言われ、「ええーっつ、ちよつと待って心の準備が…」あつという間にLDR室にとうちゃく。

この時すでに子宮口9cm。いきみそつになるのをガマン。助産士さんが呼吸法を一緒にしてくれて、かなり心強かったです。アロマオイルを足にぬってもらつて、リラックスしつ、苦しみました。「いきんでいいよー」の声を力を入れました。10回くらいいきんだところ、できたあー！！

PM3:26。入院して26分でできました。2人目はでてるの早いよーと言われてましたが、ここまで早いとは…。パパも、「え、なに？こんな早いもんなん？」と、おどろいてました。超安産だった分、後陣痛が大変でしたが、赤ちゃんの顔を見たら、つかれもふつとびマス。

感想は。大満足でした。みんなすごい親切にしてくれて、なんにもこわくなかった。たのしかったです。次産むことがあつたら、またココで産みたいです*

今度はもうちよつと早めに行動します。

*** 3035g 47.5cm 男の子です ***

私のお産は、2人めという事もあつて、自分では結構余裕でしたのですが。。。予定日より16日も早く陣痛が来てしまい×××少しビックリした状態で入院しました。

今回は立ち会いをこぼんでいた主人も、陣痛で痛がっている私を見て『立ち会っヨ』って言ってくれ、準備に入り順

調に痛みも増して来て私も笑えなくなってきた頃、1人めの出産の時とはちがう速さで痛みが倍増して来て、#ペア
ン#と何かが破裂した様な音と共にスタッフの方の顔や周りに羊水が飛び散り、私も立ち会ってくれている主人や
実母もビックリでした。

それから痛みと戦いながら、1時間後無事産まれて来てくれました。

なかなか出て来てくれない子供と痛みでさげ続けた私達のために一生けん命はげまして、応援してくれた主人やス
タッフの方、本当にありがとうございます。

今はまだ3人めの事までは考えていないけど^o^

もし、又出産となれば絶対にお世話になりたいと思える位満足な出産でした。
本当にみなさんに感謝一杯です。

元気に産まれてくれた子供にも*****

H15.7.8 出産

7月9日(水) 午前4:59*2910グラム

***元気な女の子*Baby*誕生**

初めての出産で「不安」と「心配」な気持ちでいっぱいでした。
無事に出産できた時は本当にホッとしました。

「自分が産んだ子なんや。。。」って、まだまだ信じられません。

お母さんになつたつて実感もあまり。。。

これから大変やと思うけど、がんばります！！

元気にすくすくと育つてほしいです**

ヤナセクリニツクのみなさん。

* 本当ありがとうございます。*

二度目の出産ということで、前回使用したLDRではなく和室のLDRを利用して頂きました。

四才になる娘と母、パパの三人も出来れば立ち会つて欲しかったので、なるべく自分がリラックスできる部屋を選びました。お陰で同じ畳の高さで皆がいてくれたため、すくすく思いつきり出産に臨めた気がしました。全てが初めての一回目の出産では出来なかつたことを二回目ではしてみたいという気になり、主人の立ち会いやへその緒を主人に切つてもらつこともお願いして実現しました。

第二子の出産を出来るだけ多くの家族に囲まれて迎えてあげられたことは、本当に思い出になると思ひ、子供が大きくなつた時にも話してあげられるかと思ひよかつたと思っています。

我が子に対しては、妊娠中不安も多く、とても長い期間妊娠していた気がしますが、無事に頑張つて生まれてくれてありがとう！という気持ち。久しぶりの赤ちゃんのお世話におっかなびつくりのこともあるでしょうが、一緒に楽しい時をきざんでいきたいネ。

予定日の2日早くおしるしがありました。痛みもなく陣痛がどんな痛みかも分かりませんでした。

この日は実家に帰って予定日までゆっくりする予定だったので、荷物をまとめて一端実家に帰り、夕食を食べ、お風呂にも入り、陣痛も軽く始まっていたのでメモをとりながら寝ていました。

痛みが強くなって来たのでTeelをし入院することになりました。7/10 pm23:00 入院してからだんだん痛みが増し、日も変わり、7/11 2:00 LDR室に移動しました。部屋に入ると自然とリラックスでき、アロマバスにも入ってもらえました。朝方には産まれるかも…という言葉に、このままだと安産だ!!と思いつながら、5:00… 6:00…なかなか子宮口が全開にならず、全開になったのは10:50。それまでの間、パパや婦長さんや他のスタッフの方に文句やわがママを言いながら、めいわくをかけました。

赤ちゃんの頭が出てきたという声に、全力をふりしぼってがんばりました。出たしゅんかんは、あ然としたけど、少し落ち着き、ママになったと実感。パパもメモメモ。私のわがママもきいてくれた先生、スタッフの皆様、パパ、お母さん、本当にありがとうございました。

こちらでのお産、3回目でした。上の子2人は洋室のLDRで、主人立ち合いのもとでの出産で大満足。今回は家族全員、立ち合いを希望してスタッフの方と相談し、和室のLDRで出産を予定しました。…主人が遠方からなので、まにあうのかとても不安でしたが、バッチリまにあい、子供も2人共リタイアせず、家族みんなの良い思い出となりました!!

和室の良さは、分娩台がないので好きなたちで産めることです。実はコレが少し不安だったのですが、主人のあくらのひざをつかみ、横向きで力を入れるのは私にはとても楽に感じました。(前回、前々回は、あの分娩台に足をあ

げるだけで体がつりそうくらい体がかたいので、目線が同じ高さになるので、子供も落ちついて母親を見守ってくれました。いきみといきみの間に目をあけると、主人と子供の応援してくれているまんまるの眼が見えて、とてもうれしかったです。

おかげで落ちついて、赤ちゃんが頭を出してからゆーっくりと体を出してきて、産声がきこえるのが実感できました。これから3人の子育ては、きつときつと大変だと思っけれど、この日の感動を忘れずにいたいです!! スタッフのみなさん、

本当に本当にありがとうございます!!

もうひとりうんじゃおつかなく

予定日は5日程先だったけど、赤ちゃんが大きく、二人目なのに早く陣痛が来る気配もなく、先生と相談して誘発出産することになり、入院しました。

1日目は誘発剤を6錠まで飲みましたが、軽く陣痛が来ただけで、すぐに消えてしまい2日目再度トライ。しかし、同じように陣痛続かず…。その夕方から子宮口を広げる助けをする風船(メトロクと言っらしい)の様なものを子宮口に入れることになりました。とたんに少し強い陣痛が徐々にきて、夜中2:20 LDRに行きました。でも全開になっても赤ちゃんの頭が大きく、骨盤までいきんでも2うまくおりてきてくれず、もっと強い陣痛が必要らしく、強い陣痛をおこす点滴をし始めました。痛くて痛くて、いきんでも2まだ出ないので、最後は先生にお腹を押して頂き、やっと3780gの大きくて元気な男の子を無事出産することができました。(出産時間は18時間を超

えてしまいました(出産にかかった時間が長かったため、途中弱音を言ってしまいましたが、先生はじめ、婦長さん、看護師さん、私の一言一言をきちんと受け止めて頂き、安心できるように説明やげましの言葉をずっとかけて下さいました。こんなにいい病院は他にはないのではないのでしょうか。

一言では言いあらわすことが出来ないくらい、いい所ばかりの病院は他にはない!!--と思います。この病院を選んだ本当に良かったです。あと、先生はじめ私の長かった出産に早朝から出産するまでずっと付き添ってくれた婦長さん、色々お世話になった他のスタッフの皆様、感謝感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

今回は2回目のお産だったのですが、一人目の娘の時に1日半もかかったので、予定日が近づくにつれて不安だらけでした。また、予定日の2日前に私と娘が風邪をひき、予定日2日前の夜は全然ねていない状態でした。それを見かねて姑さんが私と娘を病院につれて行って下さり、娘をその日の夜は預かってくれました。

予定日前日、一晩ゆっくりねたら体の調子はスツカリ良くなり、次の日が予定日なのでもう一日娘を預かってくれる事になりました。でも、一才半の娘の初めての外泊なのでさしくて…。そのさみしさをまぎらわすため、パパと2人で久しぶりにデートとなりました。外食に行き、カラオケで歌って家に帰るとpm10:00すぎ。お風呂に入って娘のアルバムの整理をしていたら汗がでるくらいの痛みが5分間かくできました。やっとbabyに会えると思ってパパと2人で大喜び。身仕度をしてから病院へTel。予定日のam0:00すぎの事でした。病院に入るとあっという間に、3分、2分間かく。看護師さんが“もういきんでいいよ”と言われた時は、えっもういいの?って思うぐらいの時間の流れが早く感じました。優しいパパは、眠たい目をこすりながらズツと全身のマッサージをしてくれ

ました。スタッフとパパのおかげで、陣痛と陣痛の間の1〜2分に余裕で話しができるくらいリラックスしたまま、5時間11分という短いお産となりました。

babyは、お姉ちゃんが赤ちゃんの時にびっくりするくらい声の大きさも顔もそっくりで、おちんちんがついてるのが不思議なくらいでした。

楽しくて、感動で、気持ちのいいお産でした。こんなお産なら3人でも4人でも産めるなって思いました(笑)。パパやお姉ちゃん、お姑さん、病院のスタッフのおかげさまで。ありがとございました。P・S・babyもがんばったね。アリガト*

初めての出産で7/26が予定日でした。25日のam3:00頃、破水しました。am5:30にだんなと病院に到着したら、丁度赤ちゃんの産声が。。。私のbaby本場にちゃんと産まれるカナ?!と不思議な気持ちになりました。それから子宮口はすでにかなり開いているのに陣痛は来ず、他の人の赤ちゃんを見ても、人事のように「いいなアー*」とっていました。ところが、薬を使ってpm6:00すぎ小さな痛みが。。。それからほとんどお産が進みました。想像以上の痛みは何度も「嫌やアー」と半ギレ状態になったり。でも、幸子先生*婦長さん*長谷川さんが励ましてくれて、自分でもおどろくほどパワーができました!あんなに立ち合う事を迷っていただんなも手をにぎり「痛いケド、今がんばれば痛いのも早く終わるでがんばれ」と、言ってくれました。私のお母も顔を拭いてくれたり、お茶を飲ませてくれたりとすごくリラックスできました*

わがコの見た時の感動は一生忘れません。だんなとは立ち合った事で、今まで以上に深まった気がします。今はかわいくて*かわいくて*愛するわがコは愛するダンナ似でとっても幸せです。

予定日の2日前に検診に来て、先生に「明日入院しましょう」と言われて家に帰り、家の中の片づけをしたり、入院の荷物の確認をしたりして、バタバタしていたら夜中の1時すぎに陣痛らしきものが…

しばらく様子を見て、まだ15分、30分の間かくだったのでねることに…。でも、4時半すぎに痛みが増してねることができず、間かくをはかると10分ごとに痛みが…

6時すぎに病院にTELして入院。しばらくして、5分間かくになり痛みをたえていると、先生がみえて、「陣痛がおこると赤ちゃんの心音が下がるので帝王切開にするね」と言われてしまい…。実は私は今回2回目の出産で、1人目の時も10ヶ月になってから「赤ちゃんが元気がない」ということで、緊急帝王切開したので、今回は自然分娩でどうしても生みたくて…

でも赤ちゃんのことが一番大切なので、今回も帝王切開で出産しました。いろいろと心配しましたが、元気な男の子がたん生して、大きな声で泣いている赤ちゃんをみた時、とても感動して、涙ができました！！

他の人よりちよつと長い入院生活になりましたが、スタッフの方々には本当にお世話になり、ありがとございました。

もし3人目を授かったら(？)やっぱりヤナセクリニックでお世話になるうと思っています。

予定日より8日早く陣痛が始まりました。この2日前からそれまで感じた事なかった腰痛があり、「そろそろかなあ」とわくわくしてました！！夜19時頃から、生理痛程度のお腹の痛みが20分間隔で始まり、12時頃には5、6分間隔になったので、ヤナセさんへ連絡し入院となりました。

内診の結果、子宮口2cm開いているけど、初産だしまだまだかかるだろうと入院部屋で過ごす事になりました。こ

こからが、まるでジェットコースターの様に急激に進んだのです。痛みがどんどん強く次から次へとやってきて、ベットの柵にしがみつきのながら必死に深呼吸をしました。マタニティヨガでの高野婦長さんの「吸って〜吐いて〜自分の呼吸に集中して〜」を思い出しながら…。本当に痛みより呼吸する事に集中すると痛みがまぎれるんです。たまごママさん、ヨガは絶対オススメします。(自信を持って)

特に最後の婦長さんのお話を聞くと(が、聞きたくて通っていた様なもんです。)、お産が不安より楽しみな事に変わってきますよ。

又、5時に内診してもらったら「子宮口全開*もう産まれるうー」と、車イスで和室LDRへ運び込まれました。(洋室希望してたが、先客ありだった為)

畳の上!?!と一瞬ためらいましたが、コレが意外に良かったんです。(御主人に立ち合ってもらえるならオススメします。)主人にしがみつきのながら、横向きで先生、助産婦さん、スタッフの方の声に合わせていきんでたら25分後に男の子誕生

(我が子は格別う〜に可愛いつ*)

主人と一体感が感じられ、二人で私達の子を産んだあーって気がして、とても感動しました。優しい笑顔の幸子先生はじめ、素晴らしいスタッフの皆様のおかげで大満足のお産ができました。

本当にありがとうございました。

2003年8月ご出産

8月6日朝、ベットから起き上がった時、いつもと違う感覚のものが出ました。その時は尿モレかな？と思ってあまり気にしなかったのですが、その感覚が毎度も続き、これはおかしいなと思い病院にTEL。入院準備を持ってすぐに来て下さいと言われ、診察してもらつと“破水”と言われ、そのまま入院でした。予定日が9月3日だったのでまだまだと余裕でいたので、正直言っであせってしまいました…。入院準備だけは早く済ませておいて良かったと思いました。入院してもしばらくはお腹の痛みもなく、本当に産まれるのかなと思っていました。でも夜になるにつれ、徐々に痛みが強くなり、吐くほどに…。遂に来た！と思い、落ちていて頑張ろうと自分に言い聞かせましたが、最後LDR室に行く寸前にはパニック状態でした…。LDR室のベットに上がった時は、“もう無理だ…”と思ってしまいました。そんな時、スタッフのみなさんに“赤ちゃんも頑張ってるんだからお母さんも頑張って”と言われ、辛いのは私だけじゃないんだ、赤ちゃんもスタッフの皆さんも頑張ってくれてるんだと我に返り、最後まで頑張ることができ、無事に我が子を抱くことができました。あんなに辛かったことが産声を聞いた瞬間にウソのように忘れてしまいました。

柳瀬先生、スタッフの皆さん、優しい笑顔、励まし、ありがとうございました。

我が子は最高です。

私は初産でしたが、超スピード出産でした。

平成15年8月3日(日) am 6:46

体重2925g 身長48.5cmの元気な女の子*

予定日は8月6日でしたが、お腹も胸の下からポツコリ出たままで、家族で予定日より遅れるな〜!と陽気に…。2日の日に朝から家の掃除もし、夜は旦那さんと花火を見に行く余裕。その日の夜中、3日の午前2時に『お腹痛い?』かな位で目が覚め、そのうちに10分間隔でお腹が痛くなり3時30分には病院でした。なにが何だかわからないうちに赤ちゃん誕生でした。私は体を動かす仕事をしてたし、産休入っても結構動いていましたヨ。人それぞれと思いますが、妊婦だからと言って体をいたわりすぎるのも…。と思います。

私、赤ちゃん産めるのか不安と恐怖で一杯でしたが、先生、スタッフの方の親切さ、何もかもすべてに安心させられ出産する事が出来ました。入院中も親切にして頂き快適な入院生活を過ごさせて頂きました。ヤナセクリニックは最高デス。

第2子を出産する時も私は絶対ヤナセクリニックと決めてます。

柳瀬先生、婦長さん、スタッフの皆さん、本当に本当にありがとうございます*の気持ちで一杯デス。

出産の不安、痛みは辛いです、自分が頑張らないと!!

我が子が誕生し、姿を見た瞬間、痛みも不安もフツ飛びます。

先生やスタッフの方が居て下さるので安心して出産できますヨ。

8/9予定日だったので、陣痛が始まったのが10日の夜。最初は、今日はお腹のはりが少し強いかな!?!と思う程で、陣痛だとは全然気付きませんでした。夜11時すぎにお風呂を出た後、タオルにピンク色の液体がついているのに気付き、おしるしだとわかりました。少し様子を見る為、入院準備の再確認をしていたら破水をしてしまい、

すぐに病院に連絡してから夫と2人で病院へ。子宮口の開き具合を見てもらって、4cm開いていることを再確認。陣痛と陣痛の間にLDR室の中を歩き回って、早く子宮口を開かせようと運動。痛みのある時は、マタニティヨガで習った体の力を抜く呼吸法でのりきり、腰部分を夫にさすってもらってすごしました。ヨガをやっていたかいあり、子宮口も早く開き、1時間少して8cmまで。すぐお産になりましたが、赤ちゃんの頭が少し大きかった為、頭を産み出すのに3時間…。何度も「もうダメー!」とか、「もう力が入らない」と泣きそつになり、あきらめようと思いました。頭を出す最後は、ほとんど自分の力でふんばって出していき、その後は、力を抜いていたら自然に赤ちゃんの体は出てきました。痛みが激しかった分、赤ちゃんが無事出産できた時は良かったと涙が止まりませんでした。夫にへその緒も切ってもらい、感動の出産でした。

出産中は先生や看護師さんの声をよく聞き、力を入れる時や抜く時をきちんと出来れば、無事に終わることができます。また、マタニティヨガはすごくお勧め!!体の力の抜き方などを習えるし、体も柔らかくなりますヨ。

8月4日、予定日を1週間過ぎてても産まれてきてくれる気配もなく、入院することになりました。入院後、誘発剤を使っても反応がなく、1日を終わることになりました。この日は夫の誕生日だったので少し期待していたのですが、残念な結果に…。翌日は夫が来てくれて、一緒に頑張ることになりましたが、前日同様なかなか反応がなく、午後14:45から点滴に切り替えることになりました。が、この時の私は「本当に産まれてきてくれるの?」という不安な気持ちでいっぱいでした。点滴に切り替わっても、やはりなかなか反応がなく、更に不安な気持ちに…。でも、スタッフの方の励ましで、とにかくがんばってみようと思ったころ、少しづつ陣痛がやってきました。待ちに待ってい

たはずの陣痛なのに、やはりあの痛みに耐えるのはつらくて、この先どんなに長くなるの？と先の見えない出来事に半ベソ状態でした。そんな時、急に本格的な陣痛が起こり、LDRへ移動。知らない間に子宮口は9cmまで開いていました。LDRへ移動した頃は、意識がもうろうとしていましたが、スタッフの方が「もう産まれてくるよー」と声をかけてくれたので、もうひとがんばりしようという気持ちになれました。一番不思議だったのは、いきみたいという気持ちとタイミングは、自分の意志とは別で、自然にそうしてしまう力がはたらいてどんどんお産が進んでいった事です。きっとそれが赤ちゃんの産まれたいという意志なんだなーと思います。痛みはあつたものの、LDRに入ってからいきみは私にとって、とても心地良いものだったように思います。今、隣で眠る我が子を見ていると、本当に幸せな気持ちで一杯です。先生、スタッフの方々、本当にありがとうございました。

今回は3度目のお産だったのですが、上2人の子は別の病院で計画出産で産まれた為、全くの自然分娩で産むのは3回目にしてこれが初めての事でした。妊娠中はつわりもひどく、トラブル続きで2回の入院をし、一時は赤ちゃんをあきらめかけた事もありましたが、柳瀬先生と助産婦さん、看護婦さん達の優しさと励まし、手あつい看護のおかげで、それを乗り越え出産までたどり着くことができました。本当に感謝しています。

予定日は8月19日だったのですが、7日の朝方から「おや？」というような生理痛にも似た腹痛が15分おきに感じられたのです。でも、自然な陣痛の経験の無い私はよくわからず「まさかね。」という感じで、上2人の子をいつも通り保育園へ送り届け、母とランチを楽しんでました。するとその頃から、10分間隔位で腹痛がおこる様になり、おやつの間頃にはその痛くが腰にくるようになり、「まさか？？」の思いで、夕方病院に来て内診してもらった結果、

子宮口が既に8cm開いていることに!!!びっくりの即入院でした。それからさすが3人目、陣痛の進みの早いこと早いこと。

あれよあれよという間に分娩台へ。出張中だったパパは急いで病院に向かってくれていたのですが、残念ながら間に合わず。そのかわり実家の母に立ち合い出産という素敵なプレゼントができましたし、先生と助産婦さんの励ましや指導の中、とてもリラックスした雰囲気の中、最後まで笑いながらお産することができました。産まれた直後からおっぱいを吸わせて赤ちゃんと一緒にいれることの喜びも今回初めて知りました。それがお母さんと赤ちゃんにとって自然な事だというヤナセさんの考え方にも、とっても納得です。今回、産院を変えて「お産」というものすばらしさを改めて感じる事が出来て本当に良かったと思います。先生、スタッフの皆さん、本当にありがとうございました！

27才、初産。予定日より9日遅れの出産となりました。44時間という長丁場を乗り越えられたのは、幸子先生の神様のような笑顔と高野婦長をはじめスタッフの方々のサポートのおかげとしか言いようがありません。7〜8分毎に押し寄せる陣痛に一日半耐えましたが、それでも内診しても子宮口はまだ3cmでした。私もかなり疲れてきてましたので、子宮口がなかなか開かないことが悲しくて、看護婦さんに「もうヤダ」と泣きつきました。幸子先生には「もう促進剤をうつて下さい」とお願いしました。でも先生は、「ゆっくりゆっくり進んでるから自然に頑張ろう」と励ましてくれました。スタッフの方は、「浣腸したら進むかもしれないやんからやってみる?」とか「アロマバスでいったん落ち着こうか?」とか、泣く私にいろんな提案をしてくれて、全部やってみることにしました。すると、入院から39時間後の内診から、どんどん子宮口が開いて来ました。開き出すと早く、内診ごとに6cm、7cm、9

cmと開いて、それとともに腰の痛みも頂点に。和室LDRのクッションを投げつけていました。次の内診でついに子宮口全開になり、高野婦長、幸子先生が部屋に入ってこられました。和室LDRの布団の上に仰向きになり、右に実母、左に夫が座り、幸子先生がの“さあ、いきんでみよう”の合図で、全開から1時間半後、ついに赤ちゃんが出て来ました。疲れを忘れ、私も体をおこして赤ちゃんを見た時、何か夢の中にいるようでした。

“私、産んだんだ、やっと終わったんだ”と思えたのは、少し時間が経ってからでした。

会陰切開もせず、産まれた後はすぐカンガルー抱っこをさせてもらいバースプラン通りの満足出産ができました。今は赤ちゃんの一つ一つの表情がかわいくて、目が離せません。本当に頑張つてよかったです。ほとんどがスタッフの方々のおかげなんですけどね。

妊娠判明時より、健診毎に不安を訴える私に優しい言葉をかけて下さいました幸子先生、本当にありがとうございました。

予定日を過ぎても陣痛が来ず、お盆までには出産して退院したいなという思いがあり、先生のご指導の下、誘発分娩のための入院が決定しました。入院してもなかなか陣痛は来ず、3日目の16時にやっと陣痛が始まりました。痛みの間隔は最初から短く、どんどん痛みの強さは増していきました。「これが数時間続くのだ」「もう逃げられないんだ」とひるむ気持ちを必死でおさえて過ごしました。

看護師さん達にわかるがわる励ましてもらいながら、「こんなに優しくしてもらっていいのだろうか」という気持ちで、時間は経っていきました。先生も登場しました。先生に優しく励ましてもらいながらも、出口の見えない気持ちで「まだまだなんだ」と長期戦を覚悟していました。「もうすぐよ」と言って頂いても、「私を励ましてくれてい

んだろ(まだまだだのに)」と、思いました。先生たちの言う通りにいきんだり、呼吸をしていたら、(まだまだだと思っていたのに)赤ちゃんの頭や体が出てきて目の前にあり、信じられませんでした。(22:35)とてもホツとしました。痛い分、ものすごい達成感があるのですね。究極の心情?でした。優しく適格に導いてくれた先生、看護師さんの方々、(手を握ってくれていた)夫のおかげです。私は幸せ者です。無事出産できてよかったです。

私は2人目のお産でしたが、上の子と5歳あけたので、初産婦同様、一からのスタートでした。

つわりで2週間程入院し、辛い妊婦生活でしたが、6ヶ月位からつわりもなくなり仕事復帰し、自宅アパート5階を毎日登り下り大変でしたが、今となれば良い運動になったのだと思います。出産予定日1日前の夜、20:45分頃から10分間隔の微弱陣痛が始まり、21:30頃病院到着。でも、陣痛が弱く前駆陣痛かもとの事でしたが、話しているうちに3分間隔に子宮口も2cm開きが見える内に7、8センチ全開となり、夜中の1:45分誕生しました。あつという間の出来事だったので、自分でもびつくりです。立ち会い人も主人、姉、姉子供(小学6年と4年生)2人きてくれ、子供達にまでお手伝いさせて頂き、子供達にもとって一生の思い出になりました。私も皆の応援があり、頑張れたと思います。こんなアットホームな出産が出来たのもヤナセクリニックならではだと思います。本当にありがとうございました。

私は4人目の出産でした。1人目はH3年、2人目はH4年、3人目はH6年とポコポコと30才までに3人産み、やっと手が離れ余裕も出来た毎日でしたが、3人目を産んでから9年目にして天の授けか、このとりの行き先間違いか、37才のこの私のおなかに4人目が…まあびつくり！周りもビックリでしたが私が一番ビックリでした。せつかく授かった命！この子だけ粗末に出来ません！！さあ、高齢妊婦。何もかも一からのスタートでした。つわりも思ったほど重くなく、マタニティブルーなんて言っている暇もなく毎日座る暇もなく。。。

あつという間に10ヶ月！！体重も6kg増で赤ちゃんも順調！！

上の3人は他院での出産でしたが、こちらは女医さんで優しい先生よ！と聞き、ヤナセさんで産むことにしました。なんと先生とは一つ違いの友達のような感覚で、何でもお聞きすることが出来安心でした。予定日の週にどうしても産みたくて、誘発剤を使つての出産することに決定！！8/13に入院しましたが、あまり効き目がなく8/14に点滴スタート！！あれよあれよと波がやって来て、1:00に陣痛 15:52にオンギャ〜と、産声をあげました。まあ薬を使つての痛みの早いこと！痛いこと！でも、オンギャーの一声で死にそうな痛みがケロツ！と治りました！！

はげまして下さった幸子先生！そしてスタッフの皆さま***本当に感謝！感謝！です。そして一生懸命腰を指圧してくれて、手を握ってくれたPAPAありがとうございます！

初めての立ち会い出産でいい経験、思い出が出来ました。

母子同室もとっても良かったです*

本当にお世話になり、有難うございました***

私は里帰り出産の為、35週目からヤナセクリニックにお世話になりました。

34週まで仕事をしていましたが、特に変わった事もなく、妊婦生活は順調。自分でも「思っていたよりも楽だなあ…」といった感じ。

ところがx x x 予定日をすぎても赤ちゃんはちつとも出てくる気配なし。少しは遅れるだろうと思っていたものの、不安になってきました。

そして、41週と2日目入院。メトロを挿入してもらい、子宮口が開くの待ちました。夕方から徐々にお腹が痛くなり、これが陣痛??と思い、「きつと夜中には産まれるだろう」と考えていました。ところが…23:15トイレに行くと、風船のようなものがポロリ!?内診をしてもらいましたが、子宮口は4~5cm「これで少しは楽になるからね!」と看護婦さんに言われたものの、30分後には5分おきの陣痛が。しかし、一晩経っても感覚が縮まることもなく痛みも同じ。「すこし歩いた方がいいよ」と言われ、昼間は痛みにたえながら、なるべく歩くようにしました。痛みのピークがきたのは午後2時。5分おきに今までより強い痛みが…。ベットにしがみついていると、ちょうど内診があつたので見てもらいました。子宮口は6cm。アロマのおふるに入り、リラククスしました。前日からつかれもスーとひいていくほどリラククスできました。その後、LDR室に入っても椅子に座ったりベットに横になったり…。2~3時間おきの内診で1cmずつ子宮口が開いていきますが、つかれはピーク!!幸子先生に「もう出してほしい」と言いましたが、「少しずつがんばるからね!」と励まされ、また看護婦さんにも腰をさすってもらったり…。やっといきみだしたのが午後10:00。先生のアドバイスのもと、いきみとリラククスをくり返し、無事に出産することができました。産まれてきた瞬間、終わってホッとしたのとうれしさで泣けてきました。パパは仕事で側に居なかつたけど、一晩中側で付き添ってくれた実母をはじめ、姉や、「大丈夫赤ちゃんもがんばっ

てるから」と励ましてくれた先生や看護婦さんにとっても感謝しています。
本当にありがとうございました。

初産の私は柳瀬先生の的確な指示のもと、陣痛誘発剤の投薬、投与を受けました。点滴投与3〜4時間後に陣痛が始まり、LDR入室後1時間50分、主人の手を強く握り締めp m 2 : 5 0 3 2 3 5 gの女の子を出産することができました。激闘の1時間50分は苦しく険しい時間でしたが、“サクラちゃん”の顔、そして泣き声を確認した瞬間、私が赤ちゃんを産んだという実感を得られました。あの辛かった時間が一気に感動へと変化し、そして早く我が子を抱きしめたいと言う気持ちで胸がいっぱいになりました。

私たちは、女の子の誕生とわかっており“サクラ”と命名することを決めていました。ただ名字については我が子の顔をじっくり観察し、これからのサクラの健康なる成長を祈願し、いつまでも楽しくかわいく咲き続ける（成長）ことを込めて“咲久楽”と名付けました。

最後になりましたが、ヤナセクリニックスの方々、最善なるサポートを感謝し、これから出産を迎えられる方々への高配をお願いします。

8 / 1 1 (月) 入院、陣痛を誘発する錠剤を投与する。

8 / 1 2 (火) 同じく陣痛誘発剤を投与する。

8 / 1 3 (水) 点滴(アトニン)に切り替え投与。

27歳、初産で待望の女の子が誕生しました。主人も私も実家は岐阜県で、三重県では誰も知り合いが居なかった為、妊娠中は色々な事が不安になったり、主人にやつ当たりしたり…。10ヶ月という妊娠期間が大変長く感じられました。それでも月に数回行くヤナセクリニックでの幸子先生を始め、看護師さん方の優しい対応と会話のお陰でこうして無事に出産をおえられたのだと思います。出産は想像以上のものでした。予定日まで1週間程の余裕もあったため、まだまだ…とのんびりかまえていたのですが、朝5時半頃に下痢のような痛みがあり、しばらくトイレに行ったり来たり…。当然、トイレでは何も出る様子もなく、かわりにトロリとしたおりものまざったおしるしがありました。それからは生理痛の軽い痛みから、体をかがめる程の痛みになるまで、2時間位。病院到着後、破水しました。半日程すると3分間隔の痛みになったものの、子宮口2、3cmのまま、思うように陣痛が来ないで次の朝をむかえる事に。10分間隔の陣痛になってしまい、次の朝、誘発剤の点滴。それからの痛みといたら想像を絶するものでした。立ち合った主人は少しでも私を励まそうと一苦労！背中をさすったり、腰を押ししたり、汗をふいたり。手をぎゅっと握って「もうすぐ赤ちゃんに会えるぞ！」とその言葉が忘れられません。5時間後、無事、女児の誕生。主人二人、感動の対面でした。今は主人と二人でこの子に向かって「産まれて来てくれてありがとう。」の一言です。心配して遠くからかけつけてきてくれた家族、そして最後まで優しく診て下さった幸子先生、助産士さん、看護師さん方。本当にありがとうございます。ヤナセクリニックの方々はみんなが親切だったので、私も安心して入院生活を送る事ができました。これからは主人とこの子三人の生活です。不安もありますが、主人と二人で楽しみながら乗り越えていこうと思います。お世話になりました。本当に×2ありがとうございます！！

折しも大型台風10号が東海地方に近づきつつある8月8日の夕方、突然破水らしきものがありました。

でもまだ予定日の20日前だったので半信半疑のままT e lしたところ、すぐに入院の準備をして来院の指示が…
あいにく主人は仕事の為、連絡不可能。雨風が強くなる中、「なんでよりもよってこんな時に」と思いながら、自分で運転して病院に。(全く陣痛がきていなかったの)

診察の結果、やはり破水でそのまま入院となりました。

そして自然に陣痛がくるのを翌日の朝まで待つことに。

出産はまだ先とのんびり構えていた私は、なんだか実感もわかず、バースプランもその日の夜に提出するというお粗末さでした。翌朝、5時頃より少し陣痛が始まり、11時頃には本格的痛みに。初めてのお産は、痛みに弱い私にとって想像以上の大変さで殆どパニック状態になっていました。後から聞いた話では、LDRの外にも私の「ギャア」という叫び事が響いていたとのこと。

それでもなんとか先生やスタッフの方々の暖かい励ましのおかげで無事女の子を出産することができました。

先生やスタッフの皆さんのお力添えがなかったら、とても乗り越えることができなかつたと思います。

心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

予定日の12日前に一度入院しました。しかし、有効陣痛がつかず、予定日まで日があるので退院しました。家へ帰って夫と話しあいました。「太りすぎてるから微弱陣痛なのかなあ?」「いや、お前に似てノンビリ屋の性格なんだ」
e t c.

一週間後、前回以上の痛みが7〜10分間隔でおこってきました。でも、前回のこともあるし…

と考えると、頭をよぎった先生の言葉。「経産婦はもつちよつと……って家で様子を見ているうちに、動けなくなる程進むことがあるよ」。動けなくなったら誰にこの重たい体を運んでもらうんだ？仕方ない、またひいてつたら、また帰ってこようと病院にt e e lして入院。けれどもやっぱり有効陣痛にならない。翌日、促進剤を使うことにしました。9時すぎから始め、昼食の頃、「おっ？！」という感じがしてきて、急いでこはんをかきこみトイレを済ませました。その後、30分もしないうちに痛みをこらえきれなくなり、いきみたくくなってナースコールを押しました。「おめでとう、全開です」と言われ、ベットからタタミの方へ移動しました。そのときの助産士さんたちの手際のよさといったら！！ほんの2〜3分で準備O.K。リードにあわせて呼吸したりしているうちに、ツルンと赤ちゃんが産まれてきてくれました。立ち合った夫は、へその緒を切らせてもらって大感激。赤ちゃんの計測についていってベタベタ触らせてもらってきました。私の方も産後すぐに抱かせてもらったうえ、特別産褥期の2時間の間も赤ちゃんと添い寝させてもらって、出産直後からたくさんのスキんシップの時間を与えてもらって、とても感謝しています。こちびちゃん、これからも元気に育っていくんですよ。

予定日を4日過ぎ、少し不安になり始めた日の昼間、外出先で突然出血しました。破水と思い、トイレへ行くと生理のピーク時の様な出血で、慌てて来院。診察では子宮口3cm開大と言われたものの、それは1w前の検診時と変わらず、痛みもありませんでした。結局、一晩様子を見る事となり、何ともないまま朝を迎えました。朝7:00、助産婦さんが様子を見に来てくれて、「もしかしたら退院になるかもね」と言われた直後、ズキツとお腹が痛み、また出血。すぐにLDR洋室へ行きNSTと内診の結果、3〜4分間隔の張りがあり4cm開大。そのまま陣痛は続きま

したが夫や母と話す余裕もあります。アロマバスに入ると本当に痛みが和らぎ、30分ほど入って10:00頃LD R和室へ移動。この頃から痛みは腰へと変わり、話す余裕はありません。10:30頃の内診で10cm開大。全開になればすぐ生まれると思っていた私は「あと少し」と思いながいきんで、結局2時間半近くもいきんでいました。生まれる直前になっても陣痛と陣痛の間隔が長く、途中で夢を見てしまうほどリラックスしていたのは、入院の時からずっと隣にいてくれた夫と、忙しい中駆け付けてくれた母と姉のおかげです。そしてたくさんはげまして下さった高野さん、奥村さん、寺沢さんがいて下さったからこそです。今だに私が出産した事が信じられないのは、自分一人の力での出産ではなかったからだだと思います。ファミリーバス、アクティブバスの考えは本当に安産につながると思いました。それを教えて下さった幸子先生にとっても感謝しています。ありがとうございました。

今回の出産は、2回目で早く産まれるかなって思ってたら、予定日が過ぎてもオシルシも陣痛もなく、先生に「もう1週間待って無理だったら入院しよう」とゆわれました。

18日朝起きたら「オシルシ」らしいものが… お腹は痛くなかったのでパパを送り出して普通にしていたら破水！そのまま入院になりました。アレヨアレヨで陣痛も進み、PM7:53 3585gの男の子 無事出産できました。2年前の病気で子供が生まれるかどうかで妊娠 出産。妊娠中の不安も先生のおかげで何事もなくリラックス出来ました*ありがとうございます。

陣痛時の婦長さんの腰モミモミっ押し？はとてもよく効きました。

ヤナセクリニックで出産出来てとても良かったです。

産後の子宮回復は、とても痛かったです。

8月18日 朝からビチャ したモノが何回もでてきた。

もしかしたら出産近いかもって思ってたら。。。

夕方ぐらいから1時間おきに痛くなってきた。

最初はグリッぽいナとか思うぐらいの痛さだった。

ケド、だんだん痛くなってきた。心配で病院にきたら、子宮口が5cm開いていた。

もお産まれるって思うと、めっちゃ 怖くなった。何よりも痛いのが怖かったから。

ケド、実際の陣痛は思ったのとちがってあんまり痛くなかった。

痛いのは痛いけど。。。結構楽でした(笑) 超安産* * 8月19日午前1時42分*Baby誕生!!

でも、産むのより。。。ぬうのが超痛かった。まあ。でも、看護婦さんや院長さんがワガママを聞いてくれたおかげで

楽に産めたんだと思います*

アロマバスも入りたいって入って入っちゃったし。裸でLDRの中をころげまわったりしてたし(笑)

ソファーでねころんだりとか(笑)

やっぱりそおゆうワガママとかのおかげで超安産でした*

院長&看護婦さん*ありがとうございます*

あと、ずう っと一緒に立ち合ってくれてた、だありん* * *

おつかれ&ありがとう* * *

予定日まであと11日もあったのに、破水したので入院することになりました。

12〜24時間程で陣痛が来るはずだから、Babyも元氣だし待つことに。

ところが翌日になっても陣痛らしきモノは来ず、破水の気持ち悪さで一睡もできなかった。8月18日AM9:00
誘発剤を飲むことに。1錠ごとに痛みが強くなり、間隔も短くなってきました。パパに腰を押してもらいながらなんとか痛みに耐えました。3錠目から強い痛みに吐き気がきて、朝食をもどしてしまい、昼食も少し食べれたモノも吐き、ポカリスエットを飲みながらがんばりました。

陣痛逃しはなかなかうまくできず、最後のほうは動くこともできず、ただひたすら呼吸で痛みを逃していました。強い痛みの時は呼吸法もパニックになり、うまく逃せなくてツラかったです。マタニティヨガを習ってればよかったかな？

子宮口全開になつてからLDR室に移ったんですが、そこからはあつゝという間に進んで、30分弱での出産になりました。婦長さんと幸子先生に励まされながら、なんとかうまくいきめたみたいです。Babyの頭が見えてきたよ！という言葉に「あと少してBabyに会える！」と思い、再び力が湧いてきました。8月18日 pm9:13 2950g 51cmの女の子でした。

胎脂がまっ白のちっちゃいBabyだったけど、力強く大きな声で泣いていたので、とてもホッとしました。ホントに生まれた姿を見ると、痛みを忘れられマス！

幸子先生、婦長さん、看護師の皆さんに励まされ、ヤナセクリニックで出産できてよかったです。

2人目はぜひ男の子が欲しいナ。よろしくお願いします。

次回はアロマバスに入りたいな*

予定日を前に赤ちゃんが大きめと言うことで入院する事になりました。

兆候もあまりない様なので、まずメトロクと言つ風船のような物を子宮に入れ、子宮口を開ける事から始めました。(これで入院1日目)

次の日、少しお腹は痛くなるけど本格的にならず、弱い陣痛とは言えどもなかなか眠れず、一晩が過ぎました。(これで入院2日目)

次の日、少しずつ進んでいるとの事で、自然に待ってみましょうと言つ事で、ひたすら陣痛が来るのを待つ忍耐の1日。その時、リラックス効果と陣痛の柔らげにと、アロマ浴をしました。お腹が痛くて、あまり気が進まなかったのですが、看護婦さんに言われて入ってみると、とつても気持ち良く、リラックス出来ました。(これで入院3日目)

次の日、陣痛も強くなってきて、いよいよかなと思いきや、なかなか子宮口が開ききらず、いろいろポーズ・姿勢を試みました。陣痛中の姿勢はかなりきついものでしたが、スタッフのみなさんのアドバイスにより一気に進み、子宮も全開になり、いよいよ分娩へ進む事になりました。

そこからは長時間の分娩がお腹の子に影響がないか、とても心配でたまりませんでした。そこからは、皆様(スタッフ)の言う通りの呼吸で楽に進む事ができました。あまりの陣痛の長さにより陣痛の辛さが印象に残ったお産でしたが、3日間の陣痛に耐えられたのも先生・スタッフの皆様のおかげだと思います。3715gのやや?大きめの男の子でしたが、無事出産出来、本当につれしく思います。先生・スタッフの方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

ps: 出産後に頂いたママと赤ちゃんの出産記録はとても嬉しかったです。

私の出産は、予定日が2週間もすぎてしまい、入院というかたちになり、微弱陣痛だったため1日目から陣痛そくしん剤の薬をのんでたのですが、2日たつてもきかず、3日目で点滴となり、生まれるまで24時間ものつみのくるし

みでした。でも、ぶじに子供が産めたのもこの病院のスタッフや家族のおかげでとつても心から感謝しています。出産する時、LDRで計3本目の陣痛そくしん剤の点滴、よく自分でももったなうなんて感心。最後の方では(出産)、いつまでこんな陣痛との戦いをしなくてはならないのだろう…と思ってしまう。2本目の点滴で、2分間かくの陣痛とがんばったのですが、なかなか出てこず、3本目となったときは体力が限かきをきていたのか、4〜3分間かくとおそくなり、4人もスタッフその内1人におなかをおしてもらい、やっとこさつとこの思いで産まれ、うれしさといろんな感情が入りまじり、涙ボロボロでできた一言が“ありがとうございます”という言葉でした。赤ちゃんは元気いっぱいなくてくれ、ほんとこんな子がおなかに今までいたんだな〜と、とても感動しちゃいました。

“陣痛”というものがどの程度のものか分からなかったので、予定日は8/24でしたが、17日の晩10分おきくらいのお腹の張りとお水のようなものを感じ、病院へ連絡し入院することに…。でも陣痛は治まり、次の日退院しました。8/23明け方からお腹の痛みとおしるしがあつて入院(AM10:00)。子宮は2cm開いているとのでそのまま陣痛待ちでしたが、なかなか本格的な陣痛がこなくてLDRでTVを見たり話をしたりして過ごしました。夕方5:30ごろから少しずつ陣痛の痛みが激しくなり、痛みがおさまっている10分間にアロマバスに入りました。とてもリラックスできて気持ちよかつた。PM9:00〜痛みの間隔も短くなり、腹のマッサージをしたり、ゆらゆらゆれるイスに座つたりして痛みを柔らげました。今思うとあのイスは私にとつても楽でした!!

子宮口が8cm開いているとので、11:00ごろからベットのの上に寝て進行期を迎えました。思うように呼吸

ができなかつたので、看護婦さんや家族に声かけてもらい頑張りました。頭が出てくるのにすごく時間がかかってしまった、途中で弱音をはいてしまったけど、早く赤ちゃんに会いたい！！という思いと、心の中で赤ちゃんがんばって、お母さんもがんばるからねと叫びながらいきました。ヤナセ先生や足をささえてくれている看護婦さんのお腹を何度もけつてしまつてごめんさい。でも先生方に励ましてもらったおかげで、なんとか出産することができました。本当にありがとうございます。

出産予定日は9/7でしたが、主人の仕事の都合やお兄ちゃん(13歳)が夏休みの間に産まれてほしいナアと思い、お腹の赤ちゃんに話しかけていたのが通じたのか、13日早く8/25に産みました。今回で3人目ですが一番満足できたお産でした。3回目だから多少余裕はあったものの、やっぱり痛いだろーナアと思うとドキドキしましたが、「私のお産」レポートを読んでいたのが安心してました。当日は明け方頃から何となくいつもと違うお腹の張りはあるものの、クーラーで冷えたかな？ぐらいにしか思っていなかったんです。でも、AM8時頃からしぼるようになり痛くなってきて、トイレにかけこむものが出ない。3回ぐらいトイレに行き、念の為時間を計ると5分間隔。出勤直前の主人を引きとめまん中の子(1歳5ヶ月)と共にヤナセクリニックスへ。8時30分に内診してもらつと子宮口が9cmも開いているとの事。陣痛も2〜3分間隔になりLDR室へ。楽しみにしていたアロマバスは入れなかつたけど、ベテランの助産士寺澤さんの的確なリードで安心しながらお産にのぞむ事ができました。赤ちゃんの頭が出る時はさすがにつらくて「痛い」とさげんでしまつたけれど、10時05分に産声を聞いた時は感動しました。主人はまん中の子を抱っこしながら、初めて立ち会ってくれました。

まん中の子の出産は他の産院ですが、12年ぶりで微弱陣痛で促進剤を打ったりして3日間かかったし、陣痛時も経産婦なのでフォローもなく、分娩台にあがるまでひとりで乗りこえ、精神的にきたえられたお産でしたが、今回はヤナセクリニックで産む事ができて本当に良かったです。

柳瀬幸子先生、その他スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

安産な方だと言われましたが、やっぱり陣痛は痛くて。

こちらに入院した時には子宮口が6cmで、破水はまだだったのでアロマバスにいれてもらい、痛みが和らいでリラックスでき本当によかったです。その後、スタッフの方に痛みがくるたびに腰部をマッサージしてもらい呼吸を教えてもらい、なんとか無事出産できました。スタッフ皆様のかけてくれる声にささえられたと思っています。陣痛の痛みにたえている時は、もう二度と無理と思っていました。子供の泣き声があったとたん安心と喜びで、二人目の時もこちらの病院でと思いました。スタッフの皆様本当にありがとうございました。

予定日を過ぎても全く産まれる様子がないので、予定日を10日過ぎた頃入院しました。初産、29歳、身長も146cmなので、Babyが大きくなりすぎてもツライなと思っていました。

1日目：誘発の薬を1時間おきに6錠飲みましたが、全く効果なし。階段ののぼり降りもしました。

2日目：1日目の夜からメトロクという風船の様なものを子宮口に入れました。1晩は痛みで眠れませんでした。痛みもだんだんおさまっていききました。

この時点で子宮口は3〜4cm開大。

3日目：メトロクも効果がないので抜いてしまいました。再度、薬を飲みました。1錠目から陣痛が来るようになりましたがまだまだ弱く、子宮口も変化なし。1晩痛みましたがまだまだ。眠れなかった。

4日目：点滴開始。すぐに強い陣痛。でも子宮口には変化なし。激しい痛みに耐えましたがもう限界。帝王切開を希望し、家族も同意してくれました。

とりあえずダメもとでLDRへ入室。イキんでみることに…。するとみるみる子宮口が開大し、入室から2時間で出産！！

私のがままを聞いてくださった先生・助産婦さん・看護師のみなさん本当に本当にありがとうございました。やさしいはげましの言葉とか、マッサージetc… 頑張ろうという前向きな気持ちになりました。これから出産されるみなさんへ。

ヤナセクリニックにして本当によかったですよ。安心して出産に挑んで下さい。

予定日より2日遅れの27日の早朝、ようやく陣痛が来て入院しました。ちょうどその日は主人も会社がお休みだったので、ずつといてくれたので心強かったです。

どんどん陣痛が強くなり、汗はダラダラ出てくるし。スタッフの方達も背中や腰をずつとさすって下さっていました。

主人もそばで何度も「大丈夫？」と言ってくれていたのに、痛みとイライラからつい、「静かにして！」と言っ
てしまいました…。

いきんでもいきんでも、なかなか出てきてくれなくて、額からたくさん汗が流れ落ち、その度に主人や、スタッフの
方が拭いて下さっていました。

「もう早く産まれて来て！」その事はかり頭の中でグルグルかめくってました。…スタッフの方が、「もうすぐ出
てくるよ」と言われた時は、思わず「ホッ。」としました。最後のいきみで、ようやく生まれました！産声を聞き、
赤ちゃんの顔を見た時は感激で涙が出ました。10時間という長いお産でしたが、最後まで優しくサポートをして下
さったスタッフの皆様、院長先生、本当にどうもありがとうございました。

私のお産は突然はじまりました。朝起きてトイレに行くとおしるしらしきものがきていて、「アレッ」って感じてし
た。

まあ、まだ大丈夫だろうと普通に生活していたのですが、夜になって陣痛らしきものがやってきて、「これがもしか
して陣痛!!」と思い、あわてて時間を計ってみました。

するとその波は10分間隔にやってきていて、「でも、もう少しもつ少し」と3時間くらい時間を計って、だんだん
間隔もせまくなり痛みも強くなってきたので、病院に連絡して入院することになりました。病院についたのは早朝の
4:30ぐらいで、みてもらうと「3〜4cm開いているよ」と言われて、次、9:00に先生にみてもらうと「7
cm」まで開いていました。それから部屋で陣痛のいたみと戦っていると、急にいきみたい感じになりLDR室に入

ると、そのピークは頂点に達して、自分ではかなり長く辛い時間だったのですが、みんなに「早いなあー、もう出てくるよ」と言われ、何回かいきむと赤ちゃんが出てきてくれました。

痛くて辛い時間だったのですが、我が子を抱いた時、全身がふるえて、今までけいけんした事のない喜びを実感しました。だんなも号泣でした。

先生、助産士の方々本当にありがとうございました。

2人目にして、初めてひどいつわりを経験し、安定してきた頃から子どもを連れてバリバリ仕事をしていたら…。少し出血してしまいました。それから一週間は張り止めを飲んで、安静の毎日でした。しかし、お産は思うようには陣痛は進まず、不規則な痛みが続きました。まあ、そのおかげでゆっくりアロマのお風呂にも入れてもらって、リラックスできました。お風呂は入れたら、ぜひおススメですよ。

陣痛が10分間隔になってからは、急にきばれてきたりしてビックリしたけど、順調だったように思います。立ち会っていた夫と母に言わせると、高野さんが1、2時間ずっと全身をマッサージしてくれていた事に感動していました。とにかく痛い私は、つばにはまって気持ちいいマッサージに全身をゆだねているだけ…。ほんとうに痛みみからのがれられてありがたいマッサージありがとうございました。

いきみが弱く、何度いきんでも赤ちゃんの頭がでたり入ったり。幸子先生、高野さん、スタッフのみなさん、「いいー！いいー！」と叫ぶ私に、「痛いな、そつやな」と何度も答えてくれて、根気よくおつきあい、ありがとうございました。ひとり目が破水から始まり、助産婦さんにほとんど出してもらったような感じだったので、今回のお産は産んだぞ！と自信を持っていえる満足のいくものになりました。上の子（3才）も立ち会えて、望みどおり家族

でお産ができました。
お世話になりました。

赤ちゃんが少し大きめとのことで、予定日の2日後に入院することになった。8/25入院1日目、誘発剤を1時間に1錠ずつ計6錠服用したけど、陣痛が来なかつたのでメトロという風船を入れた。8/26入院2日目、夕方メトロが自然に抜けて子宮口5cm開。夜中に陣痛がつけばお産につながるかも、と言われたけど、8/27入院3日目、何事もなかつたかのように朝目が覚めた。NSTで検査してみても陣痛は来ないけど張りが規則的に来ているし、子宮口も6〜7cmまで開いているので、体を動かしたり動かしたりして陣痛が自然に来るのを待つことになった。夕方から本格的に痛くなってきて、アロマの足浴やアロマバスをすすめられた。すごく気持ちよかつた。お産が進む効果もあるみたいで、お風呂から出てから本格的に陣痛が来た。LDRで主人や婦長さん、スタッフの方に腰をさすってもらったりアロママッサージをしてもらったりして、ひたすら耐え続けて、8/28朝、8時破水。まだ赤ちゃんの頭を下に押す程の陣痛が来ていないとのこと、促進剤を点滴。そこからはスタッフの方にリードしてもらいながら、深呼吸といきみの繰り返しで、寝不足と疲れから意識もはっきりしない中、スタッフの方の「もう少しだよ。頭がみえてきたよ。」の声をはげみに早く赤ちゃんに会いたい一心でした。赤ちゃんの心臓の音が乱れると我にかえり、ゆっくり深呼吸したり、分娩台にあがってからはもう無我夢中でした。頭が完全に出てしまうと、後はスルツと体が出て産まれたばかりの赤ちゃんを見せてもらった時は、もう感動でいっぱいでした。無事に出産することができたのも、幸子先生や婦長さん、スタッフの方々、そして入院中ずっと付き添ってくれた主人のおかげです。本当にありがとうございました。

2003年9月「出産」

2人目のお産のため、ある程度の心かまえは出来ていたが、1人目の子が破水から始まりの出産だったため、破水だけはしてほしくなかった。

だって、アロマバスに入りたかったから…

夕方からおなかのはりが強くなり… pm10:00くらいからはいちだんと痛みが増してきた。主人は「はやく病院へ」というが、まだまだと粘り、家事をすべて終わらせいざ病院へ…

上の子も立ち合いをさせたかったが、熟睡してるため無理だった。

am1:00入院。念願のアロマバスにも入り… 30分後強い陣痛… うとうと寝てただんを呼び起こし、腰をさすってもらったらすぐいきみたくなり、子宮口全開…。でもなかなか上手にいきめなくて足はとじてしまう。自然とだんが「フ・フ・ハー」って言うてくれて… 幸子先生のやさしい声と共にリラックスが出来、元気な男の子を出産。1人目の時はだんなは手をにぎり見ているだけだったけど、今回はいっしょにいきんで生んだナーって感じ。和室だったから良い経験が出来たと思います。

いつもいつも幸子先生をはじめ、スタッフの方が親切にして頂いて、安心して入院と出産できました。ありがとうございます。

2人目の出産でした。上の子も4年前ヤナセクリニックで出産。毎週ヨーガにも通い、超安産でした。今回もそのつもりでいたところ、もちろん安産でしたが、「えっ！こんなに産むの痛かった？」

そして出てきた赤ちゃんを見て、女の子なのにブサイク！この丸い頭のせいで苦しかったんだ！！でも、我が子は力
ワイイ！となりで寝ている赤ちゃんの方がワイイ顔をしていても、親は自分の子が一番ですネ*

そして陣痛時にスタッフの方がほんとう良くして下さいました。パパはあくびをしたり、タバコを吸いに行っしま
つたり x x x

私がおんなに痛いのがわかってるの！？

でもスタッフの方、みなさんやさしいし心強かったです。ありがとうございます。

今回のお産は、第二子より15年間があり（超！）高齢出産？！もしかしてリスクのある子が生まれたら…！お産は
大変では…！色々な事を考え、不安と赤ちゃんに会える期待の出産…。

微弱陣痛が続き、子宮口が3cmよりなかなか進まず、上の子二人より時間はかかりましたが、無事3275gの女
の子を出産する事が出来ました。

陣痛時間が長かったですけど、当直の看護師さんの心細やかなケアと応援、ずいぶん心強かったです。

お産時には幸子Drと婦長さんの指導の元、安心して出産に望めたと感謝しています。

そして和のLDR室での出産、主人にかえられて安心してお産出来たと満足しています。

これから出産を迎えるママに和のLDR室、是非おすすめします*

最後に幸子Drをはじめ看護師さんスタッフの皆様、大変お世話になり有難うございました！！

パパ、ママ、綾乃より

2003.9.8

平成15年9月8日 4:06am 3405グラム 49.5センチ 無事元気な男の子が生まれました。

2:00amにお腹の痛みで目が覚めてトイレに行くと おしるし が… そしてすぐ破水 4分間隔の陣痛。寝ている主人と長女(2歳)を起こして、3:00am入院しました。この時すでに6~8センチ子宮口が開いていて、2人目ということもあり「これはいきみなくなったらすぐやに」ってスタッフの方の言っ通り、スピード出産となりました。(分娩所要時間2時間12分!)

あまりのハイペースに心の準備が追いつかなくパニック寸前の私に幸子センセイ、高野婦長サン、スタッフの方々は冷静かつ優しい言葉をかけてあたたかくサポートして下さいました。おかげで赤ちゃんの頭が全部出てからは、驚く程おだやかな気持ちで誕生を迎えることが出来ました。

2歳の娘が『だいじょうぶx2』と手を握ってくれたことや、眠たい目をこすりながらお茶を飲ませてくれた主人、そしてセンセイ、婦長サン、スタッフの方々と一体感を強く感じたお産となりました。

3度目の出産&3度目の里帰りです。

里帰りの前の病院では切迫早産と診断された為、“多分予定日より早く産まれるだろうナ”と予想していた私…でも結果は予定日より1日遅れの誕生*となりました。

約2週間位前から前駆陣痛があり、そしておしるしも… 今か今かと赤ちゃんの誕生を待つ私と子供達。本格的な陣痛が始まり、私1人で病院に!!

1時間程してパパと子供達、おばあちゃんが来てくれました。“きっとすぐに産まれるだろうナ”3人目だし”と予想していた私…。またまた予想は外れ…。結局分娩時間は11時間半。

その間子供達が傍で応援してくれたり、色々話しかけてくれたり心強く感じました。一番辛い時の婦長さんの言葉&看護婦さん達のアドバイスは本当に本当に心に響きます*信頼しきって身をあずける事が出来、素敵な出産を経験する事ができました。又、今回は子供達にも立ち会ってもらう事が出来、家族の絆がより一層深まった様に感じます。毎回毎回、満足感たつぷりの出産をさせて頂き本当にありがとうございます。

3回の流産を乗り越え、やっとできた我が子を抱いた間、今までのつらさが消えました。予定日を過ぎてもなかなか産まれる様子がなく、入院して誘発剤や点滴を使って陣痛をおこしてもらいました。はじめは自然に陣痛がくるのを待ちたい気持ちと、早く産まれてほしい気持ちが戦っていたけど、いざ産んでみると推定体重よりもはるかに大きな子で、先生もスタッフの方もびっくり!!すごく痛かったし、二度と出産なんて...って思ったけれど、こんなに我が子が愛おしく感じるとは思っていませんでした。結果的に点滴にたよってしまったけれど、自然に陣痛がくるのを待っていたら、自分も赤ちゃんも苦しまなければいけないからこれでよかったと思っっています。幸子先生、森中助産士、スタッフの方々本当にありがとうございます。これからは1日1日が勉強で大変だと思っけど、一生懸命育児生活がんばります。

幸子先生、森中助産士、スタッフの方々の笑顔がすごく安心感を持たせてくれました。ありがとうございます。

私は9月9日に出産しました。2人目であんまりいたくないと思ってましたが、予定日より1ヶ月半早く産まれて、保育器に入りました。1人目より2人目の方が痛くて、早産だから痛かったのかな？とっています。でも、ヤナセクリニツクで2人とも産んだのですが、やっぱりさち子先生の所やからこそ安心して産めて、産後生活を送れました。なにより、未熟児センターに送らないといけないと思ってましたが、先生とナースの方々のおかげで生後5日目で1910gだったのが1944gになり、少しずつでも生長していつてくれるのでなによりうれしいです。

後は生まれた体重になればいいだけになり、日を数える日々を送っています。私の友達もヤナセで産みました。やっぱり3人目もいつか出来たら、ヤナセの幸子先生の所で出産したいです。

幸子先生、そしてナースの方々、本当にありがとうございました。

好美・加奈

初めてのお産。21才新米ママです。

9月8日、予定日の朝6:30おしるしがありました。トイレに行って少し出血しているのを見て「これがおしるしかあゝ*」と感動。おしるしがあつてから、いつ陣痛がくるんだろうと毎日、ドキドキ緊張していました。待つこと2日…

9月10日の朝から10分間隔の陣痛が!!落ち着かないと思いつつも、いつ病院にTELしよう、主人の職場にはどうやってTEL?など、かなり不安でした。お昼をすぎて、陣痛が8分間隔になり、急いで病院に受診。先生に内診してもらったら、子宮口が6cm OPENとの事*「今日中に、産まれてくるよ」と言われ、赤ちゃんに会える喜びで胸いっぱいでした。

主人は仕事を早く切りあげて、急いで病院に来てくれました。夜、アロマバスに入り、陣痛に耐えながら今か今かと赤ちゃんの誕生を待っている...

空には太陽が！！夜が明けちゃいました。子宮口は9cm OPENしているのに、なかなか有効な陣痛がこず、結局この日の朝点滴をしてもらいました。

昨日の夜とはくらべものにならないくらいの陣痛がきて、pm1:23、3350gの元気な男の子が産まれました。私は和LDRの分娩を希望していましたが、ここは本当におすすめてす！！主人の膝の上で2人力を合わせて、お産することができました。顔を上げるとすぐ上には主人の顔。安心できるし、何より主人もお産をがんばった感が味わえたと言っていました。

お産って本当に大変！だけどその分産まれてきた我が子はかわいくて*

本当にパパとママのところに産まれてきてくれてありがとうって感謝の気持ちでいっぱいになります。

先生、婦長さん、STAFFの皆さん本当にありがとうございました。今までのお産の中で、私ほど問題児はいなかったのでは？（焦）

最後まで励まして下さって本当にありがとうございました。心に残るいいお産ができました*

初めての出産。9ヶ月頃から頭はずい分下がっているようだったので、早く産まれてくるのかと思っていた私。現実には、41週になっても陣痛がこなく、不安いっぱいになってしまいました。そして陣痛がくるための入院をすることに。でもその日のAM2:00ぐらいに陣痛らしいものが自然ときたので、そのまま朝入院しました。もう産まれる

んだと思い入院しましたが、ここからが長い、長い、長
子宮口も広がらず、でも微弱ながらにず　　と陣痛がある。陣痛との戦いでもありました。結局この日には産まれず、次の日をむかえましたが、陣痛が弱まり、だけどおしりの方向がいたく、もう気持ちも体力も限界になってきたのですが、スタッフの方はそんな私をほげましてくれ、私に力を与えてくれました。夫のやさしさも私の力となりました。2日間私を見守っていてくれました。夕方やっと出産ができる状態にはなったものの、ここからまた長く、スタッフの方々は体をはって私の出産に立ち会ってくれました。“体をはって”言葉通り、私の『踏み台』になってくれ、『おなかをおさえてくれ』『下の方からおしてくれ』さまざま手助けのおかげで、無事出産することができました。産前も産後もいつでもやさしい言葉をかけてくれ、力を与えて希望を与えてくれた院長先生、スタッフの方々には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。長い出産になりましたが、ヤナセクリニクのスタッフの方々がいつも見守ってくれたので、私もがんばれました。
感謝の気持ちは書ききれません。

私の出産予定日は9月6日でしたが、なかなか陣痛が来なくて、まわりの人達からも「もう産まれたの？」とよく言われ、私も日が経つにつれて、イライラしたり焦ってきたりしていました。6日の健診では、とりあえず一週間だけ待つてみることにしましたが、13日の健診で41週を過ぎると胎盤の機能が低下するので連休明けの17日に入院して、陣痛誘発剤を投与することになりました。

入院して1日目、座ったり立っている間はお腹が張るものの、腰が痛くて横になるとその張りもなくなり、この分だ

と薬を投与しても2、3日はかかるだろうと肩を落としていました。

が、しかしその日の夜11:00頃トイレに行くとお血が！でも、彩やかな赤色をしていたので、おりものとは違うかな？と思い、看護師さんに聞いてみると、「少しずつ子宮口が開いて来ているから、心配しなくていいよ。」とのことでした。それから徐々に陣痛の間隔は短くなっていくものの、なかなか子宮口が開かず、赤ちゃんの頭もあまり下がっては来ませんでした。

結局、18日の夜遅くまで時間がかかり、午後11:40 幸子先生にお腹を押ししてもらい、頭が出てきたところで会陰切開して、さらに押ししてもらって無事出産。後で婦長さんに教えてもらったのですが、赤ちゃんのへその尾が首に巻き付いていたので、それで頭がなかなか下がって来なかったのではないかとのことでした。最後、出てくる間際心音がとぎれるような時もあり、幸子先生も「最後はちょっと心配だった」とのことでしたが、19時間という長い分娩時間を頑張ってよく堪えてくれた我が子はよくできた息子です。

ヤナセクリニックで出産してみても、つくづくこの病院で本当に良かったと思いました。検診の時から、いろんな不安を解消させるようにいつも優しく接して下さる幸子先生をはじめ、長くて辛い陣痛を乗り越えられるようアロママッサージをしてくれたり、いろいろ体勢を考えフォローして下さった高野婦長さん。途中、気分が悪くなってもどしてしまつたのを片づけて下さったり、トイレまで連れてって下さったりして、様々な醜態を見つつ、いろいろお世話下さったスタッフの皆さんは本当に強い味方です。

食事もおいしくて、個室にバス・トイレ付きで、母子同室。至れり尽くせりで快適な入院生活でした。

私にとってこの初めての出産は、本当に長くて辛くて痛いものでしたが、大変だった分いろんな事が分かってとても

よい経験となりました。朝9時からずっと私の腰をひたすらすり続けてくれた母。研修で名古屋から急きよ無理して帰って来てくれて、母と交代で腰を押したりさすったりしてくれくれた主人。立ち会い出産は本当に家族の絆を深めます。

手伝い支えてくれた皆には、ホント感謝、感謝のひと言です。

私はこの「私のお産」レポートを検診に来るたびに読んで、いろいろ参考になり、勇気づけられることもありました。これから出産の方、ことに初産の方々の参考になれば幸いです。

あんな長い痛みに堪えられる女性の体は本当に不思議ですが、こんな私でもできたのだから、みんな無事出産できますから大丈夫ですよ！

予定日を4日過ぎた9/13に出血があり、陣痛が強くないまま入院しました。けれど血の量がちょっと多いと思え、少しおなか痛いし、はじめてのお産だったで気ばかり焦っていたような感じでした。アロマバスに入ったり、「フー・フー」の呼吸をしたりして、寝れずに朝をむかえました。次の日には不規則ながら強い痛みがくるようになり、でも子宮口は2〜3cm位のままで、またアロマバスやフットバスやホットパックをしてもらいながら、痛みでねむれず食べれず朝をむかえました。次の日には、目がチカチカし、腰はガクガク、呼吸はうまくできない、そんな状態でした。

自分が痛みに弱いと思っていたのになかったのに、この痛みにはもうガマンができないと思い、そのときまだ子宮口がまだ6cmなどと言われ、「むりだ!」と思いました。すべてに絶望しかけていたその時に、やさしい看護師さんたちが

入れかわり立ちかわり温かくはげましてくださりました。それがなければどうにかなっていたと思います。主人も3日間ほとんど仕事を休んで、一緒にいてくれて、皆さまほんとうにありがとうございました！そしてまた次の日の深夜1:30、先生と婦長さん、ハセガワさんに赤ちゃんを取り出してもらいました。長くてつらいお産でしたが、人のやさしさを実感でき、それを生まれてきたこのかわいい赤ちゃんに伝えてゆきたいと思いました。ありがとうございました。

今回、2度目の帝王切開という事で、前回よりは余裕を持つてと思っていたのですが、今回は全身麻酔で子供の事を聞く事もできなかったかわりに手術中の処置も知る事なく終わりました。

今回は硬膜外麻酔という事で、産声を聞くことができるのをすごく楽しみにしていました。が、その前にいろいろな処置があり、それらすべてが聞こえて(？)くる事が、こわがりの私にとってとても長い時間に感じられました。こわくて手が震えてくると看護婦さんが、「大きく息をして」とやさしく声をかけて下さり、その後ずっと私の手をにぎっていてくれました。その時の事はきっと子供が大きくなっても、出産の時の思い出として残りつづけると思います。

不安で不安でしよがなかつた気持ち、フツとやわらいだ瞬間でした。産声があがり、ホツとして部屋に戻りました。

その後は、一週間お風呂に入れない私を毎日きれいにふいてくれたり、動けない間の身のまわりの事を本当に親身になって下さり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました。

予定日は9/29だったんですが、26日の深夜にいきなりすさまじい激痛がきて、これはもしかして陣痛かな？と思いい、初産です。どの痛みが陣痛か想像もつかないし、どもこの痛みはただものではないと思いい、時間をはかつたら10分に1回とかじゃなくて、5分に1回とかの痛みで、すぐに病院に行ったらなんともう子宮口が8〜9cmになつていて、もうすぐに産まれますと言われて、分娩がはじまりました。

ここからは痛くなったらイクムのくり返しで、あつという間に2時間半かけて赤ちゃんが誕生しました。感動の1言です。すぐに泣いてくれて元気な男の子でした。この痛みは女の人しかわからないけれど、産んだ時は旦那様と一緒に力を合わせたんだと思いいました。痛みがあつて、それを乗りこえろとすばらしい感動がまつています。

昔から生理不順で子供がでにくい体だったのですが、神様がさずけてくれた赤ちゃんですので、大切に育てていきたいと思いいます。

産まれてきてくれてありがとう。

前日から、不規則なお腹の張りを感じながらも、「まだまだ」と思っていたら、夜中に突然、破水。そのまま入院しました。でも、なかなか陣痛が進んでくれず、お昼をすごしました。スタッフの方から、「歩いた方が早く進むかも」と言われ、午後は廊下か病室でウロウロ。

夕方になってようやく、強い痛みを感じるようになりました。19時30分には、LDR室に移り、最初立ち会いを希望していません。立ち会いすることになり、いよいよとなりました。

先生やスタッフの方に教わつたとおり、私の腰を押してくれたり、汗をふいてくれたり、主人に立ち会いしてもらつて本当によかつたと思いいます。

最初は、「日付越すかも」と言われていましたが、どんどん進み、21時30分に子宮口全開となりました。いきみの方法がわからず心配でしたが、スタッフの方の声に合わせ、力を入れる事が出来ました。そして22時30分に出産。子供の姿を見たら、痛みも何もかもふきとんでいきました。順調に出産できた事にとっても感謝しています。先生やスタッフの皆さんに大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

出産前の不安が嘘のように、我が子の顔を見ると心が和み、意気込みが湧いてきます。何もできない私でも、この子の為に頑張ろうと思えてしまう事に幸せを感じています。ふり返ると陣痛や育児に不安を感じていた自分が懐かしく思えてきます。そういう気持ちになれたのは、我が子の幸せそうな顔が見れるのと、病院の先生、スタッフの方々に助けられ充実したお産が出来たからだと感謝感激しています。

予定日より1週間遅れで夜中に破水をし、入院！陣痛が弱いため、なかなか進んでいかず、いつになるのかと心配もしました。昼食をとった後から急に痛みが激しく、はり、腰痛も激しく、スタッフの方が腰をマッサージしてくれ温めてくれ、なんとか子宮口が全開10cm！！
やっと、力を入れてりきめる時が来た！！

主人はお茶を飲ませてくれたり、汗をぬぐってくれたり、「がんばれよ」と声をかけてくれました。3才の娘も昼寝をしていたけど、私の声にびっくり！！とびおきて、主人と一緒に立ち合ってくれました。産まれた時、娘は涙を流

していた様です！きつとお姉ちゃんになった気持ちがあつたんだらうなと思いました。

1人目の時は、予定日より10遅れで促進剤での出産で、苦しい思いをしましたが、今回は自然分娩ができた事は主人も私の両親、主人の両親も喜んでくれました。スタッフのみなさんもとても親切で苦しかったけど、がんばって出産する事ができました。

私はヤナセクリニックが大好きです。

平成15年9月22日 3010gの元気な男の子誕生*

予定日より10日ほど早い出産でした。1人目は逆子出産でいっぱい不安があつたけど、超安産で無事女の子出産。2人目は楽勝(?)なんてことはありません。やっぱりお産は不安でいっぱい。こわがってはいけないと思いつつも陣痛がひどくなるにつれ、不安と緊張up!!でも赤ちゃんががんばっているんだぞと思いつつ、自分自身をほげまし、痛さに耐えながら最後までがんばりました。今回、最もよかつたのは、夫が最後まで立ち会えたこと!!1人目の時は中に入れてもらえなくて、がっかりしていたけど、陣痛がひどい間、腰をさすってもらったり、顔を拭いてくれたり、手を握って励ましてくれたりと心強いものです。赤ちゃん誕生の時には、涙を流して感動していましたよ。それくらい生命の誕生には、何か心にドーンとくるものがあるのでしょうか。へその緒がついた我が子を受けとった時は、生まれてきてくれてありがとうという気持ちでいっぱいでした。それと今回も子宮口全開から14分というまたまた超安産で出産できたのも、助産士さん、幸子先生、看護師のみなさんの励ましがあつたからだと思います。陣痛がひどい間、痛い所をさすってもらったり、温シップをしてももらったり、赤ちゃんがスムーズに出るよう、助言

してもらったりと温かい雰囲気の中、出産することができました。本当にありがとうございました。上の子どもも大切に育てていきたいと思えます。

予定日の9/10より、6日遅れての入院から始まった私のお産！！9/16入院当日は、内診後まだ赤ちゃんは下がってきてないし、子宮口も開いていない状態。

まずは陣痛が起こってくるように、誘発剤を1時間毎に6錠服用してはみたが、痛みが始まらず、1日目はカラ振り

2日目子宮口が開くようにメトロ挿入。夕方ぐらいまでは5分〜10分間隔の痛みがきていたのだが、だんだん引いてしまい、夜になると痛みがなくなりまたカラ振り… 精神的にもどうなるのだろうか？と不安な時に、幸子先生や看護師の皆さん達のやさしい言葉かけに安堵。

3日目に誘発の点滴を10:00〜始めたら、11:00頃から急に痛みが増してきて、間隔がない陣痛へと… 途中鼻がつまってきたらアロマの香りのするぬれタオルを頂き、スーとしました。

陣痛の痛みも、幸子先生、奥村助産師、高野婦長、スタッフの皆様にも助けをもらいながら痛みにも耐える事ができました。けいれんしてきた足をマッサージしてもらいながら、腰の痛い所を押さえてくれたりして、痛みが和らぎました。

何より、皆さんの言葉かけに勇気づけられ、無事に出産できる事ができ、感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

予定日を過ぎて3日目の夜中に最初の陣痛があり、長男を寝かせたまま主人と4時ごろ来院。6時少し陣痛が強くなりLDRへ。音楽を聞きながらアロマのいいにおいで気分もリラックス。子宮口が8cm開いていても陣痛が弱くいきみたい感じもさほど遠い気がしていた。その間ずっと腰や足をアロマオイルでマッサージしてもらい、おかげで痛みも柔らぎ、リラックスできました。しかし、進みが遅くイスに座ってみることに。ようやく陣痛が強くなり、9時破水。子宮口全開に。いきみたい感じも強くなり、痛みも最大。「こんなに痛かったっけ?」「もうだめだ!」「でももうすぐ赤ちゃんに逢える。」という思いで、必死にいきみました。先生や助産婦さんたちが一生懸命励ましてくれる中、赤ちゃんが誕生。元気な産声を聞くことができました。赤ちゃんを抱かせてもらい、「がんばったね。」と言ってあげた。「あれ?長男のときこんな言葉かけてあげたっけ?」となんだか申しわけない気持ちになってしまった。ごめんね。きっと1人めは余裕がなかったんだよね。しばらくしておっぱいも上手に飲んでくれて感激。これも初めて。ヤナセクリニツクの皆様のおかげで無事に出産、回復できたこと本当に感謝しています。ありがとうございました。

平成15年9月25日 AM8:17 第2子出産しました。

1人目の時は誘発分娩で、入院して3日もかかってうまれてきましたが、今回はどうなる事かと、不安でした。予定日も過ぎ、また今回も誘発入院の日を決めてありましたが、9/25 AM2:00ごろより、お腹がにやにやと痛み始め、AM3:00ごろに少し大きな痛みがあったので、起きてみて出血しているのを確認。20~30分おきに痛みがあったので、ヤナセクリニツクに連絡を入れ、10分おきになるまで、自宅にいる事に…。AM4:00すぎ、10~15分おきに陣痛があったので再TEL。AM4:30ごろ入院となりました。

AM7:30ごろまで、痛みは時々大きかったのですが、陣痛と陣痛の間があったため、痛みのない時は、ヘラヘラと笑いながら話しをし、子宮口が全開になっても、まだ生まれる気がしなかった今回のお産。本当に苦しかったのは、最後の40分ぐらいでした。

最後はやっぱり先生やスタッフの方の声がたよりでした。入院してから4時間というスピード出産で、自分でもおどろきでした。

1人目と今回のお産とあまりにも違いすぎて、出産ってその時々で変わるんだなあと思っています。

今回は2人目の出産でした。1人目の時は出産や産後の生活などなかなか想像できなくて、楽しみに思う気持ちもありなかったのですが、2人目だと少し余裕もある為か、もう楽しみいっぱい気持ちで毎日を過ごしていました。予定日の5日前の早朝、トイレに行った後からなにかいつもと違うお腹の痛みが。5分間隔であるものの痛みが弱く、「これが陣痛？」と思って1時間30分ぐらい様子をみていたのですが、ヤナセクリニックへ電話しました。こんな痛みで入院して良いのかなあと思っていましたが、先生、婦長さんから「強い陣痛がきたらすぐ産まれるかもよ」と言われ、びっくりしてしまいました。LDR室に入ってもまだ弱い陣痛で、出産はお昼頃かなあなんて思っていました。朝食を半分くらい食べてアクティブチェアに座っていると突然すごく強い痛みが。先生、婦長さん、看護婦さんに励まされ頑張っていると主人も到着。最後の痛みはやはりつらかったですが、励ましの声に支えられ無事赤ちゃんを出産する事が出来ました。本当に有難うございました。

妊娠中期の検診で逆子と診断され以来、とうとう臨月まで逆子のままでした。体操や外回転術を試みましたが、その
かいなく逆子は直らず。逆子出産の場合、自然分娩だと危険性もあるので安全を第一に考え、帝王切開をすることに
決めました。

「帝王切開になるなんて…」というのが率直な感想でした。安産のため毎日散歩したり運動したりしていたのに。し
かし、気持ちを切りかえて、「もうすぐ赤ちゃんに会えるんだ!」と自分に言いきかせて、その日を待ちました。

手術室に入りよいよ手術開始となりました。全身ますいではなく局所ますいで意識のあるなかの手術です。初めて
の手術、しかも意識もありおなかを切るなんて…。と、様々なことが頭をよぎりました。とても怖がり屋で甘ったれ
の私が手術に耐えられたのは、先生をとても信頼していたこと、そして看護婦さん達の支え、励ましがあつたからこ
そでした。術後の回復もよく、元気な息子にも会えてとてもありがたく思います。

自分が29年前生まれたこの病院で、私自身も出産できたこと、そしてとても満足のいく出産であつたこと・もちろ
ん皆様の支えがあつたからこそです・とても感謝しております。

本当にありがとうございました。また2人目に恵まれたらぜひお世話になりたいです。

予定日が、9/26だったので4日遅れの出産でした。実は29日に誘発してもらう為に、入院の準備をしていたの
ですが、ナントその朝6:30ころにお腹の痛みで起床。便意をもよおすような感じに似ていたのですが何だかスツ
キリせず、波があつたのに気付いて間隔をはかってみると15分ぐらい。陣痛と確信し予定通り来院。すぐにLDR
(洋)に案内して頂き色々と検査をした所、陣痛が来ていて子宮口も5cmぐらい開いてるので様子を見ることに。

その時にはもう5分間隔で陣痛がありました。主人に腰をさすってもらったり、アロマバスでリラックス（オスス
メー！）したりと、15:00ころまでそのように過ごしていました。が！だんだん下腹部の痛みが強くなり、ポ
ロポロ泣いてしまう時もありました。夕食は主人に食べさせてもらったりして、3分の2はどうか食べました。2
0:00すぎになると、いきみたい感じがどんどんまよってきてアロマバスをすすめられましたが、余裕なし××そ
してベットで本格的にいきみはじめました。途中、震えが止まらなくなったり、涙が止まらなくなったりポロポロ。
産む寸前には足をつつてしまい、その痛みもあつて大きな声で「ヤダ〜」とダダをこねてしまつたりと、だいぶ大き
わぎをしてしまいました。21:52、ブジに元気な女の子を出産しました。先生方、ありがとうございました*

9/30 三人目の子を出産しました。予定日がせまってきたもお腹の中のMOMOは（胎児名です）のんびりお
まいなしの様子。でも体重はすでに3900g近かつたで、先生にお願いして9/30に入院となりました。pm1:
00から誘発剤を飲み、1時間経つても反応なし。pm2:00に2錠目を飲んで少し強張り共にと共に体
の中で「ポクン!!」という音がして、アツという間に破水。辺りを水びたししながら分娩台となる畳の上の布団
へ移動。でも畳の上でのお産は初めて。どうしてよいのやらちゃんといきめるかと、とても不安になりましたが、助産
士さん、看護師さんの励ましと助言でがんばることに!!上の子二人の時と同じように立ち会いにも慣れてきた
（?!）主人とスタンバイ。なんとか腹式呼吸を心掛けパママ教室で教えてもらった腰の押さえ方を主人にして
もらったけれど、看護師さんに押しもらうと「キュー！」と気持ちが良い程でビックリしました。その後は主人も見
よう見真似でがんばってくれて、誉めてもらいながらアツという間の3時間30分。大安産で3900gのビックボ

ーイのMOMOMOが生まれてきてくれました。三人目を生む経産婦なのにわがままな私がしつかりお産できたのは、本当に助産士さん看護師さん先生、そして主人のおかげです。ありがとうございます。和室でのお産も思っていたよりリラックスできてよかったです。主人に“へそのお”を切ってもらったのも嬉しかったです。本人は少し引き気味でしたが…

9月26日の朝からおしるしがありました。一旦、夕方に治まったのですが、次の日の27日早朝、腰痛で目が覚め、隣で寝ていたパパを起こして、たたいてもらったりもんだりしたけど全然よくなり、とりあえず病院に電話をして診察してもらったけど、子宮口が1〜2cm位しか開いていなくて一度家へ帰り様子を見ていたけど、夕方4時に再び腰痛がさらに強くなってきたので、病院へ電話して再来院した時にはなんと子宮口が6cmになっていたので、そのまま入院し、そのままLDR室へ行き、アロマバスに入ってリラックスをして20時15分にLDR和室へ移動し、22:10の時点で子宮口が全開になり、パパと力を合わせて22:32に破水し、幸子先生や婦長さんや長谷川さんに助けもらいながら、22:54に赤ちゃんが誕生しました。偶然、9月27日は私の21回目のBirth dayで赤ちゃんと同じ誕生日になりました。

今までで最高のプレゼントをこれからも大切にしたいです。幸子先生、婦長さん、長谷川さん、スタッフのみなさん本当にありがとうございます。

次の子を妊娠した時もヤナセクリニックで出産したいです。

初めてのお産で9月20日の予定日を過ぎると、まわりの「まだ？」の声に不安になってきました。毎日おなかの中の子に早く出ておいでってゆっているのに… 22日の検診で25日に入院して出してもらう事にしました。25日の朝、いつも通り6時に起きるとなんかおなか痛い（少しだけ）と思いながら朝食を食べていると、10分間隔に軽い痛みが！もしかして陣痛？と思いながら今日から入院になるため、家の最終掃除や家事をしていました。たまたま雨のためだんなの仕事が中止になり、1人で入院する予定が一緒に行けることになりラッキー！車で病院へ行く道で陣痛が5分間隔、2〜3分間隔と短くなっていきます。生理痛のような痛みと腰の痛みがどんどん強くなっていきます。病院に9時半頃到着。診察で子宮口は3〜4cmでした。まだまだ痛みは余裕で洋室のLDRへ。ベッドで横になっているとどんどん痛みが強くなってきました（おしりが痛い！）。アロマバスに入ってリラククスをして、お昼の時間ごはんが出たけど食べれなくて、だんなが横でパクパク。子宮口もどんどん開いて、2時間半頃全開になって破水！ここからがもう話しもうできない状態に！やっといきんでいいとゆわれて、いきんでも頭が出てこない！頭が見えてきたとゆわれて、何回かいきんでもうだめ限界〜！つと、頭がもううつとしてきた頃、先生が「あと3回ぐらいいきんだら産まれるよ」その言葉で元気になり、最後がんばれました。大きな頭が出てやつと5時28分赤ちゃん誕生！3715gの大きな女の子でした。9/25は昨年結婚した私たちが入籍した日でした*ヤナセクリニツクのみなさんのおかげで無事出産することができました。本当にありがとございました。

予定日は9月23日。初めての出産でしたが不安は少なく、楽しみな気持ちでいっぱいでした。でも、予定日になっても生まれる兆候はなく、周りの「まだか、まだか？」の声に少しイラツとなったりしていた先生。24日に日付が変わった頃「おしるし」らしき出血！その後、鈍い痛みが出てきて、3時頃から10分間隔の陣痛になり様子を見つ

つ、早朝6時半頃入院しました。午前中はまだ余裕もあり、「呼吸法は大事だし、リラックスしてお産を楽しもつ*」なんて思ってたが、昼からは徐々に強くなる陣痛の痛みに不安になり、LDR室に移る頃にはパニックになっていました。この世にこんな痛みがあったのか！っていう感じで、自分でもびつくりな程取り乱し、叫び… 暴れ… せつかく念願のアロマバスに入れても喜び余裕もなく… でもアロマバスの効果は素晴らしく、それまで開きの悪かった子宮口がみるみる間に全開大に。いきんでもいきんでもなかなか頭が出てくれず苦戦しましたが、17時30分ついに待望の赤ちゃんとの対面をはたすことができました！2745gの女の子* 赤ちゃんは温かくて、何だか幸せな匂いがありました*それまでの痛みもウソの様に消えました。私のお産を支えてくださった先生、スタッフの皆様、家族、そして当日立ち会ってくれたお母さん、そしてそして最初から私の側に付いて痛みを和らげる為、くだらない話をして笑わそうとしてくれたり、腰をさすってくれたり、何度も振り払われようがずっと手を握っていてくれたり、赤ちゃんのへその緒を切ってくれたり、腰をさすってくれたり、頑張ってくれた新米パパ。全ての皆さんに心から感謝しています！そして赤ちゃん！無事に元気に私達のものへ生まれてきてくれてありがとう* みんなで幸せになろうね***

9/26に陣痛誘発剤を服用して出産する為入院。陣痛を待ちましたがあまり進まず、翌日朝、先生と相談してメトロ（風船のようなもの？）を挿入。夜遅くに子宮口は7~8cmまでできていたので、メトロは抜きました。先生が赤ちゃんを調べると、心音は元気なのに、頭がない?!なんと、おなかの中で横向きになっていたのです。先生が何度も外からまわしてくれたけど、向きは戻らず陣痛を止め、今回は諦めて自然に陣痛がくるのをまつことに。

9/28午後退院し、自宅に帰ったのですが、夕方になり陣痛の痛みが…。「薬が残ってんのかなあ…」と思い、し

ばらく様子をみていたら、間隔が10分になり病院に連絡。7分おき位の時点（18:50頃）で入院（上の子がいるのでとりあえず1人で）。陣痛が進むように、ずーっと歩いたり、階段をおりてあがったり何度もしました。ジツとしていると痛みに集中して痛み倍増するので。

そのうちパパもきてくれ、腰を押してもらったり、おしゃべりしたり、「2人で余裕やな」といいながら…でも、子宮口が8cmから長く、痛く、余裕なし！！高野婦長や先生に「イキんで！！」といわれ、何度やっても進まず痛むばかりで「イター！イタイ〜！」の連続。さけんではかりの間、腰をマッサージしてもらい、足もマッサージしてもらい、リラックスできました。イキみなおしもでき、やつと全開。今度は破水せず、陣痛がくる度にイキんで。あまりの痛さにイキむのが怖くなり、かなりくじけて先生と婦長に「どうしよっ…」「もう無理かも…」「何度もいつてました。みんなに「がんばれ！もう少し！」とはげませれ、「ここまできたらやるしかない！！」と思い、何度もイキみやつと破水。（この時、へその緒が首にまきついていたことがわかる。）

この後は、あつという間の出産でした。（この時は、やつと終わつた〜の一言でした。）
本当に本当にヤナセさんで出産してよかったと思います。お母さんと子供を第一に考えている病院だなあと感じます。入院中、先生や婦長はずつとお見かけしたので、いつ休んでいるのか？と不思議な位でした。どうぞお体に気を付けて下さい。もし3人目…ということがあれば、必ずお世話になります。本当にありがとございました。（ps:今回は母乳でがんばります。）

9月30日 第三子男の子を予定日より5日遅れで出産しました。第二子より8年もあけての出産だったので、すっかりお産の事も忘れてしまっていて、受診のたびに先生に陣痛ってどんなでしたっけなど聞き、私もとてもドキドキしながら出産を待っていました。

三人目やから少し予定日より早目に出産かなと思っていたら、予定日が来ても少しも陣痛がおこらず、予定入院の1日前の29日夜に出血で入院。それでも陣痛は始まらず、30日の朝9時より陣痛誘発剤を6錠飲んで夕方破水、7時にやっとLDRの部屋へ。助産婦さん、看護婦さんが経産婦さんやから陣痛始まり出したら早いよーと、何度もはげまされたのにもかかわらず、とつてもとつても長く、思わず「まだー」と叫びたくなるほどでした。

LDRの部屋でももうがまんしきれず、わがままな出産をさせていたのにもかかわらず、ずーっとやさしくはげまして、私のわがままを聞いていただき、体のマッサージや呼吸の仕方等、私のお産の為に全て私のしたい通りに手助けしてください、本当にありがとうございます。第三子が私には一番大変だった様な気がするお産でしたが、一番すばらしいお産だったと思います。先生、助産婦さん達には心から感謝しています。まあでも、頭が大きく、へその緒も1回巻いてきて出てきた赤ちゃんにドつとつかれました。でも、みなさん（家族含めて）、赤ちゃんにも「ありがとう」！！

私の予定日は9月26日でしたが、予定日が過ぎてても陣痛もくる気配なく、毎日まだかまだかと思い、お腹も日に日に大きくなってくるし、だんだん不安になって『陣痛促進剤』を射たれる覚悟をしていましたが、予定日から4日後の朝出血し、病院にTELし、午前10時過ぎに病院に入りました。診察を受け、破水もしてる事が分かってそれが

ら最初は生理痛の重いみたいな感覚がきて、赤ちゃんに会えるのは今日に会えるのかなあー？と、それとも深夜までかかるのかと思いつながら、陣痛の幸せを感じていたら、だんだんとそれどころではなくなり、ベットの上で横になっているより、立って壁や椅子に掴まっている方がその痛みに耐える事ができました。子宮口が7cmくらい開いた時がとても辛かったです。それからもう便がとてほしい感覚がき、その感覚が最大限になった時LDRに移動し、婦長さんがそばで一生懸命はげましてもらって、産まれてくる手前で院長先生も来て頂いて、主人と自分の母親と主人の母親とも立ち会う中で、3495gの初めての男の子を出産する事ができました。ヤナセクリニツクのスタッフの皆さま、院長先生、婦長さん、ありがとうございます。痛みはとても辛かったけど、赤ちゃん産まれた瞬間の感動は。。。

女性に産まれてきて本当によかったと思いました。

これから出産を迎えるママの皆さま、色々不安もあると思いますが、院長先生、婦長さん、看護婦さんを信頼して下さい。とても親切で病院っぱくなく、出産後のアロママッサージは格別です。

出産予定日8日前、おしるしと一緒に破水らしきものがあつたので、連絡をしたらすぐに入院ということになりました。陣痛が10分間隔になったら入院という意識しかなかったのが、ちょっとびつくりしました。陣痛はまだ1時間に1・2回程度。破水したら陣痛も起こってくるとは聞きましたが、丸1日たってもこなければ、お薬を使っていこうかという話も聞いて、ちゃんとするのか心配でした。

でも、夜横になって寝始めると、しつかり定期的に陣痛が来て安心しました。

出産や痛みに対して不安はなかったつもりが、段々と痛みが強くなるにつれ、「どうしよう！耐えられるかな！？」という気持ちに変わってきました。

5分置き位の陣痛にあつてからLDRへ移り、破水をしていた為足湯をしました。あたたかくて気持ちラクになりました。主人と両方の母がそばにいてくれたので、落ち着いた気持ちでいられました。そして何より助産婦さんがいてくれたのが安心出来ました。専門の人がいてくれるのが1番心強かったです。

勿論、主人や母たちがいてくれるの上ですが。出産が近づくと周りの事など考えている余裕などなく、ただただ必死でした。いつまでこの痛みが続くのか！という不安と、主人の手を握る余裕もなく、ただひたすら頑張るのみ。

破水していたせいもあり、分娩所要時間は11時間弱という早さで無事出産することが出来ました。その時は充分時間が長く感じられましたけど。

自分が産んだという喜びよりも、周りが喜んでくれている事が幸せでした。

やっぱり周りの人は大切です。ただひたすら頑張って下さい。どんなに痛くてもつらくても、必ず産まれてきますから。何も考えず頑張る事です！！

2003年10月「出産

38週の検診で、初産にもかかわらず子宮口が4〜5cm開いているとDrから教えてもらい、そのときの推定体重が3400gを超えていたため、「早く陣痛きてくれ」と願っていたけど、予定日の4日前おなか張るのに生理痛のような痛みを感じ始め、10〜20分間隔と不規則ながらも回数が多くなってきたので、ヤナセクリニックに指示を仰いで入院。その時、子宮口は6〜7cm開いていたけど、オレンジの香のアロマバスに入浴させてもらい、痛みも強くなかったため病室で2時間程眠る余裕があったけど、朝には9cmまで子宮口が開き、陣痛とはつきりわかるものが5分間隔で来るようになった。早く産まれるのかと思っていたけど、それからが陣痛の間隔が5分から縮まらず、辛い長い時間でした。赤ちゃんはゆっくりと確実に下りてきているのがわかり、本格的にいきみ始めてから3時間ほどかかりましたが、赤ちゃんの髪が見え始めて痛みにはパニックになりそうな私をスタッフの方の指示に合わせて力をふりしぼった時、スルツという感触とともに赤ちゃんの産声が響きました。その後は産声を聞たびに涙が溢れてきて、立ち会ってくれた夫や義母も泣いて喜ぶ姿を見て、今まで感じたことのない感動でした。微弱な陣痛の間も懸命にがんばった我が子と先生、助産師さん、婦長さんおよびスタッフの方々、立ち会ってくれた夫や義母に感謝したい気持ちでいっぱいです。

これからママになる方へ。出産に対する恐怖もあると思いますが、お腹の赤ちゃんもママに会いたくてがんばっています。スタッフの方を信頼して悔いのない素敵なお産になるといいですね。

無事に出産することができ、今は色んな方に感謝の気持ちで一杯です。ずっと逆子だった私のわがママを本当に幸子先生をはじめSTAFFの方は嫌な顔ひとつせずに、色々聞いて下さいました。

逆子であつても下から産みたい… という希望だった私には10/6に入院。陣痛誘発剤を服用。しかし陣痛には至らず。10/7の2回目にメトロ口を挿入。夕方位から痛みがかなり強くなるものの、これも陣痛には至らず。結局10/8昼から帝王切開することになり、14:10、無事男の子を出産することができました。注射をするにしても、とにかく痛いことが大っ嫌いな私を婦長さん、STAFFの方は麻酔の注射の時から、手術がおわり抜糸するまでいろいろと気をつかってくれて、優しい言葉をかけてくれ、とても安心することができました。

今回初めての出産の上、逆子ということでも不安でしたが、色々わがママをきいてくれて、きちんとかかるように説明してくれて、はげまし優しい言葉を入院中ずっとかけてくださった幸子先生、入院前からずっと気を使って言葉をかけてくださった婦長さん、誘発の2日間の夜中、痛みに耐えられない私の腰をさすってくださいくださった森中さん、入院中、昼夜共に声をかけてくれたり、気にかけてくださったSTAFFの方には、本当に感謝感謝です。この病院で出産してよかったな〜と。これから赤ちゃんががんばっていいことと思えるのも、ここの病院のSTAFFの方のおかげだと思います。本当にありがとうございます。

今回2人目の出産。予定日が1人目と同じなので、同じ日(予定日の3日後)に産まれたらいいのになと思っていました。でも、予定日がきても1人目の誕生日がきても、全く陣痛のくる様子がなく、少しあせってきました。40週4日の検診で、子宮口が3cm開いていました。41週に入っても産まれなかつたら入院することになっていましたが、検診をした日の夜AM1:00に腹痛で目が覚め、その後15分から急に10分、5分間隔になり、急いで病院

にTELしてAM3:00に入院。子宮口は7cmに開いていました。LDR室(和)で、アロマの香り、音楽、そして婦長さんのマッサージでもリラククスしながら、あぐら座の体位でAM6:20、子宮口が全開しました。その後、数回いきんだら袋が破れ、頭が見えはじめ、途中で頭がひっかかった状態になり、なかなか出てくれなかったのですが、先生がお腹をおして下さり、何回かふんばって、AM7:00 3878gの大きな男の子を無事出産しました。

ヤナセクリニックでの出産は今回が初めてで、分娩台ではなく、和室での出産でうまく産めるのだろうか…と、不安もありましたが、1人目の時とは全く違って、とても楽に、自然にリラククスして出産することができました。幸子先生、婦長さん、その他スタッフのみなさんがとてもやさしく接していただき、ヤナセクリニックで出産して本当に良かったと思っています。ありがとうございます。

予定日まで、まだまだ時間があると思っていたのに、17日も早くに、ん(!?)もしかして…と。破水したかわからないまま入院準備をして病院へ。まさか、まだ産まれないだろうと笑いながら来て、1時間後には陣痛も強くなり、結局、あつちゅうまに出席。分娩時間3時間26分とは、自分でもおどろきました。いきむ時は本当に便をしている感じだった。

お腹の中に赤ちゃんがいる間は、とにかく健康的、普通に生まれて来る事を願っていて、普通に手足があつて生まれて来た赤ちゃんを見て、涙が出る程嬉しかったのを今でも覚えています。

生後2日目頃から、少しずつお乳が出始め、3日目にはお乳をしばり出して捨てる程はってきました。寝たり、歩い

たりするだけでお乳が痛くて大変でしたが、婦長さん、看護婦さんがマッサージやアロマのシップをしてくれてすこく助かりました。

自分では思いもよらない事ばかりだったけど、周りの助けがあったから赤ちゃんと共に、今の時間があるんだとすこく感謝しています。今はまだ考えられないけど、もし2人目が出来たら、また柳瀬先生にお願いしたいと思います。本当にこの病院で出産出来た事を嬉しく思います。

10月23日の予定より、約1週間早く15日（水）に出産しました。

実は出産する前日、妊娠検診で先生に『陣痛の前兆らしきものはないです』と断言した私。

ところが、次の日の明け方に生理痛の様な痛みがあり、AM8：00頃にはおしるしが…。でも、おしるしが来ても2・3日なまだ産まれないよと聞いたので、様子を見ることにしました。

ところが、AM10：00頃には20分間隔の陣痛。そしてAM11：00頃には、15〜10分の間隔になってきたので、ヤナセクリニツクに連絡をしました。

到着後にはなんと子宮口が9cmも開いており、よく耐えたねと言われました。お産はまだまだと思っ
ていましたが、即LDR室に入ることになり、その時の子宮口は全開になっていました。

痛みも辛かったけど、約5時間25分という超安産で、我が子を抱きしめる事が出来ました。この感動は一
生忘れられません。院長先生をはじめ、高野婦長、スタッフの皆さん、そして私を励ましてくれた家族、
友達の皆、本当にありがとうございました。

私のお産

10月3日が予定日 だったのですが、まったく産まれてきてくれそうになく、8日に入院。毎日ドキ2しながら予定日をまっていたので、8日の入院の時には不安でい

と陣痛。スムーズにいかず、最終、帝王切開にしてもらい、やっとベイビィに会えました。

LD Rに入ってから、コーンとパニックでもういっぱい2の時には、みんな勇気づけてくれたり、マッサージしてくれたり、先生と看護婦さんたちにはすごくよくしてもらい、手術後にもおおげさに痛がる私に、すごくいいねいにしてもらいました。ので、かんげきだ。

この病院を選んでほんによかったです。
ほんとにほんとにお世話になりました。

ありがとうございました。

予定日がきてもなかなか陣痛がこなかったため、入院することになった。入院して2日目、待ちにまつた陣痛だったけど、一時間ごとに痛みが増して予想以上に苦しかった。でもやっと赤ちゃんに会えるという嬉しい気持ちもあった。ヨーガで教えてもらった呼吸法に集中し、少しでも痛みがなくなれば…と、パパと二人で「フーフー」と呼吸をしていた。腰の痛みはすごかったけど、呼吸に集中したためか、少し痛みがやわらいた気がした。陣痛がひどくなってきた時、アロマバスに入った。陣痛と陣痛の間、とてもリラククスでき、腰の痛みも消えた気がした。お風呂からあがると、子宮口は8〜9cmもひらいていて、すぐにお産となった。お産はヨーガでの呼吸法がうまくでき、スムーズに進んだ気がする。思ったよりも早く赤ちゃんができてくれて、パパと感動しました。一週間待ったかいがあり、

とても元気な赤ちゃんが産まれてきてくれて、すごく嬉しいです。これからパパとママと協力して楽しく育児をしていきたいと思います。

2人目だというのに、予定日を過ぎてはまだ気配なし…。そして予定日を2日過ぎた10月22日、その日も朝から気配がなく友達とランチに。昼からは少し動いた方がいいかと思い、スーパーで1時間くらいお買い物。家に帰ってきて横になったら眠ってしまいもう目が覚めたら5時でした。少しおなか痛いなど思いつつも、6時からの検診の為に主人と息子と病院へ…。すると待ってる間にどんどん痛くなり、そのまま出産となりました。自分も周りもビックリするくらいのスピード出産でしたが、2才の息子も主人にも立ち会ってもらえて、よかったです。また、今回は婦長さんのすすめもあって和室のLDRを希望して本当によかったと思います。看護婦さんや家族との距離が非常に近く、とても安心することができました。いくら短くても陣痛は陣痛。すごく痛かったけど、看護婦さんたちのマッサージややさしいはげましでリラックスでき、本当に感謝しています。ありがとございました。

予定日まで順調に経過しましたが、予定日を過ぎては陣痛が来ず、41週に入り、入院して誘発することになりました。内服薬で陣痛起こらず、2日目風船(メトロ)挿入しても陣痛起こらず、そのまま3日目となり、朝4時に陣痛があり、子宮口も開いてきていました。自然に胎児が下がってくるのを待ち、アロマバスに入浴し、痛みをやわらげるため、リラックスしたり、夫にマッサージしてもらったり、ホットパックをしました。午後2時頃から、陣痛3〜5分間隔となり、LDR(洋室)へ入りましたが、子宮口が8cm程しか開いておらず、トイレでいきむことになり

ました。

陣痛が3〜5分間隔のままだったので、点滴（促進剤）をしながらの出産となりました。いきんだ後はすごく暑くて汗ビツショリ。でも、すぐ寒くなってふるえてました。足のつけ根や腰、お尻はとても痛いし、夫、母、スタッフの方、先生にはげまされ、マッサージしてもらいがんばりました。とてもえらくて、途中でもうやめたいと思ったけど、最後まで自分の力でやらなくてはいけなかったのでつらかった。みんなのはげましがなかったら絶対無理だったと思います。出産時間が18時間を超えていたということでビックリしました。この出産を乗りきれて、先生、スタッフの方、家族にとっても感謝しています。

2003年11月「出産

予定日は11月1日。何の兆しもなく、妊婦健診へ。「まだカナー」という先生の言葉にPapaさんがっかり。「早く出てきて欲しい」というPapaさんの希望で、4日からの誘発入院をえらびました。

…しかし4日のお昼ごろから飲み始めた誘発剤では、まったく陣痛おこらず…。夜中に少し痛い気がしたけれど、5日の夕方からおそってきた陣痛とは比べものにならないモノでした。痛いのがとおのいている時は、にが笑いのPapaさんを横目でニラみ、山口さんにもんくタラタラ状態。腰をマッサージしてくれた姉ちゃんも、ばっちりまきこまれ…。お腹の中で「ぶちっ」と音がして破水してからは笑い余裕もなく、ひたすらさげびまくってLDRへ移りました。「早く来てほしいなあ」と思った陣痛だったけど、足のつけ根はとれるほど痛いし、腰もぬけそうだし、早く産まれることを願って、子宮口全開を首を長くして待ちました。でもなかなか開いてくれない子宮口と激しすぎる痛みにたえかねて、姉ちゃんに「もう全開したってコトにしていきませてえ〜！」とわがままをゆってみたけど、とうぜんのごとく却下されました。やっといきめるようになって、婦長さんの顔を見たたん安心して陣痛の間に眠気少々、でも痛い。何回かいきんだ後に先生登場！あとちょっとなんだ！と思つてとにかくがんばっていきましました。ズルツと産まりました。めちゃくちゃ痛かったけど、めちゃくちゃカワイイ*無事に産めたのも、先生・婦長さん・山口さん・姉ちゃん・STAFFの皆さんのおかげです!!!本当に感謝・感謝の気持ちでいっぱいデス。ありがとございました!!!Papaさんも本当にごくろつ様でした*

初めての出産でかなり緊張。陣痛が始まった頃も、「腹痛だろう。」と、陣痛とは気付かず余裕でいたのですが、数時間が経つてようやく「いつもと違うぞ。」と認識。バタバタと入院の準備をし病院へ。今思えば、この頃はまだ余裕あり。でも自分の中ではどんどん緊張していくのを感じていました。主人と冗談を言い合っていたのが、いつの間にか痛みのせいで会話もつらくなり、自分のことしか考えられない状態に。アロマバスでリラックスし、1時間もずつと付き添って腰をさすってくださいましたスタッフの方には本当に感謝しています。おかげで陣痛もすすみ、子宮口も開いてきました。痛みが激しくなり、わけも分からずとにかくいきみたいという気持ちを押さえられず、呼吸もままありませんでしたが、助産師さんの頼もしい励ましのおかげで「痛いのは自分だけじゃなく、赤ちゃんも一生懸命がんばって出てこようとするんだ」ということに気が付き、今まで体験したことのない痛みと混乱を乗り越えることができました。「オギャー……！」というとても元気な声と羊水まみれの赤ちゃんを見た瞬間、体中の力が抜けて頭の中が真っ白になりました。神秘的な我が子の姿に感動の嵐。ずつと隣で支えてくれた主人、母、スタッフの皆さん、そして生まれてきてくれた赤ちゃん、本当にありがとうございました。

予定日の朝10時頃、破水がはじまって11時入院。子宮口が5cm開いていますと言われて1度病院へ。お昼を食べて体力をつけなくちゃ!と思ったけど、何ものどを通らない。そのうち熱がどんどん上がってきて前身すこい汗!じつとしていることができない状態が2時間続きました。その間、母親が私の腰をずつとさすってくれました。「これはいい痛み。赤ちゃんがんばってるんだから。」と思い、2時に内診を受けたら子宮口全開!!「えっ!?!」とみんなびっくり!2時42分に無事2890gの元気な男の子が産まれました。2時すぎに到着したパパと共に赤

ちゃんの出産を聞くことができ、よかったです。6日間の入院中には出産後の赤ちゃんケアについて本当にたくさん
のことをナースの方たちから教わりました。だっこ、母乳とミルクのこと、お風呂、おむつなど……。その中で一
番苦労したのが母乳です。夜の母子同室、これはまさに不眠不休で体力よりも気力のほうが持ちませんでした。出な
いおっぱいを無理に飲ませてしまったり、おむつを必要以上にとりかえて赤ちゃんが寝られないっ！そんなとき
ナースコールを押すと若いベテランの方が困っている私にいろんなアドバイスをしてくれました。出産して2、3日
後にアロママッサージを受けた後から、体の緊張がほぐれて以前よりもリラックスした気持ちで赤ちゃんに接するこ
とができました。幸子先生、ナースのみなさん、掃除、食事等お世話になったみなさん、本当にありがとうございました。

私のお産は超スピード出産でした（笑）いや、それはもう早くて、病院についてから30分程で。着いた時点で子宮
はずでに9cm開いていたらしく、本人もびっくりでした。ずっとお腹は痛かったものの、予定日までまだ18日あ
ったので、陣痛とは疑いもせず痛くなったらガマンしてました。

でも今思えば、あそこまで痛みを普通にガマンした私って結構スゴイのかも…なんて思ったり（笑）けど、本当にあ
つという間に産まれたので、パパも私もしばらくは実感わかなかったなあ。LDRから病室に2人移動した時とか。
次に赤ちゃんにご対面したらじわじわと実感しましたけど。ものすごい痛みを乗り越えて、産声を聞いて我が子と初
めてご対面。この瞬間というのめかなり感動ですが、その後一晩休んで改めて我が子と向き合う瞬間も、じわじわと
感動して胸いっぱい気持ちになります。赤ちゃんだけでみんなかわいいですけど、やっぱり自分の子は愛ら

しさも格別です。10カ月近くお腹の中で大事に育てた赤ちゃん。やっと私もママになったんや…と思うと、ウルウルきます。初めての子育てで不安もいっぱいありますけど、パパと一緒に愛情いっぱい注いで頑張って育てていきたいと思います。

初めての出産で予定日前からドキドキしながら陣痛が来るのを待っていたのですが、予定日をすぎてもなんの兆しもなく、予定日の4日後の朝おしるしらしきものが！！

健診の予約をしていたので、午前中に病院に行ったところ子宮口が1〜2cm開いてきているので近々お産になるでしょうと言われたのですが、予定日を過ぎていて心配だったので、次の日に入院することにして、その日は家に帰りました。

入院の準備をし、12時すぎにベットに入ったのですが、生理痛のような痛みが。時間を計ると15分間隔で、2時頃には10分間隔に、朝まで待つて7時頃病院に到着。子宮口はまだ2〜3cmしか開いていなかったため病室で陣痛が強くなることを待つことに。

なかなか陣痛が強くなかったのですが、アロマバスに1時間入った所、子宮口が5cmから一気に7cmに！！LDRに入ってから順調にすすんでいるかにみえたのに、子宮口が9cmからなかなか全開になつてくれず、結局出産までに27時間もかかってしまいました。

途中何度も「もうダメ〜」と弱音をはいてしまいましたが、夫や母、スタッフの皆さんのはげましでなんとか出産することができました。本当にお世話になりました。

私は今回、2人目の出産という事で、陣痛が来た時も気持ちに余裕があり、出産したあーっという実感があつたお産でした。病院に着いたら、すでに7cmも子宮が開いててびっくりしました。陣痛の間も高野婦長と柳瀬先生とお話が出来たくらい余裕がもてて、頭や体がゆっくり出てくるのをリアルに実感出来ました。アロマオイルマッサージをしてもらっている間なんかは、気分もリラックス出来てすごく落ちつきました。そんなこんなで、私のお産は1時間半で終了してしまいました。あつという間のお産の中にもアロマの香りや先生達との会話など、元氣や勇氣をもらいながらの充実したお産をする事が出来ました。本当にありがとうございました。

やっぱり自分の子は心からカワイイと思います。自分が頑張つて産んだ分、抱っこすると落ちつき、安心しますね。男の子でも女の子でも生まれたての赤ちゃんは皆最高にカワイイものですね。幸せいっぱいです*ありがとうございました。お世話になりました。

子宮筋腫があつたせいか、逆子がずっと直らず、無理に直す事もやめ帝王切開での出産となりました。

手術日が決まっていたので、その日が来るのが待ちどおしいやら不安やらで、毎日があつという間に過ぎて行きました。

手術当日、パパをはじめ、私の父、母、姉に見送れながら手術室へ。いよいよ産まれるという期待と手術への不安で、かなりの興奮状態になってしまい、スタッフの皆さんには本当に迷惑を掛けてしまいました。でも、私の手をずっとにぎってくれたり、頭の上では婦長さんが励ましの言葉を掛けてくれたりと、みんな本当に優しくして頂きました。そして午後3時49分、待望の女の子が誕生。麻酔と痛みで少し意識がもつろつとする中でも、元氣一杯な産声を聞いた瞬間、涙があふれて仕方ありませんでした。

麻酔の効きがあまり良くなく、痛みを伴う手術となりましたが、産まれてきた我が子は可愛くて可愛くて仕方ありません。

LDRでのお産や、パパの立合い出産など、叶わなかった事もたくさんありますが、それでもヤナセクリニックで産んで良かったと思います。術後回復するまでに時間はかかったけど、いつも笑顔の院長先生、婦長さん、看護婦さん達のおかげで頑張って行けたと思います。本当にありがとうございます！！

何度か前駆陣痛はあったものの、予定日を過ぎてしまい、誘発入院になるのではと少しずつ焦りを感じていました。すると予定日4日目におしるしがあり、翌日の夜遅くから本格的な陣痛となり、痛いながらもほっとしました。翌朝4:00すぎに入院したとき子宮口は5cmに。6:00ころからだんだん陣痛の間隔が短くなり、8:00ころLDRへ移動。私の場合、ベットよりもタタミの方が家族にも寄り添ってもらえて落ち着くと思いい、和室を希望。陣痛が強まっていったときはあぐらをかいた姿勢で後ろから腰をマッサージしてもらったら痛みもかなり和らぎました。和室の平らな布団の上でどうやっていきむのだろうと不安もありましたが、背中の下に大きなクッションを入れ、仰向きで脚を開き、足の裏をスタッフの方が左右両側から支えてくれたので、うまくいきめました。

またピクスで使っているディスクを腰の下に入れてもらったので、骨盤を上向きにするのに役立ちました。途中、深呼吸がうまくできずに酸素吸入を受けたりもしましたが、昼12:00すぎに無事出産しました。産まれたばかりの赤ちゃんを横になったまま抱かせてもらったときは、うれしさと安堵の気もちで思わず涙が出ました。先生はじめ、スタッフの皆さんがお産の間ずっと声をかけて励ましてくれ、タタミの上で寄り添っていてくださったおかげで、と

でもリラックスして産むことができました。ほんとうにありがとうございます。LDRですつと立ち合いしてくれた夫にも感謝しています。

2人目の出産なのに、予定日を過ぎて陣痛がなくなって入院。薬を飲んで陣痛をおこさせるのは初めての経験で、不安でいっぱいでした。前日は、心配で寝れない状態でした。その日の朝、病院についてから昼前くらいから薬を1時間1錠ずつ飲み、うろつろと陣痛がくるのを待ちました。5錠目ぐらいを飲んだ時に痛くなってきて、6錠目にはもう痛みがあり苦しかったです。

自然にくる陣痛よりも痛くて苦しかったです。夕方には破水もしてだんだん怖くなってきて、看護婦さんを選んで呼んでもまだ子宮があんまり開いてなくて×××でも、陣痛は強くなってきてたのでLDRにうつって、それから早かった。もうガマンできなくなってきたばっつてしまい、早いスピードで産まれてきました。赤ちゃんの顔を見た瞬間には涙が止まらなかった。

2人目出産だった今回、予定日の5日前にいつもより頻繁に張りを感じて夜病院へ行ったら、子宮こつがフワフワにやわらかいからこのまま入院してと言われて入院。

でも陣痛が大きくならずにいつの間にか朝！しかも痛くない…(アレッ!?)

陣痛を助ける薬を飲む事になって、6回目を飲んだすぐにお腹の中で『コンコン』とノックされるような音で破水。それまでそれほど痛くなかったお腹が急に痛

い。

そのまま分娩室へ運ばれて約19分で赤ちゃん誕生。ビックリするくらいのスピードであれ！？って感じだった。

1人目の時とは大違いでまわりのみんなもビックリ。

初めての和室での出産、体のかたーい私でもすんなりお産が出来てよかったです。和室のほぅがイキみやすいと思いました。スタッフのみなさん、ありがとございました

妊娠中のトラブルが特になかった為、安定期になってもいないのに海外旅行へ行ったり、引越しをしたり妊婦失格？でした。それでもお腹の赤ちゃんは順調に育ってくれ、胎動を感じた時はすこくうれしかったことを覚えています。

予定日の1カ月前から里帰りでお産をすぎたせいか、予定していた体重より5kgも太り、これにはビックリしましたが、「出産してからダイエットだー！」と聞き直り、食事調整もしませんでした。

こんなダラダラなマタニティライフを過ごしていた私に突然のハプニングが！それは破水でした。予定日より早かったので、余裕でかまえていたのに…

でも、今思えばこれが良かった気がします。ドキドキ感もなく入院し陣痛が起こり、いざ分娩台へ！スタッフの方の「赤ちゃんも頑張ってるからね」の言葉に励まされ、無事出産。

10カ月が長かったような短かったような…

これからは赤ちゃんと共に母親として成長をしていかなければ！

4年前の1人目同様、今回もこちらにお世話になりました。

2人目という事もあってか、陣痛も楽な感じ(?)がしましたし、時間もあつというまにすぎたような気がしました。そして今回は和室のLDRでの出産となったので、前回とちがい、すこし不安もありましたが、特に大きなちがいはなく、何よりスタッフの皆さまに助けられ、無事に出産できました。

1人目出産後は住所が変わり、今回、かよう(健診に)には少し遠く、近くで産院を探そうと思いましたが、1人目同様何よりも信頼できる先生とスタッフのもとで出産したいと思い、又、こちらにお世話になりました。本当に、ありがとうございました。

今回2回目のお産だったのに、予定日を過ぎてもなかなか陣痛がきませんでした。

1週間経っても何のおしるしもないので入院になり、1時間に1錠ずつ6回薬を飲みました。

2回目も同じように6錠飲んで何の痛みもないので、6錠目を飲み終わった後に点滴を始めて、少ししたらお腹が痛くなり、その痛みがだんだん強くなり、時間の間隔も狭くなってきました。

1人目は陣痛がきてから35時間もかかったので、今からこの痛みが何時間も続くの力ナ?と思ったら、「あつー!」と言つ間に子宮口が8cmにまでひらいていき、すぐにLDRに行き、お産となりました。1時間と言つ超安産だったのに、痛さに耐えられなく大声で叫びました。

LDRでは、幸子先生をはじめ多くの看護婦さんが優しい声をかけて頂き、すごく心強かったです。こんなに温かく優しい先生、看護婦さんだったので私も無事出産を終える事ができ、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

11月12日、予定日を1週間すぎ入院しました。1日、2日といっこうに心配がなく、生理痛のようなものに1日苦しんで、3日目もおなかを切っても産みたい!!というより出したいと思った。先生から「今日中に産みましよう」と言われたときは、やっと楽になれると安心しました。朝食のあと点滴がはじまりLDRへ。ところが昼になっても夕方になってもなかなか産まれてこない。色々とマッサージしてもらったり、声をかけてもらったりするのにイライラしてしまつて、当りちらしたりしてしまつた…。同じ日、となりのLDRでも出産があつて、夕方ぐらい赤ちゃんの声がかきこえてきて、「なんで私は？」とか、余計にあせつてしまつた。少しずつ微妙にしかおりてこないBABY。何度も足をひらいて呼吸をととのえていきむけど進まない。入院してからほとんど食事も睡眠もとれなくて、ふらふら。夜8時すぎくらい破水した。心配で何度もSTAFFの人にたずねたけど、BABYは相かわらず元気。私はもう死にそうなのになんで??10時すぎくらい(?)付きそつていた母が見かねて帝王切開をおねがひしたが、「切らずにがんばろう」とはげまされ、そのままいくことにした。先生の「赤ちゃんもがんばっているから」の声ももうほとんどきこえていなかった。12時をまわつたくらい、少し出てきたBABYの頭をさわらせてもらったとき希望の光がみえた。再び「がんばるぞ!!」と気合いが入つた。そして頭が全部出たのをみたとき、もうこれが最後と一気に入きました。12時53分。うれしかった。かわいかった。次の日陣痛が弱かつたこと、BABYが大きかつたこと、あと行儀がよすぎて骨盤をとおりづらかつたこと、色々と悪い条件がそろつていたようで、35時間33分、こんな長い時間、遅い時間、一生けんめい処置をしてくださった先生やSTAFFの方々にとても感謝しています。最後までがんばつて元気に産まれてくれたBABYに(ごめんなさい)一番に感謝します。

予断ですが、「痔」になりました。出産後すぐビデオカメラ持参で入つてきた夫に「阪神の痔ができた」と何度もいつた気がします。1日、2日とたつうちなぜ「阪神」なのか???よく考えてみました。それはあまりに微妙にしかおりてこないBABYに、「トイレで座つていきむ」をためしたときです。多分(おそらく多分)「六甲おろし」を口

ずさんでいたような気がし、そのあと指にふれた「痔」がなんとなく虎じまに見えた（実際はさわっただけ）気がしたことが原因だと思えます。もう死ぬ思いだった私にとって、まさに7回の攻撃前、ジェット風せんが飛びかっっていたんだと思います。

まだ痔は痛いです。でも娘が将来虎ギャルになってしまったら、もつとイタイと思えます。

H15.11.13（木）の朝7:00腹痛で目が覚めた。でも、ジンツウだとは思わずそのままベットに横になっていた。AM9:00腹痛が強くなり、5〜10分おきに痛みがあったが便ぴかげりかと思いい、実家で痛みをガマンしていた。AM10:00頃になり、実家の母が「ジンツウかもしれへんから、とりあえず病院に行こう!」と言いい出した。その時はお腹がかなり痛かったので、「とりあえず病院に行こう!」と思いい、母にヤナセクリニックへつれて来てもらった。そして外来でジンツウで子宮口は5cm開いているので入院です...と言われた。

前日の11.12（水）のケンシンでは「予定日（11.14（金））を過ぎたら次週に薬を使ってジンツウをおこしましよ」と言われていたので、まさか次の日にジンツウがくるとは思ってなかった。

そして初めてのお腹の痛みから約8時間で3650gの大きな女児を出産!!初めてのお産だったが、けっこうスピードが早かったので、あれこれという考えるヒマもなく、ただ痛みにたえていたらいつの間にか出産できていた。妊娠中はいろいろな不安がその都度あったが、元気に産まれてきてくれた我が子に感謝!!1人目の子は焼く3ヶ月で流産だったので、その子の分まで生まれてきてくれた子には幸せになってもらいたいと思う。ヤナセ先生や看護師さん達には妊娠が分かった時から退院まで本当にお世話になった。ありがとうございました!!

私の出産予定日は11月10日だったんだけど、10日に検診に行ったらけれどまだ子宮口は1cmぐらいしか開いてないと言われて…。でも赤ちゃんの体重がだいたい2700gちょっとという事で1週間普通に陣痛が来るのを待つことになったんだけど全く気配がなく、結局17日の朝から1時間ごとに1錠ずつ薬をのんだんだけど、6錠飲んでこれでもまた気配がなく…。17日の日は陣痛は来なかった！で18日になって、朝5:30ぐらいからナプキンにドロツとした血液が。あせって看護婦さんに見せに行ったら子宮口がやわらかくなってくると出てくるよと言われ安心してたら、じわじわ痛みがやってきました。でもまだまだ元気で普通にしゃべったりしてたら朝9:00ぐらいからけつこう痛み出し、10:00にはやばいくらい痛くなってきて看護婦さんを見てもらったら子宮が8cm開いていて…ビックリ!!

できればくしてLDR室に移動をしてアロマで腰をもんでもらったりして大分リラックスできました。それから頑張ってお昼12:58に無事出産*

陣痛の痛さは忘れられないけど、我が子を見ていると本当に幸せです!!メチャかわいいです*初産で6時間ちよいで安産で産めたので本当によかったです。先生、スタッフの皆さんありがとうございました!!

予定日を1週間過ぎた検診の日、「多分、誘発になるんやろつなあ」と、思いながら病院へやってきました。案の定、先生から「どうする?」とのこと。できたら自然に陣痛が来て欲しかったのですが、1週間も過ぎてくるとさすがにまわりの声も気になってきて、「マダ?」と言われるとあせってきていたので、思い切って誘発してもらったにしました。連休前だったので、ちょうどダンナ様も休みだし、ちょうど良いということで次の日から入院。まずは薬で誘発開始しました。が、なかなか痛くならない!!!張りはあるのですが、全然痛くない!1日目は終了。2

回目、朝から6回薬を飲んでダメ！結局、点滴開始。開始後2時間、なんだかお腹がやばくなってきたーっと思っ
ていたら、急に進んで3時間後には子宮口7〜8cmに。LDRに移って2時間で産まれてしまいました。超早くて
ビックリ！この世のものとは思えないくらい痛くて、しんどかったですけど産まれてきた我が子を抱いた瞬間、充実
感と幸福感でいっぱいになりました。母親になり、これからがんばっていかなきゃという気持ちでいっぱいです。先
生をはじめ、スタッフの皆様本当にありがとうございました。2人目もぜひお願いします。

予定日のちょうど一週間前、11/22の朝4:30に腰の痛みを感じAM6:30に入院、一時間後のAM7:2
9に3485gの女の子を出産しました。

二人目の出産なので、きつと早いだろうとは思っていましたが、想像以上のスピードでおどろきました。LDR洋に
主人と上の子いっしょに入りましたが、出産直前になっても主人の立ち会いの決心がつかず、結局外に出てもらい先
生、婦長さん達の励ましの元、安心して元気な子を産むことができました。
本当にありがとうございます。

今回の妊娠は予定外で、上の子にまだ手がかかる事もあり、妊娠がわかった時は正直、動揺していました。最初の検
診の時、判定薬で陽性がすでに出っていたので悩みながら、不安な表情で診察室に入っていた私を幸子先生は満面の
笑顔で迎えて下さいました。

「おめでとう！いよいよ二人目かなー？」と…。

涙が出るほどうれしかったです。なんかくだらないんですが、誰かにその一言を言ってもらいたかったのかもしれない。その時、産む決心がつかしました。先生のおかげです。心から感謝しています。二人の子育てがんばっていきま
すね。

理由あつて妊娠5ヶ月から、子供2人と私だけの生活がはじまりました。今回3人目のお産で、本当の新しい生活の
スタートです。妊娠中は1人での子育て… 出産… 産後… 私の体に何かあれば子供たちは… っと、ものすごく
不安いっぱいでした。1人目2人目で経験したあの出産の痛み、思い出してこわくなったり… 1人でもがんばって
みせる… と張りつめた気持ち… ドキドキしながら入院しました。でも産んでみて“びつくり”です。先生やスタ
ッフのみなさんの言うとおりにしていたら、あつとゆうまの出来事でした。痛みもほとんどなく苦しいとかつらいと
か、全く感じませんでした。時間もみじかくて… おかげで産んだすぐからスイスイあるけました。私の新しいスタ
ートはヤナセさんで産んだおかげで何の不安もなく元気に子育てできそうです。みなさんありがとうございました。
食事もとてもおいしくて…。これから強くたくましい母としてがんばれそうです。今から出産されるママさん、痛く
ないと思えば痛くない!! つらくないと思えばつらくない!! プラス思考でがんばりましょう。私はちびたちと元氣
ににこにこ生きてゆきます。子育て楽しんでいきましょう!
フアイトです

H15・11・22 am2:30 元気な男の子(3650g)を出産しました。予定日より約1週間早く産まれました。最終の診察の時、子宮が2~3cm開いていると言われ、自分ではそんな気は全くせず、買物に出かけたり普段とかわらない生活をしていました。すると「おしるし」のような出血がダラダラと続き、様子を見ていました。

その日の夜の10時頃お風呂に入っていると、急に陣痛らしい痛みが走り、時間をはかると15分ぐらゐの間隔に。病院に着くとすぐにLDR室へ行き、そこから3時間34分で無事出産することができました。真夜中の病院で、心細かった気分も、幸子先生、婦長さん、看護婦の長谷川さんのやさしいサポートでリラックスできました。本当に本当に何から何までありがとうございました。その他スタッフの方々もしんせつで、入院中も何の不満もなくすごせました。感謝しております。

また、何かあればよろしくお願い致します。

アロママツサージとっても気持ちよかったです。おっぱいのアロマ湿布も。おっぱいでは看護婦さんの前田さん、長谷川さん、いろいろな気使い等、ブルーになっていたのが楽になりました。ありがとうございました。でも、今回2人目の出産ですが何度産んでも、ものすごく
く痛いですね(笑)もう嫌です!

最後に、幸子先生、婦長さん、全スタッフの方々いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

平成15年10月26日、予定日当日、午後1時半頃に急なお腹の痛みと張りで目が覚め、お尻に生暖かい感覚があったので、トイレに行くとし理以上の出血があり、夫を起こして車でヤナセさんへ向かいました。もうすでに痛みは5分間隔で陣痛の始まりでした。午前2時20分入院。陣痛も時間の経過とともに強くなり、午前5時半に子宮口

全開。その後、なかなかいきめずに時間がかかって、腰が割れるように痛み、とても辛かったです。その度に婦長さんが腰をマッサージしてくれ、痛みがスーッと引いていったので、婦長さんの手は“神の手”かと思いました。本当にすごかったです！そして予定日ぴったりの午前7時57分に3170gの元気な女の子が生まれました！しかし、産後に様々な痛みを伴うことを知らなかった私は腰痛をはじめとする、あまりの全身筋肉痛の痛さで小さな痛みも恐怖に感じてしまい、さらに尿失禁もあり、ちよっぴりブルーになってしまいました。しかし、ちよっぴり夫の仕事が休みで、ずっとそばに居てもらえてラッキーでした。本当に良いタイミングに生まれてきてくれた我が子に感謝！妊娠中に予定日に生まれてくるようにと毎日祈っていたことをすっかり聞いていてくれたんだなと感激！！でした。無事に生まれてきてくれたことは、このうえもない喜びです。この気持ちを決して忘れまいと思います。

2人目の里帰り出産もお世話になりました。

予定日より1週間早く陣痛が始まり…最初は陣痛なのかどうなのか自信がなく、相談の電話をかけようか迷っていました。その間、お風呂に入ったりしてもどうもやはり普段と違うと思い、迷ったあげくやっと電話したところ、結局そのまま入院。そして、入院から4時間半で出産。1人目の子の時と比べると陣痛の時間も入院してから出産までの時間も半分以下で、これには主人も私も驚きでした。でも、痛みは前回より痛かったような気がします。。それだけにやはり産まれた時はやはりとても嬉しく感動しました。深夜の出産であったにもかかわらず、今回も無事にリラックスしてお産にのぞむことができました。ありがとうございました。

マタニティピクスをやってみたら

体を動かすことが好きな私は、ピクスが8月から始まると聞いて、“待つてました！”とばかりに体験の時から参加しました。内容はテンポの良いリズムに合わせて、ムービングデスク（空気が入った円盤）やボールを使用して体を動かすのです。ムービングディスクの上にあぐらをかいて座り、ボールを持って円盤の前後左右の動きや上半身の運動を行ったり、それらを使わないで立つて前後左右に動く全身運動を行ったり、ムービングディスクを枕代わりにして横になり、動いた体を休めたりしました。

妊娠中は動いた方が良く聞きますが、実際の程度まで動いても大丈夫なのか、その目安が分からず、日々不安でした。しかし、病院ではピクスの先生の指導のもと、看護師さんもついてくれるので安心して体を動かすことができ、とても楽しむことができました。

また、マタニティ仲間と情報交換ができ、とってもおもしろい看護師さんには何でも相談できるし、ピクスの先生は二人とも元気で親しみやすいので、是非参加してみてください！私はもちろんアフターピクスも参加するつもりです。

2003年12月出産

平成15年12月1日午前0時42分、無事元気な男の子(2775g)を出産しました。予定日は11月30日だったので、ほぼ予定通りでした。私は大阪からの里帰り出産なので、主人が立ち会えるかどうか不安でしたが、ちょうど週末でこちらへ帰って来ている時だったので、最初から最後まで一緒にお産を乗り越えることができました。陣痛らしきものが始まったのは11月30日の午前0時頃でした。それまで陣痛の兆候らしきものもなく、前日の健診でも1週間くらいは様子をみましようというかんじだったので、最初はまいち信じられず、でも生理痛のような腹痛が10分間かくにあるので病院へ行きました。到着後すぐの内診では子宮口は1cm弱しか開いておらず、しばらくはアロマバスに入ったり、音楽を聞いたりと比較的余裕に過ごしていましたが、次第に陣痛の間かくが2〜3分おきに。いよいよか!と思いつつ内診してもらうと子宮口はまだ2cmとのこと。これから先どうなるのかと不安な気持ちのまま、陣痛は微弱なまま半日近くが過ぎ、本当に生まれるんだろうかと途中で泣いてしまいました。気分を変えるため2度目のアロマバスに入ると、徐々に陣痛が強くなってきて、12月1日に日付が変わる頃に子宮口全開に。いきむ姿勢になってからは、30分たらずで無事に出産となりました。陣痛の最もつらい時に、アロマオイルで腰や足を丁寧にマッサージして頂いた長谷川さん、赤ちゃんを取りあげて下さった高野婦長、幸子先生、本当に有難うございました。その他にもたくさんのお親切なスタッフの皆さん本当に有難うございました。これから出産を迎える皆さん、この病院なら安心です。頑張ってください。

流産を経験した後、半年後の妊娠で『今回は大丈夫かな？絶対に前みたいなおもいしたくない！』って気持ちで過ごした10ヶ月間。(不安だらけで心配で…) 12月3日、夜中、陣痛らしきものが間隔的にきた。これが と思いトイレに行くとおしるしが。やっと来たと思いい病院へTEL 病院へ。しかし、昼頃陣痛が弱まってしまい不安が。次の4日の朝から薬を使って陣痛が前の10分間隔に戻り、今度こそって思い、出産に望んだ。夕方からLDR室に入り、10時半くらいには子宮口も5cmくらい開いて、このまま行ったら4時にはって予定が、ほとんど寝ていないし、食事も4日の日は食べられなくて、体力がなくなっていつてしまい、また×2陣痛が弱まってしまい、不安とあせりで、子宮全開まで朝9時前くらいまでかかってしまった。体力的にピークだったけど最後のひとふんばり！弱い陣痛ながらも、待ってくれている夫の為にがんばっていきんだ。自分でもすごくがんばれたのにビックリ。5日、10時01分2775gの女の子、無事に出産することができました。

長い時間、見守っていてくれた夫や家族、そして何よりヤナセさんのスタッフのみなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。ヤナセさんで出産できた事、本当の本当に良かったと思っています。最後にアロマバス・オイルマッサージ最高でした*

妊娠がわかった頃から自覚も持てず、不安な毎日をおくっていました。12月9日の予定日に入院する事になり、薬を飲んでもバルーンをしてもなかなか気配もなく、10日になって点滴を始めてやっと陣痛がきました。それまで自分は大丈夫だろうと安易に考え、仕事の忙しい旦那にも「無理に来なくても大丈夫だから。」と強がり言っていた私も、想像以上の苦しさで、「これから何が起ころんだらう。」という不安で、何がだかわからなくなっていました。それでも、先生やスタッフの皆さん、母に励まされ、旦那も仕事を早く切りあげて駆けつけてくれて、本当に心強く

感じました。とても私一人では出産にのぞめなかったと思います。

10日の22時56分、3210gの女の子が誕生。

正直まだ自分が親になった自覚はないけど、子供の姿を見てだんだんかわいく思えてきて、これからの子育ても大変なんだろうけど、旦那や両親達に助けてもらいながら少しずつがんばっていきましょうと思います。

幸子先生をはじめ、助産師や看護師、スタッフの皆さん、最後まで優しく励まして下さってありがとうございます。旦那や両親達を含め、皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

私は125に2815gの男の子を出産しました。(1人目)

産む前はすごく不安だったけど、陣痛が始まったらどんどん子宮口が開いてLDR室へ行って、5分後に全開。約20分後には産まれました。とにかく自分の心の中でリラックス、リラックスと言っていました。痛い時にリラックスななかなできないと思っていましたが、先生、婦長さん、看護婦さん、実母、旦那にはげましてもらってリラックスできました。後は8月くらいから行き始めたピクス…。皆と汗をかいて運動した事を思い出していました。きっと私の中でピクスはリラックスできる場所でもあったんだと思います。今度は子供といっしょにアフターピクス頑張りしたいと思います。今回のお産での反省、もっと呼吸の練習すればよかった。(呼吸するのむつかしかった)

ヨガは1回しか行かなかったから婦長さんにもっと指導してもらえばよかった。二人目もちるんヤナセクリニクって決めているので、今度はヨガにも積極的に参加したいと思います。

本当にお世話になりました。

予定日まで、まだまだ時間はあるしとのんびりしていたら、その時は突然やってくるんですね。痛みがきていても、これって陣痛??そんな感じで時間を過ごしていたら、おしるしが!!あわてて病院に電話をして入院になりました。

どんなお産にしたいなあなんて、まだ考えてもいなかったし、陣痛はやってくるしで、とにかく早く産まれてと願っていました。

途中、何度もマッサージをしてもらったりして、スタッフの方々には本当にお世話になりました。

お産は1人じゃできないなって改めて思いました。

出産の直後は疲労感でいっぱいだけど、何日が経った今、やっと自分の子が産まれたんだと感動しています。お産の痛みは二度と嫌だと思ったけど、やっぱりもう1人ほしいかなあ。

予定帝王切開での出産でした。逆子体操、外回転術、試みましたが最後まで逆子のままでした。逆子でも経膈分娩の可能な殿位だった為、出産方法を決定するまで大変悩みましたが、最終的に赤ちゃんに一番負担の分らない帝切を選択しました。

当日は初めてのOPへの恐怖、緊張、それとやはり赤ちゃんが五体満足で元気に生まれてきてくれるのか、いろいろな思いがめぐり異常な緊張感の中でのOPとなりました。OPの始まる前から止まらない涙…高野婦長さんがずっと優しく導びいて下さったり、幸子先生はもちろん全てのStaffの方が優しく励ましてくれました。

そんな中、いよいよ切開開始。高まる緊張と不安の中、産声を上げて生まれて来てくれた!!言葉にならない感動と安堵感で一杯でした!!主人に誕生の瞬間を見てもらえたのも幸せでした。経膈分娩でも帝王切開でも大変な思いを

するのは一緒ですし、大切なのは今までの10ヶ月間と、生まれてきてからの日々です。もし悩んでいるお母さんが居たら、帝切も立派なお産ですし、何より赤ちゃんの顔を見たらきつと「これで良かったんだ」って思えると思いますヨ!!術後はしばらく大変ですが、日に日に回復していきますからね!!頑張ってください。
Staffの皆様、本当にありがとうございました!!

初めまして。私は埼玉から里帰り出産をしました。36歳での初産でしたので、ドキドキのお産だったのですが、先生とスタッフの皆さんのおかげで、無事女の子を出産することができました。
本当にありがとうございました!!

最初、私は陣痛が来た時、「私が生まなきゃ。私がしっかりしなきゃ」と、すごくプレッシャーを感じて、緊張しまくったのですが、陣痛が強まっていく中で急にそうではない事に気付きました。赤ちゃんの方が、「生まれるのだ!!」と強い意志を持っていた私はその意志に協力(サポート)する立場だったんですね。赤ちゃんが外に出ようという強い意志をお腹に感じるたびに、その力に圧倒されつつ、びびりつつ、無我夢中で出産しました。

我が子が生まれたときの感動と叫びたら、言葉では言いつくせません。今でも涙が出てきます。先生とスタッフの皆さん、応援してくださった沢山の方々、全ての人や出来事に心から感謝です。本当にありがとうございました!!

P.S これから出産される皆さん、おっぱいマッサージは絶対にちゃんとしておいた方がいいです。私は母乳が出るタイプではないと思っていましたが、現在、母乳がおっぱいにたまってしまつて、大変な事になっています!!
がんばって下さいネ!

妊娠9ヶ月の終わり頃から腰の調子が悪化して、10ヶ月に入った時には自宅から一人では出れず、トイレに行くのもやっとで、健診など外に出る時は車椅子で移動する程でした。安産のためにしたいと思っていて散歩なんか、とんでもなく寝たきり状態だったので、お腹の中の赤ちゃんが大きくなり過ぎてしまいそうで、とても心配でした。腰痛も力ナリきつかったので私的には少しかわいそうだけど、早く産みたいと思って主人に話したら、最初は反対だった主人も見るに見かねて、予定日の4日前に入院しました。入院は朝10時頃(12/9)。13時頃に子宮口を広げるために“メトロ”という風船みたいなものを子宮口でふくらましてもらう処置をしました。様子を見てたけど、子宮口が広がる気配もなく(12/10)、夜中の0時に5分置きで痛くなってきた。入院中毎日泊まってくれた主人をたたき起こして2人で頑張りました。こんなに痛いのに、子宮口1cm。朝10時に子宮口をやわらかくする注射をしてもらって耐えました。どっかに逃げたいくらい痛くて×2、すごい時間が長く感じました。やっと！やっと！夜8時。メトロが抜けた！！それまで5分置きで陣痛があったので、足はガク×2、腰が痛くて動けんわで大変でした。それから、陣痛もいつそう強くなって、LDR室に入ってなんと1時間で産まれました！！LDRの(和)で産んだけど、好きな姿勢で出産でき、腰にもあまり負担もかからず楽でした。赤ちゃんを見た瞬間、涙があふれて、感動でした。立ち会った主人も最初は「泣かん。」と言っていたけど、感動して泣けたと言っていました。陣痛中、出産の間励ましたり、マッサージしてくれた主人にはとても感謝してるし、心強かったです。入院して陣痛が長びいてる方！頑張つて！！絶対、終わる痛みだし、その後にはすごい幸せが待ってます！赤ちゃんを抱っこできるし、あんだけ痛かったけど、産んで良かったあ〜***カワイイヨ*

2人目の出産。3年前に1人目の子を出産していたので、お産がどういふものか…というのは心づもり出来ていたはずなのですが、やっぱり痛かったです。

出産する1週間程前から、「もしかして陣痛?」と思うような痛みがあったかと思えば、おさまっていったりを繰り返していました。この様子だとまだだろうな…と夜、上の子とベットに入り少し眠ったら夜中1時30分に痛さで目が覚め、とりあえず時間を計ってみると15分〜10分間隔だけど、まだまだ我慢出来る痛み。でも2人目だし、早く産まれてしまふといけないから、2時30分に病院にTELして3時前に主人と上の子と病院へ。看護婦さんに子宮口をみてもらったら、6.7cm開いてるって言われて、「まだそんなに痛くないの?」と驚きつつ、本格的に痛くなってきたのは4時前くらいでしょうか。主人と上の子にも立ち会ってもらって、上の子がどんな反応するか心配でしたが、黙って私の手を握ってくれたり、「ガンバレ!」と励ましてくれたり、主人は上の子の面倒をみながら私の腰を押してくれたりと2人の支えがあつて、乗り越えられた出産でした。4時37分というスピード出産。家族3人で赤ちゃんを迎えられた事が、とてもうれしく思います。そして妊娠中から出産まで、身体的にも精神的にもサポートしていただいた幸子先生や、高野婦長には感謝の気持ちでいっぱいです。ヤナセクリニックでお世話になれて幸せです。ありがとうございます。

私は里帰り出産だった為、ヤナセクリニックでお世話になったのは1ヶ月だけだったのですが、院長先生はじめ、スタッフの方々にはとても親切にして頂きました。元々、私は血圧が高めだったのですが、予定日まであと3週間ないという時期になり、祖母が体調を崩し入院になりました。

ますます血圧が高くなり、妊娠中毒症になってしまい、安静にしていなくてはならず、早目に入院し、赤ちゃんにも

影響が少ないように出産も予定より早くなりました。入院して3日目の朝から点滴を開始。夕方までそれ程陣痛らしい痛みはこなかったため、今日中には無理かなと思っていたら、16:45に破水。それからは一気に進み、18:30頃LDRに移動。「これから何時間、この痛みに耐えなければならぬだろう?」と1人で考えながら、ベッドの上で必死に痛みに耐えていました。でも、19:51には無事、男児を出産。すごく短時間だったので、自分でもビックリ!もつとビックリだったのが、私も前の柳瀬産婦人科で産まれた体重が3150gだったのですが、息子も同じ病院で同体重。こんなことってあるんですね。出産までの話に戻りますが、主人には電話で「たぶん夜中になるだろうから、ゆっくり来て」と連絡してあったので、全く間に合わず。母親は30分前に到着し、初孫の出産に立ち合う事が出来ました。それまでは私1人だったので、すごく不安でしたが、アロマの香に包まれ、スタッフの方に声を掛けて頂いたのが、何より支えになりました。院長先生はじめ、スタッフの方々、本当にありがとうございました。次の子が出来た時もこちらでお世話になろうと思っています。その時にはまた宜しくお願いします。

臨月まで1つの体を2人で共有してきて、その感覚がなくなるのを少しさみしく思いながら、予定日を3日すぎた1月24日から陣痛が始まりました。でも、弱くなったり、ほとんど痛みがなくなったりしながら、結局16日のAM3:00前に入院。頭がよく下がっているの、早いかも?!と言われドキドキしながら子宮口が開くの待ちました。が…なかなかゆーっくりしか進まず、アロマバスに入ってもあまりかわらず、最終的に点滴を使う事に。完全な自然分娩を望んでいたため、少し迷いましたが、体力のある内に!!と思い、17日のAM9:00頃から点滴開始。だんだん陣痛も強くなり、子宮口も開いてきて、いきみたい感が出てきたので、必死にきばりました。私はいきみ出したらすぐ産まれるものだと思っていましたが大マチガイ!!想像以上に使う体力に、「もうムリかも…」っ

とか、「やめれるものなら途中でやめたい」と思いながらも、どんどんやってくるきばりた感とたたかっているところ。赤ちゃんの回旋異常が判明！！なかなか下りてこない。そしてだんだん赤ちゃんの心音が弱まってきたので、早く出すため陰切開。頭が見えてもなかなか出にくそう。これで最後！！とフーンツて力をふりしぼると、スルツと誕生！！でも産声が聞こえない。時間がかかったためすぐ蘇生へ。少し戻ってきた我が子すこしだかせてもらって、泣き声も聞かせてくれました。何か夢を見ている感じで、しばらくパパとポーっとしてしまいました。入院から約38時間の出産。ずっと立ち合ってくれて、手をにぎってくれていたパパ、ありがとう*病室で寝ないで待ってくれていたお母さんありがとう*そしてそして何より！！あたたかくサポートして下さった先生や助産師さん、看護師さん…みなさんのはげましましや、数々のお心づかいがなければ、もっとつらかったと思います。何度も投げ出したかったけど、今こうして赤ちゃんを見ていると、痛みなんて忘れたし、サイコーな気分*本当にたくさんの人に「ありがとう・ありがとう」の気持ちでイッパイです！！！！あと、和室のLDRはオススメ！！パパと二人で産んでいるっていう感じがしました。

H14.12.26 ヤナセで卵巣のう腫の手術をしました。病気をしてみてもう1人Babyが欲しいなあと思っていたところ妊娠。それも予定日はなんとH15.12.26！！手術日と同じなんて驚きでした。6年あいてしまったけど、長男もとても喜び、楽しみにしていました。ヨガやピクスも一緒に参加し、出産も立会つとのこと。Babyは長男の時と同様、逆子ちゃんでしたが、外回転の為入院すると頭も下になおっていました。逆子体操とあわせて、Babyによく言って聞かせたのが良かったのでしょうか？そんな賢いBabyに出産時のこともいろいろお願いしておきました。「38週には出てきていいよ、3000g以下で、パパと長男のいる時に…」そんなママの

お願いを全部聞いてBabyは12:18 AM3:26 陣痛から約4時間後に誕生しました。なんて親孝行なんでしょう。陣痛時のスタッフ、先生の励ましはとても暖かく、落ち着くことができました。産後、母乳で頑張る私にすべてのスタッフが心から応援してくれているのがなよりの励みとなり、とても感謝しています。当初、立会なんて考えてもみなかった主人がしてみようかなという気になってくれたのも、パパマクラスに参加した成果だと思っています。

ヨガの呼吸法は役立ちます。初産婦さんは特に参加をおすすめします。

私は初産でした。結婚して2年半での周囲にとっては、待望の赤ちゃんでした*私たち夫婦の中ではまだ2人ではないな*って思っていた中での妊娠。でも授かったと知った時は、信じられない気持ちとHAPPYな気持ちでいっぱいでした。やっぱり2人共子供が欲しかったんですね。何よりも不安な毎日。少し体をぶつつけたりするだけで赤ちゃんが心配になったりして… 小さなことにもピンカンになっていました。そんな中、先生のおっとりやさしい接し方にとても安心でき、おなかの子もスクスク育ちましたが、私が中毒症になってしまい、予定日より5日早く入院。不安の中、スタッフの方に支えられ全とおまかせして、何よりも体を休めることになりました。

風船を入れて子宮口を6cm位まで広げることになり、次の日には陣痛を起こす点滴をうち、出産に備えました。陣痛には、とても苦しみました、家族の支えもあり、何よりも主人がそばについていてくれたこと、とても心強かったです。

LDR室に入って7時間15分後、出産。その時の感動は言い表せません。入院生活もスタッフの皆様の気配り、とてもうれしかったです。料理もおいしく毎日元気にすごせました。あゝあ、退院したくないなあ… なあゝなんて。

これからママがんばります*

平成15年12月13日、午後8時21分に、2720gの元気な女の子を出産しました。里帰り出産のため、主人がいないことや転院等の不安もいろいろとありましたが、先生から笑顔で「大丈夫。」と言ってもらえたり、いろいろな教室に参加することで体験談や出産についてスタッフの方々に教えていただいた事などがあり、不安も少なくなりました。特にマタニティビクスでは、毎回参加者全員で開始前の時間等に体験談や予定日の近づく人の気持ち等を話したりして、運動するだけでなく、気持ちの上でも出産前の私には良かったと思っています。実際のお産では、ここには書ききれないくらいいろいろな事がありました。あえて書くならば、「自分だけでは絶対にできなかった」。当然と言われるかもしれませんが、先生をはじめスタッフの方々のアドバイスや励まし、また陣痛中のマッサージ等々、本当に感謝しています。そして母と主人も金曜の夕方から始まった陣痛のため、出産までの間ずっと側についてくれ、とても心強かったです。

特に主人は陣痛中のほとんどマッサージだけでなく、水分補給や冷たいタオルで顔をふいてくれたり…等、本当にいろいろな事をしてくれ、出産の時も励まし、手をずっとにぎってくれていた。本当に感謝の言葉以外ありません。またこれはちゃんと予定日どおりに産まれてきてくれた我が子が、私にくれた力だと思つと、元気に産まれてきてくれて、本当にありがたいの気持ちでいっぱい。これから大変だと思いますが、この気持ちを忘れずに頑張つていこうと思っています。このお産で、私が本当に得がたい経験ができました。本当にありがたいございました。

12月22日は私たちの結婚記念日。出産予定日が12月28日と分かった時からおなかの赤ちゃんには「12月22日に産まれて来てね」とお願いしていました。でも、実際にその日が近づくと早く赤ちゃんに会いたいという気持ちも大きく、「12月22日より早くてもいいよ」というお願いに変わっていました。とは言っても、実際には日々、何の兆候もなく過ぎていくばかり。初産婦は予定日より遅れることも多いという周りの声も気になるところ。このまま年が明けたりして…。と思い始めた頃、突然その日がやって来ました！！19日夜、夕食の準備中何となく「今日はおなか張るなあ」と感じ、24時頃、いつも夜中はほとんどない胎動が「今日はひっきりなしに良く動くなあ」。そして20日午前3時頃、「ん？！おなか張ってる？」念のため時間を計ってみると見事に10分おき。でもその時点では痛みもひどくないし…。まさかねえの思いもあり待機すると、あつという間に5分おきになり、痛みも増して、ついに病院へ。それでも実は帰されるだろうなあと主人と2人。「一応、入院の準備は持つていかなあかんねんなあ」などと言っていました。でも、ここからが早かった。結局、7時に入院し、昼過ぎには愛しの我が子と対面！この感動のシーンは絶対に涙、ナミダのはずが、あまりにもたんたん進んだため、主人も私も「もう産まれたの？！」がその時の感想でした。初めてのお産でしたが、何の不安もなく、ただただ赤ちゃんが産まれてくるのをサポートするという気持ちで、ひたすらリラックスすることに集中。だけど、いざ陣痛がくるとやっぱり力が入ってしまい、さらに痛さ倍増。そんな時、腰を押してもらった人の手の暖かさが、どれだけ痛みをやわらげてくれたことが。痛い時にお風呂はつらい…。でもきつとりリラックスできると決心して、アロマバスにも入りました。アロマのオイルで腰をマッサージしてもらいました。母いわく、「至れり尽くせりやなあ」本当にそう思います。パースプランにいた数々の希望もかなえてもらい、何より優しくそして力強く声をかけて励ましてくださったスタッフの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。幸子先生、寺澤さん、長谷川さんをはじめスタッフの皆様ありがとうございました。そして何よりずっと側で手を握ってくれていた主人と元気に産まれてきてくれた赤ちゃんにありがとう。

私のお産は子宮口が開かなかったことと、微弱陣痛でのお産が17時間以上もかかってしまったことが大変でした。予定日は12月6日でしたが、なかなか陣痛がこず、子宮口もすっかり止まっていました。「なるべく自然な陣痛を待ちたい」「あまり促進剤等は使いたくない」という思いから、「まあ一週間位は……」ゆっくりその時が来るのを待っていました。体調に全く変化なし。しだいに不安がつのり、12月16日とうとう入院しました。初日は子宮口を開くお薬を飲み、それでもあまり効果がなかったので、2日目よりバルーンを入れて経過を診て頂きました。次々と産まれていく赤ちゃんを横目に、「どうして産まれてきてくれないの」「私が妊娠中に無理をしたからだろうか」と少し弱気にもなりました。12月17日の夜から規則的な陣痛が始まり、夜中2：30頃破水。やっと陣痛が来たという喜びもつかの間、自分ではコントロールのきかない状態にパニックになったりもしました。2〜3分間隔になつてきた陣痛も、いよいよという時になつて5分間隔になつてしまい、陣痛が来るのを待つていきむという繰り返しで、寝ていないのと疲労で、時々意識が遠のいていくのを感じました。最後には陣痛促進の点滴を使い、主人と母に見守られ、無事出産することができました。初めは抵抗のあつた促進剤ですが、もし使つてなかつたら私も赤ちゃんも体力も続かなかつたと思います。やはり必要なところに手を加えて頂くことは大切なことだと実感しました。こんな私を長い時間見守ってくれて助産師の寺澤さん、本当に心から感謝しています。陣痛のたびに体をかしてくれ、いきむたびに「上手よ」と言つて励ましてくれました。本当に心強かつたです。そして幸子先生、先生の優しく冷静なアドバイスが出産を決意させてくれました。こうして元気な赤ちゃんのママになれたのも先生のお陰です。本当にありがとうございます。最後に婦長をはじめクリニックのスタッフの皆さん、いつも優しく的確なアドバイスをしてくださり、暖かく出産、産後を見守ってくださいました。本当にお世話になりました。ありがとうございます。

予定日より（12/10）1週間遅れの、12/17に入院。

子宮口は2cmしか開いておらず、陣痛もなかった為、誘発剤を飲む。

少しでも陣痛がくる様に、主人と階段、廊下を歩くがあまり強くならず、アロマバスに入ってリラックスしたら陣痛が弱くなってしまった。子宮も2〜3cmしか開かず、次の日も誘発剤を飲んで歩いたが、前日と同じで陣痛が弱くなった。

3日目、点滴を始め昼過ぎ破水する。段々と痛みが強くなり、フットバスでマッサージしてもらおう。呼吸法を教えてくださいながら子宮が開くのまつ。

痛みの間隔が短くなり、見てもらうと9cm開いていたので、立ち合い出産の為急いで主人に連絡を入れてもらいました。病院まで約40分かかるので、ギリギリ間に合うかどうか…頭もでかかったいたので、数回いきんだら出る所でした。主人もなんとか無事間に合い、出てきてくれるのをまつていました。最後頭が大きく少し苦しそだったため、会陰切開をして出てきました。大きく、元気な産声をあげてくれて、すごく嬉しかったです。

PM3:43 3230gの男の子誕生。

妊娠から出産まで色々であったけど、主人の支え助けもあり無事に胸に抱けてよかった。

幸子先生、高野婦長、スタッフの皆様、無事に産めるか不安だったけど、優しく色々と話して聞いていただいていたことがとうございしました。

普段から痛みには弱い私なのに、妊娠したと聞いた時はVeryうれしかった。結婚して一年半を迎えた頃で、そろそろほしいなあと思っていたので、素直に喜んだけど、ドンドンお腹が大きくなり、出産が近づく頃になると、“私が本当に産めるのか？” “痛みに耐えられるのか？” etc不安が日に日に大きくなって、毎日2同じことを考えてました。初産なので、予定日より遅れるかと予想していたのに、早目に陣痛が始まり、そのまま入院へ。でも下痢と嘔吐が重なり、そちらの苦痛の方が強かったみたいで、二日目からようやく陣痛らしきなり、ゆっくりゆっくり進み、3日目に突入した深夜にようやくBaby誕生！！その間、家族の人に助けてもらい、不眠不休状態で付き添ってもらい、本当に心強く、その点で安心して出産にのぞむことができました。見守ってくれる人がいることはVeryはげみになりました。また、看護師さんの頻回の声かけにどれだけ勇気づけられたかわかりません。BUT長時間におよぶ陣痛とのつきあいは出産が終わった後でも思い出すとこわくなります。でも、我が子を毎日見ていると、Veryしあわせで、なおかつ痛みも忘れてる自分があるのにビックリ！出産の喜びの余韻にひたっている頃、私の父が急に亡くなってしまいました。”どうゆうこと” “何が起きているの” “パニックになり、出産したその日に父がいる病院へ向かっていました。意識はもちろんなく、全身冷たくなっていたが、まだ心臓は動いていて、私は父の最後を見とどけることができました。孫の顔を見ることなく、また抱くことなく他界してしまっただけで、この世に生命として授かった我が子は父の生まれかわりなのだと思います。長時間におよぶお産も、父が助けてくれたから、無事に自然分娩でいけたのだと思うし、たえることができたのだろ。だからこそ、ぜったいに我が子を大切にしようと思います。必ず幸せになれる子だから…。

1人目の出産もこちらでお世話になり大満足だったし、今回の2人目もスタッフの皆様や幸子先生にはお世話になり、大変感謝しております。

経産婦やし、今回はホーン！と生まれてくれるかな…と期待してたんですが、今回も赤ちゃんはBigで頭も大きいという事もあり、なかなか骨盤に頭がはまってくれず、27時間もかかってしまいました。

今回は和室のLDRでのお産だったので、最初は主人も私もどんなかな？とちよつとドキドキだったんですが、陣痛の腰のイタ〜イ時も、パパもタタミでウトウトしながらずっと腰をさすってくれてたし、自宅にいる気分でお産が来ました。

でも、赤ちゃんが出てくる瞬間も良く見えたらしく、ちよつとたおれそうになった！とパパは言っていました。2人で生んだ〜という気になれて、結局は大満足でした。

里帰り出産で上の子もいっているので、マタニティビクスには参加できなかつたんですが、ヨガは1度だけ参加する事ができて、前回もそうですが、リラクスの呼吸法とかがお産に役立てて良かったと思います。

アロママツサージは、ラベンダーの香りで超リラクス出来て、もう気持ちよくてサイコーでした。本当に今回のお産も大満足出来て良かったです。ありがとございました。

予定日の12/22を過ぎてても子宮もあまり開かず、頭も下がっていないとのこと。26日に入院。薬によって誘発させることに。薬をのんで、階段昇降やスクワットなどをしましたがダメでした。

翌日、再び薬をのみ午後から点滴をしましたが、点滴が終わると陣痛も止まってしまいました。その夜から翌朝にかけて胎動をよく感じられ、子供がしんどいよ、と言っているようで悲しくなりました。翌日再び点滴に挑戦。昨日一

度経験していることもあり、最初は余裕がありましたが、座った姿勢の方が子供が下がってきやすいとのアドバイスを受け、座った頃から陣痛がきつくなってきました。座ってから子供が下がってきているような感じがしたのですが、寒くて体が震えだし、結局ベッドへ戻って湯たんぽを入れてもらいました。その後もう一度ベッドの上で座ることに。看護婦さんがついてくれてずっとマッサージと呼吸を一緒にしてくれたので、痛みを逃すのが楽になりました。しかし、だんだん陣痛が弱くなりフットバスを試みることに。今日もここまでできて中断なのかな？という不安がよぎった時に先生が来ていきんでみようか？と言。今日産むことが出来るんだ！！と歯をくいしばって一生懸命いきみました。何度かいきんでいるうちにスルツと子供ができてくれて、へその緒がついた我が娘を見た時は、感動や安心感などからワンワン泣いてしまいました。初めての出産で、なるべく自然に産みたいという理想は薬を使ってということになりましたが、夫と母が立ちあってくれてずっと腰をマッサージしてくれ、励ましてくれて、先生、看護婦さん達に支えられ、励まされ、皆と苦しみも感動も分かちあえた最高の出産だったと思います。本当にありがとうございます。そして、最後に頑張って元気に産まれてきてくれた赤ちゃん、ありがとうございます。これからも一緒に頑張っていこうね。

私は38歳。初産でした。予定日を過ぎてても陣痛が無く、誘発の為入院。それまで母子ともとても元気に産月まで過ごしてきました。

入院と同時に誘発のメトロ口を入れ、その夜から3日間陣痛と闘いましたが、子宮口が開かず帝王切開となりました。急な展開ではあっても、お腹の赤ちゃんが私に「早く出たいよ！」と言っている気がして、手術することに迷いはあ

りませんでした。

手術室に入ったら、見知った看護スタッフの方が次々声をかけて下さって、とても安心しました。そして手術は進み、赤ちゃんの元気な泣き声が聞こえ、本当に本当に嬉しかったです。

高齢出産の不安をかかえながら、妊婦として過ごした数カ月、そして出産。自然分娩は出来なかったけれど、無事に出産出来たこと、幸子先生をはじめ、看護スタッフの方々に感謝しています。

予定日は12/26。年末も押し迫っていたので、「今日もうまれないかなぁ」と諦め寝ていると午前0時過ぎ、突然の激痛で目覚め、時間を計ってみると5分間隔でした。2日前にも同じような状況になったのですが、次第に感覚がひらいていってしまい、朝には何も痛みがなくなってしまったので、「また治まってしまつかも…」とAM3:00まで、自宅でひたすら耐えてました。

が、一行に治まる様子もなく、ついに耐えきれなくなり、AM3:50頃、病院に到着しました。駐車場でもロビーでもしゃがみ込み、やっとたどり着いて診てもらうと、すでに子宮口が4cm開いているとの事。このまま進めばお昼ごろには産まれかも…という事でしたが、アロママッサージ&アロマバスのおかげでぐんぐん進み、AM6:30頃には全開に…。

それから約30分後のAM7:05分 3095gの女の子を無事出産しました。初産にしてはかなりのスピード出産&安産だったので、産後体力もあり楽に過ごせました。これも頑張ったヨガの効果だったのかなと思います。あとスタッフの方々のあたたかいサポート(マッサージでかなり痛みが和らぎました)&励ましのお言葉、毎回心配

症の私にいやな顔せず笑顔で丁寧に接して頂いた幸子先生。ヨガの時、毎回いろんなアドバイスをくれた婦長さん。みなさんに支えられての出産となりました。

心から感謝してます。2人目の時もまたお世話になりたいです。本当にどうもありがとうございました。

予定日は12月21日。前々日の健診時には「まだ赤ちゃんの頭の位置が高い」との事で、出産はまだ先…と呑気に構えてました。陣痛が始まったのは26日の午前0時。「陣痛は死ぬ程痛いもの」と思っていた私は「これぐらいの痛みだったら我慢できるから、陣痛じゃないのかも」と、結局2時半まで家で過ごしてしまいました。でも少量の出血があり、病院へ電話し入院へ。病室に入って着替えたら緊張の為に、痛みが強くなる一方。それから出産までの事は今はまだ思い出すだけでも、またお腹が痛くなりそう…。LDR和室にて、パパのひざ枕にしがみつき、看護師さんに足を支えてもらい、6時半過ぎに待望の女の子誕生!!

でも正直なところ、痛みと疲労の為に、産声や初めての対面も憶えていない…。憶えているのは陣痛の間、優しく背中をさすってくれた母の手と、驚くほど大きい声のパパの応援、看護師さんの「上手よ、頑張つて」という励まし、先生の落ち着いた声…。入院の間もずっと安心して過ごす事ができました。確かに出産前後は「死ぬ程痛い」事はかり。でもそれを乗り切つてからこそ見れる赤ちゃんの愛らしさ。親、パパと言われても、世界で一番力強い我が子を抱ける喜び!!女冥利に尽きます!!人生でそう度々ない「出産」という経験を、正にパーフェクトに支えて頂いたスタッフの皆様へ感謝です。私の家族にも。そして赤ちゃんにも、生まれてきてくれて本当にありがとうございます。パパとママはあなたを絶対に幸せにします。パパは今からあなたに恋人ができたら…と思いついてます。

今回は4年半ぶりの2人目の出産でしたが、気持ちの持ち方一つでお産は全然違うんだということを実感しました。1人目の時は何もかも分らず、突然襲って来た痛みに対して不安と怖さがいっぱい、ずっとパニック状態の中出産したので感動！というより、やっと解放されたという感じでしたが、今回は待望の2人目の妊娠で、早く赤ちゃんに会いたいと毎日のように言っていたので、陣痛が来た時にはもつと強くなって！と願うばかりでした。破水感があり、薬での誘発でしたが、飲む度に早く痛くなってねとおなかに言いながら階段の昇り降りをしたところ、5錠飲んだ所で、突然急激な痛みが来て、びつくりしましたが「やっと来てくれた、これで赤ちゃんに会える」と思ったら頑張つて乗り切ろうという気持ちで臨むことができました。和室で家にいるような感覚、アロマのいい香りの中でのリラックスできたこともあり、赤ちゃん誕生の時には「やっと会えたネ*」という幸せな気持ちといい出産だったという達成感でいっぱいでした。産後先生やスタッフの方々に良くして頂き、楽しい入院生活になりました。最後になりましたが、本当にありがとうございました。

予定日過ぎてても、何の気配もないため、12/24(水)誘発入院しました。薬を飲んで階段を昇り降り。夜アロマバスでゆっくり。次の日の朝の内診では子宮口まだ開いてないとの事で、ガツクリでした。また薬を飲み、柔軟をしたり…。そして午後くらいからおなか痛くなり始め、でも夕方の内診では子宮口2cm程しかあいておらず、注射をしてその日を寝ました。夜中じゅうおなか痛かったけれど、明け方頃から痛みがもつと強くなり、朝子宮口は7cmに。LDRに移り、ゆっくり呼吸をし、母に腰を押さえてもらい、痛みをガマン。でもそこからなかなか進んでくれない。フットバス、アロマバスには1時間ほど。ほとんど意識朦朧としていて、痛みで覚めるといった感じでした。アロマバスを出たらほぼ子宮口全開。いよいよいきみ始めましたが、最初はどついたらいいのかも分からず、

看護師さんの言うようにいきみをしました。友人から「子宮口全開になったらいきみただけで、痛さはなくなる」と聞いていたのに、いきみたくなる時の痛さといったら表現できません！痛みとの戦い。そしてPM5:32やつとやつと2695gの女の子が産まれてきてくれました。隣に寝かせてくれた赤ちゃんを見たら、嬉しさとかわいさで感動し、全て忘れてしまいました。

お産は大変ですが、赤ちゃんは本当にかわいいです。産まれてきてくれてありがとうございます。そして、先生、看護師さん達、親切にしてください。退院するのがさみしいくらいです。本当にありがとうございます。

三重県津市乙部5番3号

フェニックスメディカルセンター

(C) 医療法人碧会 ヤナセクリニック

2004/1



Yanase Clinic

Obstetrics And Gynecology



ヤナセクリニックでは、当クリニックでご出産された方から「私のお産」という名前のメッセージをいただいています。

このメッセージは、書かれる人によって、生まれてきた我が子へのメッセージであったり、ご家族の方へのメッセージであったり、またこれから出産される方へのメッセージであったりとその内容は様々です。

写真は、寄せられた「私のお産」メッセージの一部です。